

(様式第9)

附総 第793号
平成25年10月3日

関東信越厚生局長 様

開設者名 公立大学法人横浜市立大学
理事長 田中 克子

横浜市立大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3の規定に基づき、平成24年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	86人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	458人	75人	466.6人	看護補助者	50人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	21人	6人	22人	理学療法士	12人	臨床検査技師	68人
薬剤師	39人	10人	48.2人	作業療法士	6人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	6人	その他	0人
助産師	39人	0人	39.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	676人	51人	710.8人	臨床工学技士	13人	医療社会事業従事者	14人
准看護師	0人	0人	0人	栄養士	2人	その他の技術員	5人
歯科衛生士	2人	2人	3.0人	歯科技工士	1人	事務職員	97人
管理栄養士	8人	2人	10.0人	診療放射線技師	41人	その他の職員	7人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	568人	16人	584人
1日当たり平均外来患者数	1839人	63人	1902人
1日当たり平均調剤数	457 剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要 該当なし		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	202人	・膿疱性乾癬	7人
・多発性硬化症	100人	・広範脊柱管狭窄症	6人
・重症筋無力症	97人	・原発性胆汁性肝硬変	52人
・全身性エリテマトーデス	353人	・重症急性膵炎	14人
・スモン	8人	・特発性大腿骨頭壊死症	77人
・再生不良性貧血	44人	・混合性結合組織病	52人
・サルコイドーシス	94人	・原発性免疫不全症候群	16人
・筋萎縮性側索硬化症	41人	・特発性間質性肺炎	9人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	324人	・網膜色素変性症	35人
・特発性血小板減少性紫斑病	62人	・プリオン病	7人
・結節性動脈周囲炎	48人	・肺動脈性肺高血圧症	8人
・潰瘍性大腸炎	112人	・神経線維腫症	24人
・大動脈炎症候群	41人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	20人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・天疱瘡	37人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	12人
・脊髄小脳変性症	125人	・ライソゾーム病	1人
・クローン病	24人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1人
・悪性関節リウマチ	22人	・脊髄性筋萎縮症	1人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	307人	・球脊髄性筋萎縮症	1人
・アミロイドーシス	2人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	21人
・後縦靭帯骨化症	62人	・肥大型心筋症	2人
・ハンチントン病	2人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	17人	・ミトコンドリア病	8人
・ウェゲナー肉芽腫症	12人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	0人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	28人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	39人	・黄色靭帯骨化症	1人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	36人

(注)「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・インプラント義歯	・超音波骨折治療法
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断および治療	・抗悪性腫瘍剤感受性検査(HDRA法又はCD-DST法)
・内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	・腹腔鏡下根治的膀胱全摘除術
・乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索 (平成22年4月健康保険へ採り入れ)	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	10件/月
部 検 の 状 況	部検症例数 48例 / 部検率 16.30%

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ベーチェット病に関する調査研究	石ヶ坪良明	免疫・血液・呼吸器内科学	3,610万円	補
				委
国内で流行するHIV遺伝子型および薬剤耐性株の動向把握と治療方法の確立に関する研究	石ヶ坪良明	免疫・血液・呼吸器内科学	170万円	補
				委
TNF受容体関連周期性症候群 (TRAPS) の病態の解明と診断基準作成に関する研究	石ヶ坪良明	免疫・血液・呼吸器内科学	50万円	補
				委
これからのHIV/AIDS診療体制の在り方に関する研究	石ヶ坪良明	免疫・血液・呼吸器内科学	5万円	補
				委
これからのHIV/AIDS診療体制の在り方に関する研究	上田敦久	免疫・血液・呼吸器内科学	75万円	補
				委
関節リウマチにおける生物学的製剤の寛解率と中止後寛解維持率についての検討	須田昭子	免疫・血液・呼吸器内科学	150万円	補
				委
リウマチ診療における画像診断について	高瀬薫	免疫・血液・呼吸器内科学	20万円	補
				委
海外派遣研修医	高瀬薫	免疫・血液・呼吸器内科学	100万円	補
				委
JCR-EULAR若手リウマチ医トレーニングプログラム	高瀬薫	免疫・血液・呼吸器内科学	300万円	補
				委

(小計 9件)

ベーチェット病をモデルとしたHO-1による自己炎症・自己免疫の制御	岳野光洋	免疫・血液・呼吸器内科学	80万円	補 委	日本学術振興会科学研究費助成事業基盤研究(C)
関節リウマチにおける関節超音波検査の有用性の検討	吉見竜介	免疫・血液・呼吸器内科学	16万円	補 委	横浜学術教育振興財団海外渡航費助成
Ultrasonography predicts achievement of deeper remission after DAS28-based clinical remission of rheumatoid arthritis	吉見竜介	免疫・血液・呼吸器内科学	30万円	補 委	内藤記念科学振興財団内藤記念若手研究者海外派遣助成金
全身性エリテマトーデスにおける自己抗原TRIM21の治療標的としての可能性の検討	吉見竜介	免疫・血液・呼吸器内科学	403万円	補 委	文部科学省 科学研究費補助金若手研究(B)(2011年-2013年)
ベーチェット病をモデルとしたHO-1による自己炎症・自己免疫の制御	吉見竜介	免疫・血液・呼吸器内科学	20万円	補 委	日本学術振興会科学研究費助成事業基盤研究(C)
動脈硬化促進因子受容体への結合蛋白に着目した動脈硬化抑制療法の検討	池谷裕子	循環器・腎臓内科学	169万円	補 委	平成 24年度科学研究費補助金(研究活動スタート支援)2012-2013
高血圧関連遺伝子の発見とその機能解析研究	梅村 敏	循環器・腎臓内科学	500万円	補 委	平成24年度上原記念生命科学財団研究助成金
老化関連遺伝子p66Shcの腎障害進展への関与についての検討	押川 仁	循環器・腎臓内科学	234万円	補 委	平成24～25年度科学研究費補助金(若手研究B)
胚性幹細胞由来の腎遠位尿細管蛋白質リン酸化酵素の発現調節と機能についての検討	金岡知彦	循環器・腎臓内科学	61.6万円	補 委	平成24年度科学研究費補助金(基盤研究C)2010-2012

(小計 9件)

受容体直接結合性分子に着目した高血圧関連生活習慣病の病態解明と新規治療法の探索	田村功一	循環器・腎臓内科学	140万円	補 委	平成24年度科学研究費補助金(基盤研究C) 2012-2014
加齢にともなう生活習慣病に対する生活習慣病増悪因子受容体への直接結合性機能制御因子に着目した病態解明・新規分子治療標的の研究	田村功一	循環器・腎臓内科学	150万円	補 委	日本老年医学会研究助成金, 2012-2013
AT1受容体結合型新規機能抑制因子ATRAPのRuntファミリーによる転写調節機序	田村功一	循環器・腎臓内科学	50万円	補 委	平成23年度(財)日本腎臓財団公募助成腎不全病態研究助成, 2011-2012
肥満を伴う高血圧症に対する防風通聖散の併用投与による24時間自由行動下血圧及び糖脂質代謝・酸化ストレスの改善効果についての研究	田村功一	循環器・腎臓内科学	720万円	補 委	平成24年度厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業). 2010-2012
腸管アミノ酸吸収における新たな自然免疫と腸炎制御メカニズム	橋本達夫	循環器・腎臓内科学	50万円	補 委	平成23年横浜医学振興財団奨励研究助成
腎臓欠損マウスを用いた異種間腎臓再生	橋本達夫	循環器・腎臓内科学	160万円	補 委	平成24年度科学研究費基盤研究(C)
脂質代謝調節分子に着目した高血圧の病態解明および新規治療の試み	涌井広道	循環器・腎臓内科学	40万円	補 委	横浜総合医学振興財団平成24年度奨励研究助成, 2012
アンジオテンシン受容体結合因子による高血圧治療の開発	涌井広道	循環器・腎臓内科学	160万円	補 委	平成24年度科学研究費若手研究(B)2012
難治性消化器がんの発生・進展におけるNF-kappaBシグナルの関与	前田慎	消化器内科学	572万円	補 委	文部科学省科学研究補助金 基盤研究 (B)

(小計 9件)

炎症発がんにおける腫瘍細胞および間質細胞の起源の同定と分子標的への応用	前田慎	消化器内科学	598万円	補 委	文部科学省科学研究補助金 新学術領域研究
肝発癌における腫瘍細胞および間質細胞の起源の同定と分子標的への応用	前田慎	消化器内科学	300万円	補 委	公益財団法人上原記念生命科学財団
非アルコール性脂肪肝・肝炎(NASH/NAFLD)の鑑別診断マーカーの開発	中島淳	消化器内科学	20万円	補 委	独立行政法人科学技術振興機構(JST)受託研究
炎症性腸疾患発症における口腔内細菌の役割解明を目指した挑戦的萌芽研究	中島淳	消化器内科学	180万円	補 委	学術研究助成基金助成金(挑戦的萌芽研究)
C型肝炎ウイルスの脂質代謝への影響と新たな治療標的の開発の研究	中島淳	消化器内科学	15万円	補 委	科学研究費補助金(基盤研究(C))
肝炎誘発性口腔細菌の同定とそのメカニズムの解明	中島淳	消化器内科学	100万円	補 委	学術研究助成基金助成金(挑戦的萌芽研究)
小児期からの消化器系希少難治性疾患群の包括的調査研究とシームレスなガイドライン作成	中島淳	消化器内科学	260万円	補 委	厚生労働省科学研究費補助金(難治性疾患等克服研究事業)
腸管希少難病群の疫学, 病態, 診断, 治療の相同性と相違性から見た包括的研究	中島淳	消化器内科学	925万円	補 委	厚生労働省科学研究費補助金(難治性疾患等克服研究事業)
疾患モデル動物を用いた環境発がんの初期過程の分子機構および感受性要因の解明とその臨床応用に関する研究	中島淳	消化器内科学	270万円	補 委	厚生労働省科学研究費補助金(第3次対がん総合戦略研究事業)

(小計 9件)

肥満による脂肪肝炎発症にかかわる脂質毒性 (lipotoxicity) の研究	中島淳	消化器内科学	100万円	補 委	第10回花王健康科学研究助成金
NASH病態進展におけるエンドキシンの役割の解明	中島淳	消化器内科学	100万円	補 委	公益財団法人アステラス病態代謝研究会研究助成金
エンドキシンによる全身性慢性炎症の低減作用によるプロバイオティクスの新しい生活習慣病予防法の検討	中島淳	消化器内科学	200万円	補 委	ダノン学術研究助成金
C型肝炎ウイルスの脂質代謝への影響と新たな治療標的の開発の研究	斉藤聡	消化器内科学	80万円	補 委	学術研究助成基金助成金 (基盤研究 (C))
大腸ACF発症機序解明およびアディポサイトカインの作用解析	高橋宏和	消化器内科学	120万円	補 委	学術研究助成基金助成金 (基盤研究 (C))
大うつ病合併NAFLD患者の罹患率調査, 機序の解明	米田正人	消化器内科学	100万円	補 委	一般財団法人横浜医学振興財団 推進研究助成金
レプチンが大腸がんに与える作用およびその分子メカニズムの解明	遠藤宏樹	消化器内科学	160万円	補 委	学術研究助成基金助成金 (若手研究 (B))
メトホルミンによる大腸化学発癌予防の研究	細野邦広	消化器内科学	160万円	補 委	学術研究助成基金助成金 (若手研究 (B))
カプセル内視鏡による潰瘍性大腸炎の小腸病変の検討	日暮琢磨	消化器内科学	160万円	補 委	学術研究助成基金助成金 (若手研究 (B))

(小計 9件)

散発性大がん患者におけるMDF発生に関わる遺伝子異常および分子機序の解明	酒井英嗣	消化器内科学	140万円	補 委	学術研究助成基金助成金(若手研究(B))
Epigenetic変異および遺伝子変異解析を用いた大腸LSTの大腸発癌過程における位置づけ	酒井英嗣	消化器内科学	30万円	補 委	一般財団法人横浜総合医学振興財団 萌芽的研究助成
小腸疾患のpHに関する検討(pHカプセルを用いて)	飯田洋	消化器内科学	30万円	補 委	一般財団法人横浜総合医学振興財団 萌芽的研究助成
NASH病態におけるエンドトキシン-脂質代謝障害の検討	今城健人	消化器内科学	160万円	補 委	学術研究助成基金助成金(若手研究(B))
NASH病態進展におけるエンドトキシンの役割の解明	今城健人	消化器内科学	100万円	補 委	公益財団法人アステラス病態代謝研究会 研究助成金
PI3キナーゼp85 α 欠損マウスにおける肝臓と血管インスリン抵抗性	青木一孝	内分泌・糖尿病内科学	350万円	補 委	基盤研究(C) 22590990 2010-2012年度
研究助成薬物療法における摂食調節と消化管運動 ~ α グルコシダーゼ阻害薬・DPP-4阻害薬・5-HT4受容体アゴニストを用いて~	青木一孝	内分泌・糖尿病内科学	100万円	補 委	第6回Diabetes Masters Conference 2012年12月
副交感神経による膵 β 細胞機能維持の解析	伊藤 譲	内分泌・糖尿病内科学	195万円	補 委	科学研究費 基盤研究C, 平成24年度
ジペプチジルペプチターゼ-4阻害による脂肪細胞機能制御	木村真理	内分泌・糖尿病内科学	195万円	補 委	科学研究費 基盤研究C, 平成24年度

(小計 9件)

膵β細胞におけるグルコキナーゼの新規標的分子の機能解析	白川 純	内分泌・糖尿病内科学	100万円	補 委	ノボノルディスクファーマインスリン研究助成
グルコキナーゼ活性化薬による2型糖尿病の新規治療法開発	白川 純	内分泌・糖尿病内科学	50万円	補 委	横浜総合医学振興財団奨励研究助成
グルコースシグナルを介した膵β細胞の小胞体ストレス制御メカニズムの解明	白川 純	内分泌・糖尿病内科学	45万円	補 委	Front Runner of Future Diabetes Research 研究助成
糖代謝を介した膵β細胞小胞体ストレス誘導性アポトーシスの制御機構解明	白川 純	内分泌・糖尿病内科学	100万円	補 委	万有生命科学振興国際交流財団 研究助成 生活習慣病領域
グルコキナーゼ活性化薬による膵β細胞小胞体ストレス誘導性アポトーシス制御機構の解明	白川 純	内分泌・糖尿病内科学	100万円	補 委	かなえ医薬振興財団 研究助成
科学研究費 膵β細胞量に着目した糖尿病テーラーメイド医療の基盤整備	寺内康夫	内分泌・糖尿病内科学	740万円	補 委	基盤研究B, 平成24年度
膵β細胞での糖代謝を標的とした糖尿病オーダーメイド治療法の確立	寺内康夫	内分泌・糖尿病内科学	1,000万円	補 委	武田科学振興財団「2012年度 生命科学 研究助成」
糖尿病診療均てん化のための標準的診療マニュアル作成とその有効性の検証	寺内康夫	内分泌・糖尿病内科学	60万円	補 委	厚生労働省科学研究費補助金
日本人2型糖尿病患者における生活習慣介入の長期予後効果並びに死亡率とその危険因子に関する前向き研究(JDCS)	寺内康夫	内分泌・糖尿病内科学	50万円	補 委	厚生労働省科学研究費補助金

(小計 9件)

臨床応用へ向けたグルコキナーゼ活性化薬の展望と問題点	中村昭伸	内分泌・糖尿病内科学	195万円	補 委	科学研究費 若手B, 平成24年度
高脂肪食誘導性肥満・2型糖尿病及びその合併症におけるIRS-1の役割	中村昭伸	内分泌・糖尿病内科学	100万円	補 委	山口内分泌疾患研究振興財団研究助成金
高脂肪食誘導性NASH・肝腫瘍進展の分子機構	中村昭伸	内分泌・糖尿病内科学	45万円	補 委	Front Runner of Future Diabetes Researchに関する研究助成 平成24年度
孤発性ALS疾患モデルによる病態解明と治療法開発	田中章景	神経内科学・脳卒中医学	546万円	補 委	文部科学省科学研究費補助金, 基盤研究(B) (平成22年度～平成24年度)
パーソナルゲノム解析に基づくALSの疾患関連遺伝子探索と病態解明	田中章景	神経内科学・脳卒中医学	1,066万円	補 委	文部科学省科学研究費補助金, 新学術領域研究(研究領域提案型) (平成22～26年度)
次世代遺伝子解析技術を用いた稀少難治性疾患の原因究明及び病態解明に関する研究	田中章景	神経内科学・脳卒中医学	400万円	補 委	厚生労働科学研究費補助金, 難病・がん等の疾患分野の医療の実用化研究事業(難病関係研究分野) (平成23年度～25年度)
筋萎縮性側索硬化症と脊髄小脳変性症における共通結合蛋白	児矢野 繁	神経内科学・脳卒中医学	260万円	補 委	文部科学省科学研究費基盤研究(C) (平成23年度～平成25年度)
遺伝子未同定脊髄小脳変性症のエクソーム解析	土井 宏	神経内科学・脳卒中医学	286万円	補 委	文部科学省科学研究費学術研究基金若手研究(B) (平成24年度～平成25年度)
多発性硬化症における新規バイオマーカーLOTUSの検討	高橋慶太	神経内科学・脳卒中医学	50万円	補 委	平成24年度日本多発性硬化症協会医学助成 日本多発性硬化症協会

(小計 9件)

救命救急センターにおける自殺未遂者再発防止事業	平安良雄	精神医学	1,035万円	補 委	横浜市受託研究費、平成24年
統合失調症の診断、治療法の開発に関する研究:高齢統合失調症患者の病態とリハビリに基づく心理教育に関する研究(主任研究者:安西信雄)	平安良雄	精神医学	260万円	補 委	厚生労働省精神・神経疾患研究委託費、平成24年
自殺対策のための効果的な介入手法の普及に関する研究:救急医療施設を受診した自損・自傷患者を対象とした検討(主任研究者:山田光彦)	平安良雄	精神医学	100万円	補 委	厚生労働科学研究費、平成24年
病・診・介護の連携による認知症ネットワーク構築に関する研究事業(主任研究者:神崎恒一)	小田原俊成	精神医学	150万円	補 委	厚生労働科学研究費補助金、平成24年
頭側頭葉変性症の多様性についての臨床病理学的研究	勝瀬大海	精神医学	117万円	補 委	文部科学省科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金(若手研究B),平成24年)
精神疾患患者における自律神経活動動態の解明と分子生物学的研究	岸田郁子	精神医学	221万円	補 委	文部科学省科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金(若手研究B),平成24年)
専門病院受診者に対する認知行動療法の開発と普及に関する研究,アルコールを含めた物質依存に関する病態解明及び社会心理的治療法の開発に関する研究	青山久美	精神医学	90万円	補 委	精神・神経疾患研究開発費 2012年
統合失調症におけるDefault Mode Networkの脳構造異常と性差、症状、認知、気質との関連	浅見剛	精神医学	50万円	補 委	統合失調症研究会 第7回研究助成 平成24年
ベーチェット病のインプリキシマブ治療不応性因子の解明臨床特徴の検証ー神経ベーチェット病の早期発見を目指して	鎌田鮎子	精神医学	160万円	補 委	文部科学省科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金(若手研究B),平成24年)

(小計 9件)

自己炎症疾患とその類縁疾患に対する新規診療基盤の確立	横田俊平	小児科学	200万円	補 委	平成24年度厚労省科学研究費助成金 難治性疾患克服研究事業
乳幼児突然死症候群(SIDS)および乳幼児突発性危急事態(ALTE)の病態解明および予防法開発に向けた複数領域専門家による統合的研究	横田俊平	小児科学	45万円	補 委	平成24年度厚労省科学研究費助成金 成育疾患克服等次世代育成基研究事業
原発性免疫不全症候群に関する調査研究	横田俊平	小児科学	100万円	補 委	平成24年度厚労省科学研究費助成金 難治性疾患研究事業
小児等の特殊患者に対する医薬品の適正使用に関する研究	横田俊平	小児科学	30万円	補 委	平成24年度厚労省科学研究費助成金 医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業
線維筋痛症をモデルとした慢性疼痛機序の解明と治療法の確立に関する研究	横田俊平	小児科学	75万円	補 委	平成24年度厚労省科学研究費助成金 慢性的痛み対策研究事業
児童生徒の心臓疫学調査	岩本真理	小児科学	171.5万円	補 委	神奈川県予防医学協会
横須賀市内の児童生徒の心臓疫学調査	岩本真理	小児科学	89.3万円	補 委	淮南健診クリニック
不足するNICU病床の有効活用に向けて一高度集中治療不要の新生児を管理できる医療施設の充実と支援	西巻 滋	小児科学	4,196万円	補 委	平成22年度周産期医療環境整備事業(人材養成環境整備)
そう痒性疾患の治療におけるセマフォリン3A発現の変化と新規治療薬の開発	相原道子	皮膚科学	30万円	補 委	平成24年度文科省科学研究費助成金 基盤研究(C)

(小計 9件)

重症多形滲出性紅斑に関する調査研究	相原道子	皮膚科学	400万円	補 委	平成24年度厚生労働省科学研究費補助金 難治性疾患等克服研究事業(難治性疾患克服研究事業)
NSAIDs過敏気道疾患の原因、発症機序解明とガイドライン作成に関する研究	相原道子	皮膚科学	50万円	補 委	平成24年度厚生労働省科学研究費補助金 難治性疾患等克服研究事業(免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業)
成人独自のアナフィラキシーの実態と病態に関する研究	相原道子	皮膚科学	25万円	補 委	平成24年度厚生労働省科学研究費補助金 難治性疾患等克服研究事業(免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業)
生命予後に関わる重篤な食物アレルギーの実態調査・新規治療法の開発および治療指針の策定	相原道子	皮膚科学	50万円	補 委	平成24年度厚生労働省科学研究費補助金 難治性疾患等克服研究事業(免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業)
重症薬疹における抗原提示細胞のアクセサリー分子の発現と抗TNF α 抗体療法の検討	藤田浩之	皮膚科学	140万円	補 委	平成24年度文科省科学研究費助成金, 若手研究(B)
Periostinに着目した全身性強皮症の病態解析	山口由衣	皮膚科学	160万円	補 委	平成24年度文科省科学研究費助成金, 若手研究(B)
院内製造PET薬剤の合成装置を用いた核医学診断技術に係る規制体系、臨床応用に関する諸外国の状況調査に関する研究	井上登美夫	放射線医学	500万円	補 委	厚生労働省科学研究費補助金(H23-医薬-指定-027)
MRIによる胸膜癒着の術前評価に関する研究	岩澤多恵	放射線医学	15万円	補 委	神奈川県がん研究基金(2012年度)
早期手術及び予防を目指した大動脈瘤発生における責任遺伝子の臨床的解析	益田宗孝	外科治療学	80万円	補 委	文部科学省科学研究費基盤研究(C)(2010-2013年度)

(小計 9件)

オーダーメイド医療を目指した大動脈瘤発生に関する弾性線維形成異常の研究	鈴木伸一	外科治療学	380万円	補 委	文部科学省科学研究費 基礎研究(C)(2010-2012 年度)
ヨーロッパと日本で急性大動脈解離の発生率が異なる理由—大動脈壁の構造的な相違があるか	郷田素彦	外科治療学	100万円	補 委	横浜医学振興財団 心臓 疾患研究助成金
消化器癌におけるバイオマーカーの探索と新規分子標的薬の開発	大島 貴	外科治療学	50万円	補 委	横浜総合医学振興財団 推進研究助成
消化器悪性腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同研究	吉川貴己	外科治療学	500万円	補 委	厚生労働省 がん研究助 成金
胃がんに対するリンパ節郭清を伴う腹腔鏡下手術と開腹手術との比較に関する多施設共同ランダム化比較試験	吉川貴己	外科治療学	600万円	補 委	厚生労働省がん臨床研 究事業
胃全摘後の普遍的な再建法を確立するランダム化比較試験	吉川貴己	外科治療学	650万円	補 委	文部科学省科学研究費 基盤研究©
KRAS変異・高増殖活性型肺腺癌の分子病理学的特性の追求	禹 哲漢	外科治療学	156万円	補 委	文部科学省科学研究費 補助金(若手B)(H23~ 24年度)
EGFR遺伝子変異を有する切除不能局所進行非小細胞肺癌におけるゲフィチニブと胸部放射線治療との併用療法の有効性・安全性研究 第II相臨床試験	坂本和裕	外科治療学	10万円	補 委	国立病院機構ネットワー ク共同研究がん(呼吸器)
国立病院機構肺がん研究会(NHOSGLC)による肺癌登録・予後調査データベースの更新と保守管理	坂本和裕	外科治療学	10万円	補 委	国立病院機構ネットワー ク共同研究がん(呼吸器)

(小計 9件)

既治療進行非小細胞肺癌に対するエルロチニブとの無作為比較第Ⅲ相試験 (DELTA試験)	坂本和裕	外科治療学	100万円	補 委	国立病院機構EBM推進のための大規模臨床試験
間質性肺炎を合併する原発性肺癌手術例の術後急性増悪の予防および治療法確立のための多施設調査研究	坂本和裕	外科治療学	30万円	補 委	国立病院機構ネットワーク共同研究がん(呼吸器)
栄養管理(高容量分枝鎖アミノ酸補給と漢方薬投与)を含む包括的呼吸リハビリテーションの臨床的有用性	坂本和裕	外科治療学	20万円	補 委	国立病院機構ネットワーク共同研究がん(呼吸器)
喫煙者・非喫煙者の肺癌病因に関する分子疫学的研究 (JME試験)	坂本和裕	外科治療学	20万円	補 委	国立病院機構ネットワーク共同研究がん(呼吸器)
観血的医療処置時の抗血栓薬の適切な管理に関する研究 (MARK研究)	坂本和裕	外科治療学	20万円	補 委	国立病院機構共同臨床研究
乳癌薬物療法の効果予測とki67との関連性についての検討	清水 哲	外科治療学	30万円	補 委	かながわ健康財団専門部門指定研究
乳癌における経口フッ化ピリミジン系薬剤の併用療法及び血管新生阻害に関する研究	吉田 明	外科治療学	30万円	補 委	かながわ健康財団専門部門指定研究
乳癌の薬物療法におけるタキサン系薬剤の効果予測因子とintrinsic subtypeとの関連について	稲葉将陽	外科治療学	30万円	補 委	かながわ健康財団専門部門指定研究
肺癌間質のプロテオーム解析	遠藤 格	消化器・腫瘍外科学	100万円	補 委	文部科学省科学研究費基盤研究(C)

(小計 9件)

胆膵癌に対するアミノ酸抱合ナノ粒子の増殖抑制効果に関する検討	遠藤 格	消化器・腫瘍外科学	10万円	補	文部科学省科学研究費 基盤研究(C)
				委	
大腸癌肝転移巣における癌幹細胞	田中 邦哉	消化器・腫瘍外科学	110万円	補	文部科学省科学研究費 基盤研究(C)
				委	
胆膵癌に対するアミノ酸抱合ナノ粒子の増殖抑制効果に関する検討	松山隆生	消化器・腫瘍外科学	10万円	補	文部科学省科学研究費 基盤研究(C)
				委	
膵癌間質のプロテオーム解析	森隆太郎	消化器・腫瘍外科学	10万円	補	文部科学省科学研究費 基盤研究(C)
				委	
高リスク女性に対する個別化検診をめざした乳癌罹患定量的アルゴリズムの開発	菅江貞亨	消化器・腫瘍外科学	25万円	補	文部科学省科学研究費 基礎研究(C)
				委	
高リスク女性に対する個別化検診をめざした乳癌罹患定量的アルゴリズムの開発	千島隆司	消化器・腫瘍外科学	25万円	補	文部科学省科学研究費 基礎研究(C)
				委	
高リスク女性に対する個別化検診をめざした乳癌罹患定量的アルゴリズムの開発	山田美千代	消化器・腫瘍外科学	25万円	補	文部科学省科学研究費 基礎研究(C)
				委	
深部静脈血栓症を予防するためのCPMを駆使した椅子の開発	青田洋一	運動器病態学	310万円	補	科学研究費補助金基盤 研究(C)
				委	
思春期特発性側腕章患者における骨形態測定法による骨成長と骨代謝評価	青田洋一	運動器病態学	80万円	補	骨粗鬆症財団リサーチ プログラム
				委	

(小計 9件)

凝固線溶マーカーと抗Xa活性モニタリングによる術後静脈血栓症の選択的予防法の確立	稲葉 裕	運動器病態学	126万円	補 委	2012年度科学研究費補助金基盤研究(C)
人工股関節全置換術の手術部位感染予防のための術前皮膚処置に関する検討	稲葉 裕	運動器病態学	20万円	補 委	2012年度科学研究費補助金基盤研究(C)
特発性大腿骨頭壊死症の予防と治療の標準化を目的とした総合研究.	稲葉 裕	運動器病態学	10万円	補 委	2012年度科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)
PTHによる骨折治癒促進効果と末梢血由来骨前駆細胞関与のメカニズムに関する研究	熊谷研	運動器病態学	130万円(364万円)	補 委	科学研究費補助金 若手研究(B)(平成 23-24年度)
変形性関節症の新しい関節マーカーの開発	熊谷研	運動器病態学	25万円(481万円)	補 委	科学研究費補助金 基盤研究(C)(平成 23-25年度)
虚血性脳障害に対する神経再生療法	川原信隆	脳神経外科学	1,000万円	補 委	公益信託美原脳血管障害研究振興基金 美原賞, 2012
新規内因性軸索伸張促進因子Lotusの脳虚血後神経再生に及ぼす効果	川原信隆	脳神経外科学	975万円	補 委	文部省科学研究費補助金基盤研究(B)(2)(2012-2014年度)
「神経再生医療を目指した多能性組織幹細胞の単離と神経分化ペプチドによる神経分化誘導」	菅野 洋	脳神経外科学	520万円	補 委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究(B) 平成24年度
「多能性間葉系幹細胞へのBC-boxモチーフペプチド導入による神経分化機構の解明」	菅野 洋	脳神経外科学	160万円	補 委	文部科学省科学研究費補助金挑戦的萌芽研究 平成24年度

(小計 9件)

「フォン・ヒッペルリントウ病の病態調査と診断治療系確立の研究」	菅野 洋	脳神経外科学	30万円	補 委	厚生労働省科学研究難治性疾患克服研究事業研究奨励分野 平成24年度
細胞活性化能を付与したチタンファイバーによる唾液腺再生	青木伸二郎	口腔外科学	78万円	補 委	文部科学省科学研究費補助金挑戦的萌芽研究, 2012年度
ノートパソコンとのUSB接続によるポータブル歯科・口腔外科内視鏡システムの開発	岩井俊憲	口腔外科学	260万円	補 委	文部科学省科学研究費補助金若手研究(B), 2012年度
内視鏡を用いた低侵襲な歯科・口腔外科治療の普及を目指したファイバースコープシステムとバーチャルシミュレーターの開発	岩井俊憲	口腔外科学	60.3万円	補 委	横浜市立大学先端医科学研究センター研究開発プロジェクト(第Ⅲ期)若手育成プログラム, 2012年度
流体解析シミュレーションによる顎骨移動前後の気道形態と呼吸機能の検討	大村 進	口腔外科学	117万円	補 委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C), 2012年度
口腔癌に対する逆行性超選択的動注法のためのelectromagnetic tracking navigation systemの開発	大屋貴志	口腔外科学	65万円	補 委	グローバルCOEプログラム「情報通信による医工融合イノベーション創生」, 2012年度
トレンシルクロッド法で細胞接着タンパク質を表面固定したインプラント周囲の組織反応	小澤知倫	口腔外科学	78万円	補 委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C), 2012年度
口腔癌再発に関わる骨髄単球細胞のマクロファージへの分化機構	來生 知	口腔外科学	182万円	補 委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C), 2012年度
口腔がん微小環境変化に伴う腫瘍血管の再形成メカニズムの解明と新規標的薬の開発	來生 知	口腔外科学	100万円	補 委	横浜総合医学振興財団推進研究助成, 2012年度

(小計 9件)

頭頸部癌幹細胞と微小環境を標的とする低侵襲性新規治療法の開発	來生 知	口腔外科学	100万円	補 委	鈴木謙三研究振興財団研究助成, (2012年度)
歯周病と発癌性に対する疫学的調査とその分子メカニズムの解析	來生 知	口腔外科学	55万円	補 委	神奈川県歯科保健賞研究奨励, (2012年度)
動注化学療法の抗癌剤至適投与量の解明-流体解析を用いた外頸動脈の血流シミュレーション-	北島大朗	口腔外科学	45万円	補 委	グローバルCOE プログラム「情報通信による医工融合イノベーション創生」, 2012年度
aPKC λ/ι の発現・局在異常は口腔がんの新たな診断基準になり得るか?	小泉敏之	口腔外科学	195万円	補 委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C), 2012年度
家兎舌癌モデルに対する新規磁性抗がん剤を用いたDrug Delivery Systemおよび磁場誘導組織内温熱療法による舌癌治療効果の検討	佐藤 格	口腔外科学	65万円	補 委	グローバルCOE プログラム「情報通信による医工融合イノベーション創生」, 2012年度
口腔癌に対する逆行性超選択的動注法を普及させるためのトレーニングモデルの開発	柴崎麻衣子	口腔外科学	30万円	補 委	文部科学省科学研究費補助金奨励研究, 2012年度
HIV感染者を対象とした口腔癌の早期発見と予防に関する研究	筑丸 寛	口腔外科学	208万円	補 委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C), 2012年度
患者固有データを用いた流体シミュレーションによるオーダーメイド動注化学療法の開発	藤内 祝	口腔外科学	728万円	補 委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究(B), 2012年度
化学放射線療法前後の頸部リンパ節流路の同定とICGを用いた潜在転移リンパ節の探索	藤内 祝	口腔外科学	234万円	補 委	文部科学省科学研究費補助金挑戦的萌芽研究, 2012年度

(小計 9件)

温熱療法と分子標的薬の併用療法	中島英行	口腔外科学	273万円	補 委	文部科学省科学研究費補助金若手研究(B), 2012年度
骨組織誘導能を賦与したチタンファイバー編製顎骨再建材料の開発	廣田 誠	口腔外科学	104万円	補 委	文部科学省科学研究費補助金若手研究(B), 2012年度
口腔癌に対する超選択的動注法のための複合画像誘導手法による手術支援システムの開発	不破信和	口腔外科学	143万円	補 委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C), 2012年度
家兎移植VX2舌癌に対する新規磁性体抗癌剤を用いた温熱化学療法の有用性の検討	光藤健司	口腔外科学	143万円	補 委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C), 2012年度
顎骨移動による気道への影響を解明するための流体解析によるairwayシミュレーション	矢島 康治	口腔外科学	45万円	補 委	グローバルCOE プログラム「情報通信による医工融合イノベーション創生」, 2012年度
口腔癌の化学療法における口内炎に対するG-CSF含嗽剤の有用性に関する検討	渡貫 圭	口腔外科学	156万円	補 委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C), 2012年度
前立腺癌におけるレニン-アンジオテンシン系のアンドロゲンレセプター発現調整の解明	上村博司	泌尿器科学	350万円	補 委	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C), 平成24年度
前立腺癌の新規治療薬開発に向けた標的タンパク構造解析とそれに基づく新規薬剤の設計と開発	上村博司	泌尿器科学	67万円	補 委	横浜市立大学研究戦略プロジェクト事業, 平成24年度
標的蛋白質の構造解析に基づく合理的創薬	上村博司	泌尿器科学	200万円	補 委	横浜市立大学戦略的研究推進費, 横浜市立大学戦略的研究推進費, 平成24年度

(小計 9件)

患者固有モデルによる専門医の 手技訓練用手術シミュレータの研究開発	槇山和秀	泌尿器科学	820万円	補 委	科学研究費補助金基盤 研究(B), 平成24年度
人工骨マーカーを用いた画像誘 導放射線治療の研究	三好康秀	泌尿器科学	5万円	補 委	文部科学省科学研究費 補助金基盤研究(C), 平 成24年度
腎癌の治療反応性に特異的な分 子シグナル経路の同定とその臨 床応用研究	矢尾正祐	泌尿器科学	221万円	補 委	文部科学省科学研究費 補助金 基盤研究(C), 平 成24年度
フォン・ヒッペル・リンドウ病の診療 指針に基づく診断治療体制確立 の研究	矢尾正祐	泌尿器科学	20万円	補 委	厚生労働省科学研究費補 助金(難治性疾患克服研 究事業), 平成24年度
ベーチェット病に関する調査研究	水木信久	眼科学	100万円	補 委	厚生労働省科学研究費補 助金(難治性疾患克服研 究事業), 平成24年度
急性網膜壊死の診断基準に関す る調査研究	水木信久	眼科学	100万円	補 委	厚生労働省科学研究費補 助金(難治性疾患克服研 究事業), 平成24年度
多民族を対象とした相関解析によ るベーチェット病関連遺伝子の同 定及び病態の解明	水木信久	眼科学	200万円	補 委	文部科学省科学研究費 補助金 基盤研究(B), 平 成24年度
ベーチェット病などのHLA関連遺 伝性眼疾患における疾患特異的 な多型の網羅的検索	水木信久	眼科学	800万円	補 委	文部科学省科学研究費 補助金 新学術領域, 平 成24年度
ベーチェット病のインプリキシマブ 治療不応答性因子の解明	水木信久	眼科学	40万円	補 委	(挑戦萌芽)

(小計 9件)

多民族の強度近視患者を対象としたゲノムワイドな相関解析	水木信久	眼科学	10万円	補 委	(基盤研究C)
ベーチェット病のインプリキシマブ治療不応答性因子の解明	水木 信久	眼科学	40万円	補 委	文部科学研究費学術研究助成基金助成金 挑戦萌芽研究、平成24年
多民族の強度近視患者を対象としたゲノムワイドな相関解析	野村 直子	眼科学	110万円	補 委	文部科学研究費学術研究助成基金助成金 基盤研究(C)、平成24年
ベーチェット病の原因解明	河越 龍方	眼科学	110万円	補 委	文部科学研究費学術研究助成基金助成金 若手研究(B)、平成24年
多民族のサルコイドーシス患者を対象とした遺伝要因の解明	目黒 明	眼科学	230万円	補 委	文部科学研究費学術研究助成基金助成金 若手研究(B)、平成24年
難治性内因性ぶどう膜炎における網羅的自己抗体解析研究	目黒 明	眼科学	80万円	補 委	文部科学研究費学術研究助成基金助成金 基盤研究(C)、平成24年
True gene slicing法による頭頸部癌増殖抑制の試み	折館伸彦	耳鼻咽喉科学	200万円	補 委	文部科学省科学研究費基盤研究(C)
好酸球性副鼻腔炎の診断基準作成と網羅的解析に関する研究	石戸谷淳一	耳鼻咽喉科学	40万円	補 委	厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等克服研究事業)
頭頸部癌頸部リンパ節転移超音波診断基準作成に関する複数施設での検討	古川まどか	耳鼻咽喉科学	4万円	補 委	かながわ健康財団がん調査研究助成金

(小計 9件)

高血圧モデル動物の特殊臓性知覚系に関する分子組織学的研究	松田秀樹	耳鼻咽喉科学	50万円	補 委	文部科学省科学研究費基盤研究(C)
高地トレーニングに関する基礎研究:低酸素環境下における高血圧動物の化学受容機構.	松田秀樹	耳鼻咽喉科学	10万円	補 委	文部科学省科学研究費基盤研究C
聴覚障害児の両耳補聴の調整法の開発とその効果の検討	高橋優宏	耳鼻咽喉科学	10万円	補 委	科研費基盤研究(B)
同所性頭頸部癌モデルを用いた頭頸部癌頸部リンパ節転移のメカニズムの解明	佐野大佑	耳鼻咽喉科学	30万円	補 委	一般財団法人横浜総合医学振興財団 平成24年萌芽的研究助成
厚生労働科学研究費補助金新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業.	平原史樹	産婦人科学	150万円	補 委	厚生労働科学研究費(新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事)
先天異常モニタリングに関する研究	平原史樹	産婦人科学	300万円	補 委	日本産婦人科医会おぎや一献金基金
タンデムマス導入による新生児マススクリーニング体制の整備と質向上に関する研究	平原史樹	産婦人科学	80万円	補 委	厚生労働科学研究費(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)
本邦における先天異常モニタリングによる先天異常発生要因の分析とその対応に関する研究	平原史樹	産婦人科学	260万円	補 委	厚生労働科学研究費(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)
環境省子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)	平原史樹	産婦人科学	1億5,339万円	補 委	(小児科, 臨床疫学共同)

(小計 9件)

卵巣明細胞腺癌の悪性進展機序の解明および新規治療標的分子に関する研究	宮城悦子	産婦人科学	80万円	補 委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究◎
地方自治体および地域コミュニティ単位の子宮頸がん予防対策が若年女性の意識と行動に及ぼす効果の実効性の検証	宮城悦子	産婦人科学	1,050万円	補 委	厚生労働省科学研究費補助金(がん臨床研究事業)
横浜市大における統合的な感染症制御戦略の創出	宮城悦子	産婦人科学	20万円	補 委	先端医科学研究センター研究開発プロジェクト
子宮平滑筋腫が巨大に発育する分子生物学的機序に関する研究	佐藤美紀子	産婦人科学	200万円	補 委	文科省科研費基盤研究(C)
医療安全に向けた医療事故判例における結果回避可能性の分析: 医療と法の協働への挑戦	上杉奈々	産婦人科学	60万円	補 委	科学研究費補助金(特別研究員奨励費)
心室肥大におけるVIP受容体の機能解明と遺伝子治療の検討	渡邊至	麻酔科学	60万円	補 委	科学研究補助金, 基盤研究(C), 2010年度~2012年度
幼若脳組織の神経活動に対する麻酔薬の作用の解明	安藤富男	麻酔科学	90万円	補 委	科学研究補助金, 基盤研究(C), 2010年度~2012年度
麻酔科医のメンタルヘルスの現状と支援策に関する研究	後藤隆久	麻酔科学	130万円	補 委	科学研究補助金, 基盤研究(C), 2010年度~2012年度
疼痛が記憶学習に及ぼす影響の, 行動学的及び中枢神経系での組織学・生理学的検討	小川賢一	麻酔科学	60万円	補 委	科学研究補助金, 基盤研究(C), 2010年度~2012年度

(小計 9件)

難治性疼痛に対する脊髄刺激鎮痛法の作用点の解明—中枢か脊髄か—	新堀博展	麻酔科学	50万円	補 委	科学研究補助金, 基盤研究(C), 2010年度～2012年度
肺高血圧症におけるリアルタイムなカルシウム感受性測定による血管収縮機構の解明	水野祐介	麻酔科学	90万円	補 委	学術研究助成基金助成金, 基盤研究(C), 2011年度～2013年度
急性肺損傷発症機序の解明と, 治療戦略の確立にむけた多角的アプローチ	倉橋清泰	麻酔科学	150万円	補 委	学術研究助成基金助成金, 基盤研究(C), 2011年度～2013年度
術中鎮痛法が術後の生活の質に及ぼす影響に関する研究	朝倉彩子	麻酔科学	130万円	補 委	学術研究助成基金助成金, 若手研究(B), 2012年度～2013年度
レンチウイルスベクターを用いた肺高血圧症治療	渡邊至	麻酔科学	170万円	補 委	学術研究助成基金助成金, 基盤研究(C), 2012年度～2014年度
長期休暇後の医師復帰支援のためのシミュレーショントレーニングプログラムの開発	佐藤仁	麻酔科学	170万円	補 委	学術研究助成基金助成金, 若手研究(B), 2012年度～2013年度
全身麻酔後の記憶学習能変化とAMPA型グルタミン酸受容体の関与に関する研究	伊奈川岳	麻酔科学	130万円	補 委	学術研究助成基金助成金, 基盤研究(C), 2012年度～2014年度
周術期3D経食道心エコーの有用性および専門医育成の検討—ハイブリッド手術における3DTEEの有用性について	後藤隆久	麻酔科学	80万円	補 委	平成24年度循環器病研究開発費24-4-4『周術期3D経食道心エコーの有用性および専門医育成の検討』, 2012年度
救急患者の緊急度評価基準の確立と救急活動の質の評価に関する研究	森村尚登	救急医学	900万円	補 委	平成24年度消防防災科学技術研究推進制度, 総務省消防庁

(小計 9件)

定量化した毛細血管再充満時間によるショックの予測	森村尚登	救急医学	500万円	補 委	平成24年度文部科学研究費補助金、基盤研究(C)、文部科学省
麻酔科専門医養成におけるモデルシミュレーションプログラムの開発と検討	中村京太	救急医学	100万円	補 委	平成24年度科学研究費補助金、基盤研究C
シリアスゲームを取り入れた卒前医療安全教育の教材開発	中村京太	救急医学	10万円	補 委	平成24年度科学研究費補助金、基盤研究B
家庭用超音波画像装置の開発事業	前川二郎	形成外科学	6,000万円	補 委	課題解決型医療機器の開発・改良に向けた病院・企業間の連携支援事業(経済産業省),平成24年6月25日-平成25年1月31日
四肢リンパ浮腫に対する浮腫重症度に応じた空気圧マッサージ器の開発に関する研究	前川二郎	形成外科学	490万円	補 委	平成24-26年度 科学研究費補助金事業 基盤研究◎
皮膚・皮下腫瘍診断用組織硬度測定超音波診断装置の開発	前川二郎	形成外科学	95万円	補 委	平成24年度 先端医科学研究センター 第Ⅲ期研究開発プロジェクト事業
ヒト耳介軟骨前駆細胞と自己血清とを用いた3次元形態を有する軟骨再生療法の開発	小林眞司	形成外科学	507万円	補 委	平成23-25年度 科学研究費補助金事業 基盤研究◎
自己耳介由来軟骨前駆細胞を用いた再生医療に関する前臨床研究	小林眞司	形成外科学	650万円	補 委	平成24年度厚生労働科学研究費 (H24-再生一若手-009)
一過性血管導入による革新的ヒト軟骨再構成法の開発	小林眞司	形成外科学	377万円	補 委	平成24年度 科学研究費補助金事業 学術研究助成基金助成金 挑戦的萌芽研究

(小計 9件)

唇顎口蓋裂に対する自己多血小板血漿の臨床応用	小林眞司	形成外科学	33万円	補 委	平成24年度かながわ県立病院小児医療研究基金
化学療法施行患者の皮膚合併症と加齢性皮膚変化の比較研究	黄 聖琥	形成外科学	429万円	補 委	文部科学省科学研究費(平成24-25年度)
生体内環境を模倣した革新的三次元培養技術に基づく軟骨幹/前駆細胞の培養法の検証	矢吹雄一郎	形成外科学	390万円	補 委	文部科学省科学研究費(平成24-25年度)
脳外傷の高次脳機能障害に対する居宅訪問面接と行動観察による地域リハ・ニーズ評価.	佐鹿博信	リハビリテーション科学	140万円	補 委	文科省科学研究費基盤研究(C)(2012~2014)
スモン患者の自律神経機能と運動能力に関する研究	水落和也	リハビリテーション科学	80万円	補 委	厚生労働省科学研究費難治性疾患克服研究事業
がんのリハビリテーションガイドライン作成のためのシステム構築に関する研究	水落和也	リハビリテーション科学	35万円	補 委	厚生労働科学研究費第3次がん総合戦略研究事業(2010~2012)
新たなソケット作製キット導入により早期義肢装着を可能にするシステム構築	水落和也	リハビリテーション科学	10万円	補 委	平成24年度科学研究費補助金基盤研究(b)(2010-2013)
地域・在宅高齢者における摂食嚥下・栄養障害に関する研究一特にそれが及ぼす在宅療養の非継続性と地域における介入システムの構築に向けて一	若林秀隆	リハビリテーション科学	220万円	補 委	厚生労働科学研究費補助金(長寿科学総合事業)(2012~2014)
新たなソケット作製キット導入により早期義肢装着を可能にするシステム構築	根本明宜	リハビリテーション科学	35万円	補 委	平成24年度科学研究費補助金基盤研究(b)(2010-2013)

(小計 9件)

人体動作取得解析システムの開発 およびエキスパート看護師の動作 の一般応用可能性の検証	根本明宜	リハビリテーション科学	10万円	補 委	平成24年度科学研究費 補助金基盤研究(c) (2012-2013)
大学所蔵貴重資料のデジタル・ アーカイブによる知的ブランドの確 立(脳コレクション)ユニット	根本明宜	リハビリテーション科学	25万円	補 委	横浜市立大学平成24年 度戦略的研究推進費
全国リハビリテーション患者データ ベースを用いた維持期障害者 に対する効果的な社会復帰支援に 関する研究	菊地尚久	リハビリテーション科学	754万円	補 委	平成24年度厚生労働科 学研究補助金障害者対 策総合研究事業, 課題番 号11103294 (2011-2013)
脳外傷リハデータベースによる社 会復帰に向けたリハ介入効果の 多施設間検討	菊地尚久	リハビリテーション科学	135.5万円	補 委	平成24年度文部科学省 科学研究費助成事業基 盤研究(c), 課題番 24500600(2012-2014)
脳外傷による高次脳機能障害者 に対する居宅訪問面接と行動観 察による地域リハ・ニーズ評価	菊地尚久	リハビリテーション科学	25万円	補 委	平成24年度文部科学省 科学研究費基盤研究 (c), 課題番 12005373(2012-2014)
呼吸器感染症分離菌感受性調査 (2011年度)	住友みどり	臨床検査部	35万円	補 委	委託研究
ガングリオシドーシスの中樞神経 系における炎症のメカニズムの解 明	山中正二	病理診断科・病理部	130万円	補 委	平成24年度科学研究費 補助金(基盤研究C)(課 題番号23590468)
分子異常に基づいた肺腺がんの 分類と浸潤・転移機構の解明	大橋健一	病理診断科・病理部	140万円	補 委	平成24年度科学研究費 補助金(基盤研究C)
糖尿病性腎硬化症進展における Advanced glycation end products, 喫煙習慣の影響	大橋健一	病理診断科・病理部	200万円	補 委	喫煙科学研究財団研究 助成金(2011-13年)

(小計 9件)

動脈硬化促進因子受容体への結合蛋白に着目した動脈硬化抑制療法の検討	池谷裕子	血液浄化センター	169万円	補 委	平成 24年度科学研究費補助金(研究活動スタート支援) 2012-2013
肥満を伴う高血圧症に対する防風通聖散の併用投与による24時間自由行動下血圧及び糖脂質代謝・酸化ストレスの改善効果についての研究	田村功一	血液浄化センター	720万円	補 委	平成24年度厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業). 2010-2012
透析患者におけるEpoetin Beta Pegollによる貧血改善および鉄利用効率評価	戸谷義幸	血液浄化センター	30万円	補 委	平成24年度日本腎臓財団公募研究助成
前立腺癌におけるレニン-アンジオテンシン系のアンドロゲンレセプター発現調整の解明	上村博司	結石破砕室	350万円	補 委	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究C, 平成24年度
前立腺癌の新規治療薬開発に向けた標的タンパク構造解析とそれに基づく新規薬剤の設計と開発	上村博司	結石破砕室	67万円	補 委	横浜市立大学研究戦略プロジェクト事業, 平成24年度
標的蛋白質の構造解析に基づく合理的創薬	上村博司	結石破砕室	200万円	補 委	横浜市立大学戦略的研究推進費, 横浜市立大学戦略的研究推進費, 平成24年度
非アルコール性脂肪肝・肝炎(NASH/NAFLD)の鑑別診断マーカーの開発	中島淳	内視鏡センター	20万円	補 委	独立行政法人科学技術振興機構(JST)受託研究
炎症性腸疾患発症における口腔内細菌の役割解明を目指した挑戦的萌芽研究	中島淳	内視鏡センター	180万円	補 委	学術研究助成基金助成金(挑戦的萌芽研究)
C型肝炎ウイルスの脂質代謝への影響と新たな治療標的の開発の研究	中島淳	内視鏡センター	15万円	補 委	科学研究費補助金(基盤研究(C))

(小計 9件)

肝炎誘発性口腔細菌の同定とそのメカニズムの解明	中島淳	内視鏡センター	100万円	補 委	学術研究助成基金助成金(挑戦的萌芽研究)
小児期からの消化器系希少難治性疾患群の包括的調査研究とシームレスなガイドライン作成	中島淳	内視鏡センター	260万円	補 委	厚生労働省科学研究費補助金(難治性疾患等克服研究事業)
腸管希少難病群の疫学、病態、診断、治療の相同性と相違性から見た包括的研究	中島淳	内視鏡センター	925万円	補 委	厚生労働省科学研究費補助金(難治性疾患等克服研究事業)
疾患モデル動物を用いた環境発がんの初期過程の分子機構および感受性要因の解明とその臨床応用に関する研究	中島淳	内視鏡センター	270万円	補 委	厚生労働省科学研究費補助金(第3次対がん総合戦略研究事業)
肥満による脂肪肝炎発症にかかわる脂質毒性(lipotoxicity)の研究	中島淳	内視鏡センター	100万円	補 委	第10回花王健康科学研究助成金
NASH病態進展におけるエンドトキシンの役割の解明	中島淳	内視鏡センター	100万円	補 委	公益財団法人アステラス病態代謝研究会研究助成金
エンドトキシンによる全身性慢性炎症の低減作用によるプロバイオティクスの新しい生活習慣病予防法の検討	中島淳	内視鏡センター	200万円	補 委	ダノン学術研究助成金
大腸ACF発症機序解明およびアディポサイトカインの作用解析	高橋宏和	内視鏡センター	120万円	補 委	学術研究助成基金助成金(基盤研究(C))
レプチンが大腸がんを与える作用およびその分子メカニズムの解明	遠藤宏樹	内視鏡センター	160万円	補 委	学術研究助成基金助成金(若手研究(B))

(小計 9件)

メトホルミンによる大腸化学発癌予防の研究	細野邦広	内視鏡センター	160万円	補	学術研究助成基金助成金(若手研究(B))
				委	
新たなソケット作製キット導入により早期義肢装着を可能にするシステム構築	根本明宜	医療情報学・医療情報部	50万円	補	平成24年度科学研究費補助金基盤研究(b)(2010-2013)
				委	
人体動作取得解析システムの開発およびエキスパート看護師の動作の一般応用可能性の検証	根本明宜	医療情報学・医療情報部	10万円	補	平成24年度科学研究費補助金基盤研究(c)(2012-2013)
				委	
大学所蔵貴重資料のデジタル・アーカイブによる知的ブランドの確立(脳コレクション)ユニット	根本明宜	医療情報学・医療情報部	25万円	補	横浜市立大学平成24年度戦略的研究推進費
				委	

(小計 4件)

研究費補助等の実績 合計 256件

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int J Hematol.97(3):427-9,2013 Mar	Successful treatment of a pregnant woman with Philadelphia chromosome-positive acute lymphoblastic leukemia.	Nakajima Y	免疫・血液・呼吸器内科学
Clin Dev Immunol,2012	Clinical and Pathological Roles of Ro/SSA Autoantibody System.	Yoshimi R	免疫・血液・呼吸器内科学
Int J Oncol. 42(2):429-36. 2013 Feb	Suppressive oligodeoxynucleotides synergistically enhance antiproliferative effects of anticancer drugs in A549 human lung cancer cells.	Takahashi R	免疫・血液・呼吸器内科学
Mod Rheumatol, 22(2): 202-208, 2012.	Challenges to expanding the clinical application of musculoskeletal ultrasonography (MSUS) among rheumatologists: from a second survey in Japan.	Hama M	免疫・血液・呼吸器内科学
Arthritis Rheum, 64(5): 1518-1528, 2012.	Bach1 regulates osteoclastogenesis in a mouse model via both heme oxygenase 1-dependent and heme oxygenase 1-independent pathways.	Hama M	免疫・血液・呼吸器内科学
Hematol Oncol, 30(4): 186-189, 2012.	Clinical features of extranodal marginal zone lymphoma of mucosa-associated lymphoid tissue.	Ishii Y	免疫・血液・呼吸器内科学
Acta Haematol, 128(2): 110-112, 2012.	Maximum standard uptake value at the biopsy site during (18)F-fluorodeoxyglucose positron emission tomography does not predict the proliferation potential of tumor cells in extranodal natural killer/t cell lymphoma, nasal type.	Ishii Y	免疫・血液・呼吸器内科学
Nat Genet, 45(2): 202-207, 2012.	Genome-wide association analysis identifies new susceptibility loci for Behçet's disease and epistasis between HLA-B* 51 and ERAP1.	Kirino Y	免疫・血液・呼吸器内科学
Nat Med,4; 18(4):547-54, 2012.	IL-17A produced by $\alpha\beta$ T cells drives airway hyper-responsiveness in mice and enhances mouse and human airway smooth muscle contraction.	Kudo M	免疫・血液・呼吸器内科学

(小計 9件)

Leuk Res, 236(8): 998-1003, 2012.	Clinical significance of minimal residual disease detected by multidimensional flow cytometry: Serial monitoring after allogeneic stem cell transplantation for acute leukemia.	Miyazaki T	免疫・血液・呼吸器内科学
J Clin Exp Hematop, 52(1): 77-79, 2012.	Retrospective study of the utility of FLIPI/FLIPI-2 for Follicular Lymphoma patients treated with R-CHOP.	Numata A	免疫・血液・呼吸器内科学
Journal of Hematopoietic Cell Transplantation, 1(1): 33-36, 2012.	Successful treatment with deferasirox in a patient with secondary hemochromatosis following allogeneic stem cell transplantation for acute lymphoblastic leukemia.	Numata A	免疫・血液・呼吸器内科学
J Med Case Rep, 6(1): 266, 2012.	Synchronous lung and gastric cancers successfully treated with carboplatin and pemetrexed: a case report.	Sato T	免疫・血液・呼吸器内科学
J Occup Environ Med, 54(12): 1461-1466, 2012.	Serum heme oxygenase-1 as a marker of lung function decline in patients with chronic silicosis.	Sato T	免疫・血液・呼吸器内科学
Leuk lymphoma, 53(3): 456-461, 2012.	Pretransplant serum ferritin has a prognostic influence on allogeneic transplantation regardless of disease risk.	Tachibana T	免疫・血液・呼吸器内科学
Leuk Lymphoma. 54(6):1318-20.2013 Jun	Multicenter validation of scoring system of pre-transplant serum ferritin and disease risk in patients with acute myeloid leukemia and myelodysplastic syndrome after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation.	Tachibana T	免疫・血液・呼吸器内科学
Int J Hematol, 96(3): 293-294, 2012.	Thrombosis at ascending aorta following chemotherapy in a patient with acute myeloid leukemia.	Tachibana T	免疫・血液・呼吸器内科学
Bone Marrow Transplant, 47(4): 596-597, 2012.	A prognostic score with pretransplant serum ferritin and disease status predicts outcome following reduced-intensity SCT.	Tanaka M	免疫・血液・呼吸器内科学

(小計 9件)

Leuk Res, 36(6): 699-703, 2012.	The impact of the dose of natural killer cells in the graft on severe acute graft-versus-host disease after unrelated bone marrow transplantation.	Tanaka M	免疫・血液・呼吸器内科学
Cancer Sci, 103(3): 245-251, 2012.	Central nervous system event in patients with diffuse large B-cell lymphoma in the rituximab era.	Tomita N	免疫・血液・呼吸器内科学
Cancer Sci, 103(8): 1518-1523, 2012.	SIL index, comprising stage, soluble interleukin-2 receptor, and lactate dehydrogenase, is a useful prognostic predictor in diffuse large B-cell lymphoma.	Tomita N	免疫・血液・呼吸器内科学
Mod Rheumatol. 2012.	Ultrasonography is a potent tool for the prediction of progressive joint destruction during clinical remission of rheumatoid arthritis.	Yoshimi R	免疫・血液・呼吸器内科学
Int J Rheumatol, 718237, 2012.	Autoantigen TRIM21/Ro52 as a Possible Target for Treatment of Systemic Lupus Erythematosus.	Yoshimi R	免疫・血液・呼吸器内科学
Clin Dev Immunol, 606195, 2012.	Clinical and pathological roles of Ro/SSA antibody system.	Yoshimi R	免疫・血液・呼吸器内科学
神奈川血液研究会誌, 32(1): 120-121, 2012.	骨髄異形成症候群に対してアザシチジン治療を施行した12例.	池田 礼	免疫・血液・呼吸器内科学
日臨外会誌, 73(4): 1013-1016, 2012.	16年を経て肺転移をきたした腸間膜腫瘍の1例.	神尾一樹	免疫・血液・呼吸器内科学
神奈川血液研究会誌, 32(1): 93-95, 2012.	当院の当院の血液疾患患者の現状～退院支援の必要性について～.	江珠美	免疫・血液・呼吸器内科学

(小計 9件)

神奈川血液研究会誌, 32(1): 58-60, 2012.	レナリドマイドが著効した5q-症候群.	佐藤公亮	免疫・血液・呼吸器内科学
日本内科学会雑誌, 101(10): 2926-2942, 2012.	診断と治療の進歩.	竹内 勤	免疫・血液・呼吸器内科学
静岡赤十字病院研究報, 32(1): 25-32, 2012.	脾摘を目的としてロミプロスチムを用いた免疫性血小板減少症の3症例.	田口 淳	免疫・血液・呼吸器内科学
藤沢市内科医学会雑誌, 24: 7-9, 2012.	藤沢市肺癌検診で発見された小細胞肺癌の臨床的検討 非検診発見 小細胞肺癌との比較.	長倉 秀幸	免疫・血液・呼吸器内科学
臨床血液, 53(7): 698-704, 2012.	t(8;21)を有する急性骨髄性白血病70例の治療成績.	沼田 歩	免疫・血液・呼吸器内科学
日臨外会誌, 73: 2231-2234, 2012.	エクリン汗腺癌肺転移の1例.	橋本一輝	免疫・血液・呼吸器内科学
横浜医学, 63(4): 611-614, 2012.	臍帯血移植後に肺限局性の移植後リンパ増殖疾患を合併した急性リンパ性白血病.	山本 渉	免疫・血液・呼吸器内科学
日本呼吸器学会誌, 1(5): 399-403, 2012.	5次化学療法としてのCAMP療法が奏効した胸腺腫の1例.	渡邊恵介	免疫・血液・呼吸器内科学
Biochem Biophys Res Commun, 428(1):44-49, 2012.	Analysis of interferon-beta mRNA stability control after poly(I:C) stimulation using RNA metabolic labeling by ethynyluridine.	Abe Y	循環器・腎臓内科学

(小計 9件)

J Am Coll Cardiol. 60:1778-86, 2012.	Incremental prognostic significance of peripheral endothelial dysfunction in patients with heart failure with normal left ventricular ejection fraction.	Akiyama E	循環器・腎臓内科学
Intern Med. 51:3387-3389, 2012.	Aliskiren induced remarkable hypertriglyceridemia.	Azushima K	循環器・腎臓内科学
Nature, 487: 477-481, 2012.	ACE2 links amino acid malnutrition to microbial ecology and intestinal inflammation.	Hashimoto T	循環器・腎臓内科学
J Cardiol, 60: 301-305, 2012.	Impact of renal insufficiency on long-term clinical outcome in patients with heart failure treated by cardiac resynchronization therapy.	Hosoda J	循環器・腎臓内科学
Circ J, 76: 2456-2464, 2012.	Inhibition of phosphodiesterase type 3 dilates the rat ductus arteriosus without inducing intimal thickening.	Ichikawa Y	循環器・腎臓内科学
Ther Apher Dial, 16:554-559, 2012.	Effect of renin-angiotensin system inhibitor on residual glomerular filtration rate in hemodialysis patients.	Itoh Y	循環器・腎臓内科学
J Am Soc Echocardiogr, 25: 1290-1298, 2012.	E/e' two weeks after onset is a powerful predictor of cardiac death and heart failure in patients with a first-time ST elevation acute myocardial infarction.	Iwahashi N	循環器・腎臓内科学
American Journal of Physiology (Heart and Circulate Physiology). 302:H2622-2628, 2012.	Heart Failure Rescued by an Anti-viral Drug which Inhibits Type 5 Cardiac Adenylyl Cyclase.	Iwatsubo K	循環器・腎臓内科学
J Clin Hypertens, 14:522-529, 2012.	Effects of aliskiren-based therapy on ambulatory blood pressure profile, central hemodynamics, and arterial stiffness in nondiabetic mild to moderate hypertensive patients.	Kanaoka T	循環器・腎臓内科学

(小計 9件)

Clin Exp Hypertens, 34:264-269, 2012.	Relationship of ambulatory blood pressure and the heart rate profile with renal function parameters in hypertensive patients with chronic kidney disease.	Kanaoka T	循環器・腎臓内科学
Eur Heart J, 33: 1408-16, 2012.	Ca ²⁺ entry mode of Na ⁺ /Ca ²⁺ exchanger as a new therapeutic target for heart failure with preserved ejection fraction.	Kamimura D	循環器・腎臓内科学
Circulation, 126: 1225-1236, 2012.	Comparison of everolimus-eluting and sirolimus-eluting coronary stents: 1-year outcomes from the Randomized Evaluation of Sirolimus-eluting Versus Everolimus-eluting stent Trial (RESET).	Kimura T	循環器・腎臓内科学
Hypertension, 59(4):854-860, 2012.	Mice lacking hypertension candidate gene ATP2B1 in vascular smooth muscle cells show significant blood pressure elevation.	Kobayashi Y	循環器・腎臓内科学
J Cardiol, 59:344-351, 2012.	Accumulation of pericardial fat correlates with left ventricular diastolic dysfunction in patients with normal ejection fraction.	Konishi M	循環器・腎臓内科学
Clin Exp Hypertens. 34(4):249-257, 2012.	Combination therapy of angiotensin II receptor blocker and calcium channel blocker exerts pleiotropic therapeutic effects in addition to blood pressure lowering: amlodipine and candesartan trial in Yokohama (ACTY).	Maeda A	循環器・腎臓内科学
Circulation, 125: e503-e506, 2012.	Long-term survivor with pulmonary veno-occlusive disease.	Matsuhita K	循環器・腎臓内科学
Int Heart J. 53(6):353-358, 2012.	Does reducing unnecessary right ventricular pacing improve sympathetic activity and innervation of heart in sinus node disease patients? MVP and SafeR study.	Miyamoto M	循環器・腎臓内科学
J Hypertens, 30: 1834-44, 2012.	L-Carnitine prevents the development of ventricular fibrosis and heart failure with preserved ejection fraction in hypertensive heart disease.	Omori Y	循環器・腎臓内科学

(小計 9件)

Am J Physiol Heart Circ Physiol, 302: H724-C732, 2012.	Novel role of p66Shc in ROS-dependent VEGF signaling and angiogenesis in endothelial cells.	Oshikawa J	循環器・腎臓内科学
Euro Heart J: Acute Cardiovascular Care, 1; 349-357, 2012.	Differences in negative T waves among acute coronary syndrome, acute pulmonary embolism, and takotsubo cardiomyopathy.	Kosuge M	循環器・腎臓内科学
Circ J, 76; 462-468, 2012.	Differences in negative T waves between takotsubo cardiomyopathy and reperfused anterior acute myocardial infarction.	Kosuge M	循環器・腎臓内科学
Circ J, 76; 32-40, 2012.	Clinical implications of electrocardiograms for patients with anterior wall ST-segment elevation acute myocardial infarction in the Interventional Era.	Kosuge M	循環器・腎臓内科学
Heart Vessels, 27(6): 541-547, 2012.	Intravascular ultrasound assessment of the association between spatial orientation of ruptured coronary plaques and remodeling morphology of culprit plaques in ST-elevation acute myocardial infarction.	Kusama I	循環器・腎臓内科学
Int Heart J, 53:353-358, 2012.	Does reducing unnecessary right ventricular pacing improve sympathetic activity and innervation of heart in sinus node disease patients?	Miyamoto M	循環器・腎臓内科学
Circ J, 76: 2579-2585, 2012.	Neurological benefit of therapeutic hypothermia following return of spontaneous circulation for out-of-hospital non-shockable cardiac arrest.	Soga T	循環器・腎臓内科学
Hypertens Res, 35:567-573, 2012.	Hunting for genes for hypertension: the Millennium Genome Project for Hypertension.	Tabara Y	循環器・腎臓内科学
Hypertens Res, 35:972-974, 2012.	An increase in perfusion pressure and activation of the renin-angiotensin system in the pathogenesis of hypertension and injury: strain vessels and the cerebrovascular-renal connection.	Tamura K	循環器・腎臓内科学

(小計 9件)

Hypertens Res, 36:107-108, 2012.	What can we expect from the binding characteristics of azilsartan, a newly available angiotensin II blocker, in hypertension?	Tamura K	循環器・腎臓内科学
Hypertens Res, 35:802-804, 2012.	Questionable link between normo- to microalbuminuria and home-measured blood pressure variability in hypertension.	Tamura K	循環器・腎臓内科学
J Cardiology Cases, 5: e39-e43, 2012.	Acute pulmonary embolism induced by renal obstruction with benign prostatic hyperplasia.	Umemura M	循環器・腎臓内科学
J Electrocardiol, 45: 285-287, 2012.	Acute myocardial infarction with isolated conus branch Occlusion.	Umemura M	循環器・腎臓内科学
Current Enzyme Inhibition, 8: 170-182, 2012.	Recent advance in isoform-specific regulation of adenylyl cyclase.	Wei-Kang D	循環器・腎臓内科学
Circ J,76:2673-2680, 2012.	Influence of omeprazole an famotidine on the antiplatelet effects of clopidogrel in addition to aspirin in patients with acute coronary syndromes: a prospective, randomized, multicenter study.	Yano H	循環器・腎臓内科学
Circ J, 76:1442-51, 2012.	Effects of valsartan, an angiotensin II receptor blocker, on coronary atherosclerosis in patients with acute myocardial infarction who receive an angiotensin-converting enzyme inhibitor.	Yano H	循環器・腎臓内科学
Hypertension, 59:627-633, 2012.	Agonist-independent constitutive activity of angiotensin II receptor promotes cardiac remodeling in mice.	Yasuda N	循環器・腎臓内科学
Kidney Blood Press Res. 36:131-138, 2012.	Effects of Carvedilol as Third-Line Add-On Therapy on Blood Pressure and Glucose Metabolism in Type 2 Diabetic Patients with Chronic Renal Disease Stage 3 and Above.	Yasuda G	循環器・腎臓内科学

(小計 9件)

Clin Exp Nephrol. 16:903-920, 2012.	Committee for the Standardization of Renal Pathological Diagnosis and for Renal Biopsy and Disease Registry of the Japanese Society of Nephrology, and the Progressive Renal Disease Research of the Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan. Renal disease in the elderly and the very elderly Japanese: analysis of the Japan	Yokoyama H	循環器・腎臓内科学
血圧, 19(7):647-651, 2012.	維持透析患者に対して術中血液濾過透析を施行した腹腔鏡下褐色細胞腫摘出術の1例.	大竹慎二	循環器・腎臓内科学
医薬ジャーナル, 48: 729-732, 2012.	末期腎不全患者の心不全症状に対してトルバプタンの併用を行い血液透析離脱が可能であった1例.	勝又真理	循環器・腎臓内科学
藤沢市内科医学会雑誌, 24:24-26, 2012.	左大量血胸で発症した心筋梗塞後心破裂の1例.	菊地進之介	循環器・腎臓内科学
日本心臓病学会誌, 7: 108-117, 2012.	突然発症の心窩部痛で来院した孤立性上腸間膜動脈解離の1例.	郷原正臣	循環器・腎臓内科学
心臓, 44:813-819, 2012.	レース中に突然心停止となり、高度冠動脈病変と冠攣縮の関与が疑われた市民ランナーの1例.	古賀将史	循環器・腎臓内科学
腎炎症例研究28:1-11, 2012.	ANCA陰性のpauci-immune型半月体形成性腎炎の1例.	千葉恭司	循環器・腎臓内科学
Ther Res, 33:1003- 1007, 2012.	重症大動脈弁狭窄症に合併したたこつぼ型心筋症の1例.	常松尚志	循環器・腎臓内科学
心臓, 44:443-447, 2012.	心室中隔穿孔を合併した急性下壁心筋梗塞の1例.	中村文昭	循環器・腎臓内科学

(小計 9件)

腎炎症例研究28:91-107, 2012.	PR3-ANCA陽性でMPGN様の組織を呈した紫斑病性腎炎の1例.	原 美朋	循環器・腎臓内科学
皮膚科の臨床, 54:181-185, 2012.	血漿交換療法が奏功した慢性C型肝炎に生じたクログロブリン血症性血管炎の1例.	藤村奈緒	循環器・腎臓内科学
Nihon NaikaGakkai Zasshi.2013,10;102(2):399-420	Discussion meeting on atherosclerosis:progress in diagnosis and treatment.	Umemura S	循環器・腎臓内科学
Hypertens Res.2013,36(3):262-9	The angiotensin II type 1 receptor blocker olmesartan preferentially improves nocturnal hypertension and proteinuria in chronic kidney disease.]	Yanagi M	循環器・腎臓内科学
Hypertens Res.2013,36(2):107-8	What can we expect from the binding characteristics of azilsartan, a newly available angiotensin II blocker, in hypertension?	Tamura K	循環器・腎臓内科学
Curr Opin Nephrol Hypertens.2013,22(2):177-84	ATP2B1 and blood pressure:from associations to pathophysiology.	Hirawa N	循環器・腎臓内科学
Hepatogastroenterol, 59 (114): 641-645, 2012.	Influence of Helicobacter pylori eradication on the management of type 2 diabetes.	Akanuma M	消化器内科学
Int J Antimicrob Agents, 39 (4): 352-355, 2012.	Sitafloxacinresistance in Helicobacter pylori isolates and sitafloxacin-based triple therapy as a third-line regimen in Japan.	Hirata Y	消化器内科学
Infect Immun, 80 (11): 3795-3803, 2012.	Role of interleukin-32 in Helicobacter pylori-induced gastric inflammation.	Sakitani K	消化器内科学

(小計 9件)

Cancer Sci, 103 (12): 2181-2185, 2012.	Apoptosis signal-regulating kinase-1 inhibitor as a potent therapeutic drug for the treatment of gastric cancer.	Hayakawa Y	消化器内科学
Proc Natl Acad Sci U S A, 109 (50): 20584-20589, 2012.	CDX1 confers intestinal phenotype on gastric epithelial cells via induction of stemness-associated reprogramming factors SALL4 and KLF5.	Fujii Y	消化器内科学
Int J Oncol, 40 (4): 1011-1019, 2012.	Role of endothelin receptor signaling in squamous cell carcinoma.	Ishimoto S	消化器内科学
World J Gastroenterol, 18 (26): 3415-3419, 2012.	Effect of sumatriptan on gastric emptying: A crossover study using BreathID system.	Sakamoto Y	消化器内科学
Digestion, 85 (4): 261-265, 2012.	Risk factors for colonic diverticular hemorrhage: Japanese multicenter study.	Suzuki K	消化器内科学
Hepatogastroenterol, 59 (119): 2335-2338, 2012.	Assessment of gastric emptying function after gastrectomy using a real-time ¹³ C breath test.	Homma Y	消化器内科学
Oncol Rep, 27 (5): 1475-1480, 2012.	Natural history of human aberrant crypt foci and correlation with risk factors for colorectal cancer.	Ohkubo H	消化器内科学
J Hum Genet, 57 (5): 305-310, 2012.	Association between type 2 diabetes genetic susceptibility loci and visceral and subcutaneous fat area as determined by computed tomography.	Hotta K	消化器内科学
Sci Rep, 2: 332, 2012.	Infection of specific strains of Streptococcus mutans, oral bacteria, confers a risk of ulcerative colitis.	Kojima A	消化器内科学

(小計 9件)

Pancreatology, 12 (2): 141-145, 2012.	Endoscopic ultrasonographic findings predict the risk of carcinoma in branch duct intraductal papillary mucinous neoplasms of the pancreas.	Kobayashi N	消化器内科学
World J Gastroenterol, 18 (16): 1933-1939, 2012.	Is hepatic arterial infusion chemotherapy effective treatment for advanced hepatocellular carcinoma resistant to transarterial chemoembolization?	Kirikoshi H	消化器内科学
Int J Oncol, 41 (1): 67-75, 2012.	Differential expression of aquaporin 5 and aquaporin 3 in squamous cell carcinoma and adenoid cystic carcinoma.	Ishimoto S	消化器内科学
World J Gastroenterol, 18 (26): 3477-3478, 2012.	Endoscopic diagnosis of Barrett's esophagus.	Akiyama T	消化器内科学
Colorectal Disease, 14 (10): e740-746, 2012.	Clinical associations and risk factors for bleeding from colonic angiectasia: a case-controlled study.	Sekino Y	消化器内科学
Cell Metab, 16 (1): 44-54, 2012.	Hyperresponsivity to low-dose endotoxin during progression to nonalcoholic steatohepatitis is regulated by leptin-mediated signaling.	Imajo K	消化器内科学
J Neurogastroenterol Motil, 24 (12): 1083-e564, 2012.	Influence of sumatriptan on gastric accommodation and on antral contraction in healthy subjects assessed by ultrasonography.	Sekino Y	消化器内科学
Pathol Int, 62 (8): 554-558, 2012.	An adult case of midgut volvulus in familial visceralmyopathy.	Nakajima T	消化器内科学
World J Gastroenterol, 18 (26): 3415-3419, 2012.	Effect of sumatriptan on gastric emptying: A crossover study using the BreathID system.	Sakamoto Y	消化器内科学

(小計 9件)

Hepatol Res, 42 (8): 757-766, 2012.	Plasma free choline is a novel non-invasive biomarker for early-stage non-alcoholic steatohepatitis: A multi-center validation study.	Imajo K	消化器内科学
Dig Endosc, 24 (5): 380, 2012.	Primary leiomyoma of the pancreas diagnosed by endoscopic ultrasound-guided fine-needle aspiration.	Sato T	消化器内科学
Dig Endosc, 24 (5):353-357, 2012.	Number of aberrant crypt foci in the rectum is a useful surrogate marker of colorectal adenoma recurrence.	Uchiyama T	消化器内科学
Diabetologia, 55 (12): 3382-3391, 2012.	Protection from non-alcoholic steatohepatitis and liver tumourigenesis in high fat-fed insulin receptor substrate-1-knockout mice despite insulin resistance.	Nakamura A	消化器内科学
World J Gastroenterol, 18 (33): 4557-4562, 2012.	Characteristics of intestinal pseudo-obstruction in patients with mitochondrial diseases.	Sekino Y	消化器内科学
BMC Cancer, 12 (1): 413, 2012.	Eicosapentaenoic acid (EPA) efficacy for colorectal aberrant crypt foci (ACF): a double-blind randomized controlled trial.	Higurashi T	消化器内科学
Dig Liver Dis, 44 (10): 833-838, 2012.	Differences in the severity of small bowel mucosal injury based on the type of aspirin as evaluated by capsule endoscopy.	Endo H	消化器内科学
Biochem Biophys Res Commun, 429 (3-4): 197-203, 2012.	Role of leukotriene B4 receptor signaling in human preadipocyte differentiation.	Hirata K	消化器内科学
World J Gastroenterol, 18 (38): 5360-5368, 2012.	Increased tumor necrosis factor receptor 1 expression in human colorectal adenomas.	Hosono K	消化器内科学

(小計 9件)

J Cancer Ther, 3 (6): 874-879, 2012.	IL-6 plays crucial roles in sporadic colorectal cancer through the cytokine networks including CXCL7 PP.	Uchiyama T	消化器内科学
World J Gastrointest Endosc, 4 (12): 561-564, 2012.	Relationship of human rectal aberrant crypt foci and formation of colorectal polyp: One-year following up after polypectomy.	Takahashi H	消化器内科学
BMC Gastroenterol, 12: 83, 2012.	Capsule endoscopy with flexible spectral imaging color enhancement reduces the bile pigment effect and improves the detectability of small bowel lesions.	Sakai E	消化器内科学
Intern Med, 51 (11): 1301-1307, 2012.	Imaging findings of pancreatic cystic lesions in von Hippel-Lindau disease.	Kobayashi N	消化器内科学
PPAR Res, 940384, 2012.	Peroxisome proliferator-activated receptor gamma exacerbates concanavalin A-induced liver injury via suppressing the translocation of NF- κ B into the nucleus.	Ogawa Y	消化器内科学
Hepatogastroenterol, 59 (114): 641-645, 2012.	Influence of Helicobacter pylori eradication on the management of type 2 diabetes.	Akanuma M	消化器内科学
Int J Antimicrob Agents, 39 (4): 352-355, 2012.	Sitafloxacin resistance in Helicobacter pylori isolates and sitafloxacin-based triple therapy as a third-line regimen in Japan.	Hirata Y	消化器内科学
Infect Immun, 80 (11): 3795-3803, 2012.	Role of interleukin-32 in Helicobacter pylori-induced gastric inflammation.	Sakitani K	消化器内科学
Cancer Sci, 103 (12): 2181-2185, 2012.	Apoptosis signal-regulating kinase-1 inhibitor as a potent therapeutic drug for the treatment of gastric cancer.	Hayakawa Y	消化器内科学

(小計 9件)

Proc Natl Acad Sci U S A, 109 (50): 20584-20589, 2012.	CDX1 confers intestinal phenotype on gastric epithelial cells via induction of stemness-associated reprogramming factors SALL4 and KLF5.	Fujii Y	消化器内科学
Dig Endosc, 24 (Suppl 1): 143-147, 2012.	Determining early gastric cancer lesions appropriate for endoscopic submucosal dissection trainees: a proposal related to curability.	Hirasawa K	消化器内科学
BMC Gastroenterol, 12: 2, 2012.	Japan Study Group of Nonalcoholic Fatty Liver Disease (JSG-NAFLD): Validation of the FIB4 index in a Japanese nonalcoholic fatty liver disease population.	Sumida Y	消化器内科学
Hepatogastroenterol, 59 (117): 1522-1525, 2012.	Non-alcoholic fatty liver disease adversely affects the glycemic control afforded by sitagliptin.	Iwasaki T	消化器内科学
Hepatology, 57(1):162-170,2013.	MicroRNA-140 acts as a liver tumor suppressor by controlling NF- κ B activity by directly targeting DNA methyltransferase 1 (Dnmt1) expression.	Takata A	消化器内科学
Liver Int,33(1):118-126,2013.	Involvement of the apelin receptor APJ in Fas-induced liverinjury.	Yasuzaki H	消化器内科学
Eur J Radiol, 82(3):497-503,2013.	Radiofrequency ablation combined with transarterial chemoembolization for subcapsular hepatocellular carcinoma: A prospective cohort study.	Morimoto M	消化器内科学
Cancer Sci,104(3):337-344,2013.	Therapeutic effect of c-Jun N-terminal kinase inhibition on pancreatic cancer.	Takahashi R	消化器内科学
JNeurogastroenterol Motil, 19(1):54-60,2013.	Comparative Study of 2 Different Questionnaires in Japanese Patients: The Quality of Life and Utility Evaluation Survey Technology Questionnaire (QUEST) Versus the Frequency Scale for the Symptoms of Gastroesophageal Reflux Disease Questionnaire (FSSG).	Noraka T	消化器内科学

(小計 9件)

Pancreatology,13(2):161-169,2013. Mar-Apr	A novel scoring system for arterial invasion of pancreatic body and tail cancer based on multidetector row computed tomography and biomarkers.	Watanabe S	消化器内科学
ResCommun, 8;432(2):326-332,2013.	Unfolded protein response pathways regulate Hepatitis C virus replication via modulation of autophagy. Biochem Biophys	Shinohara Y	消化器内科学
J Hepatobiliary Pancreat Sci, 20(3):382-388,2013.	Needle-knife precut papillotomy with a small incision over a pancreatic stent improves the success rate and reduces the complication rate in difficult biliary cannulations.	Kubota K	消化器内科学
Acta Diabetol., 49(3): 225-230, 2012.	Migliitol administered before breakfast increased plasma active glucagon-like peptide-1 (GLP-1) levels after lunch in patients with type 2 diabetes treated with sitagliptin.	Aoki K	内分泌・糖尿病内科学
J. Diabetes Invest., 3: 396-401, 2012.	Present status of insulin therapy for type 2 diabetes treated by general practitioners and diabetes specialists in Japan: Third report of a cross-sectional survey of 15652 patients.	Arai K	内分泌・糖尿病内科学
Hepatogastroenterology. 59(117): 1522-5, 2012.	Nonalcoholic fatty liver disease adversely affects the glycemic control afforded by sitagliptin.	Iwasaki T	内分泌・糖尿病内科学
J. Diabetes Invest., 3(3): 252-258, 2012.	Cross-sectional survey of diabetic neuropathy in Kanagawa and clinical significance of a touch test using tissue paper.	Jin Y	内分泌・糖尿病内科学
J Diabetes Invest, 3: 503-509, 2012.	Efficacy and safety of sitagliptin monotherapy and combination therapy in Japanese type 2 diabetes patients.	Kubota A	内分泌・糖尿病内科学
J Clin Med Res. 4(5): 309-13, 2012.	Pleiotropic effects of sitagliptin in the treatment of type 2 diabetes mellitus patients.	Kubota A	内分泌・糖尿病内科学

(小計 9件)

Endocr J., 59(5):435-438, 2012.	Comparison of plasma active glucagon-like peptide-1 (GLP-1) levels assayed with or without plasma extraction in non-diabetic men.	Masuda K	内分泌・糖尿病内科学
Diabetologia. 55: 1745-1754, 2012.	Control of beta cell function and proliferation in mice stimulated by small molecule glucokinase activator under various conditions.	Nakamura A	内分泌・糖尿病内科学
Diabetologia. 55: 3382-3391, 2012.	Protection from non-alcoholic steatohepatitis and liver tumourigenesis in high fat-fed insulin receptor substrate-1-knockout mice despite insulin resistance.	Nakamura A	内分泌・糖尿病内科学
Endocrinology, 153: 1093-102, 2012.	Impact of the dipeptidyl peptidase-4 inhibitor vildagliptin on glucose tolerance, beta cell function and mass in insulin receptor substrate-2-knockout mice fed a high-fat diet.	Sato K	内分泌・糖尿病内科学
J Atheroscler Thromb., 19(9): 846-53, 2012.	Efficacy of ezetimibe is associated with gender and baseline lipid levels in patients with type 2 diabetes.	Shigematsu E	内分泌・糖尿病内科学
Diabetes Res Clin Pract, 97: e7-e10, 2012.	Plasminogen activator inhibitor-1 is associated with renal dysfunction independent of BMI and serum lipid levels in patients with type 2 diabetes.	Shirakawa J	内分泌・糖尿病内科学
Endocrinology, 153:3066-75, 2012.	Effects of liraglutide on β cell-specific glucokinase-deficient neonatal mice.	Shirakawa J	内分泌・糖尿病内科学
Eur J Pub Health, 22(3): 310-7, 2012.	Income, wealth and risk of diabetes among older adults: cohort study using the English Longitudinal Study of Aging.	Tanaka T	内分泌・糖尿病内科学
糖尿病合併症 26: 175-178, 2012.	肥満・糖尿病におけるNASH・肝腫瘍進展の分子機構.	中村昭伸	内分泌・糖尿病内科学

(小計 9件)

Clin Neurol Neurosurg, 114(7) : 876-880, 2012.	Cilostazol versus aspirin therapy in patients with chronic dizziness after ischemic stroke.	Johkura K	神経内科学・脳卒中医学
Am J Neuroradiol, 33 (5) : 904-909, 2012.	Early Diffusion MR Imaging findings and short-term outcome in comatose patients with hypoglycemia.	Johkura K	神経内科学・脳卒中医学
J Neurol Sci, 15 : 308 (1-2) : 165-167, 2012.	Wrong-way deviation: contralateral conjugate eye deviation in acute supratentorial stroke	Johkura K	神経内科学・脳卒中医学
Eur Neurol, 67 (6) : 385, 2012.	Acute autonomic, sensory and motor neuropathy with oral hypoesthesia leading to split tongue.	Nakae Y	神経内科学・脳卒中医学
Clin EEG and Neurosci, 43(4) : 303-311, 2012.	Modulation of human visual evoked potentials in three-dimensional perception after stimuli produced with an integral imaging method.	Omoto S	神経内科学・脳卒中医学
Int J Lang Commun Disord, 47 (1) : 84-94, 2012.	Acoustic characteristics of ataxic speech in Japanese patients with spinocerebellar degeneration (SCD).	Ikui Y	神経内科学・脳卒中医学
PLoS One, 7 (9): e46185, 2012.	c-Abl inhibition delays motor neuron degeneration in the G93A mouse, an animal model of amyotrophic lateral sclerosis.	Katsumata R	神経内科学・脳卒中医学
Nature Med, 18 (10): 1531-1538, 2012.	Naratriptan mitigates CGRP1-associated motor neuron degeneration caused by an expanded polyglutamine repeat tract.	Minamiyama M	神経内科学・脳卒中医学
Muscle Nerve, 46 (5): 692-697, 2012.	Cross-sectional and longitudinal analysis of an oxidative stress biomarker for spinal and bulbar muscular atrophy.	Mano T	神経内科学・脳卒中医学 (小計 9件)

Brain, 135(Pt 9): 2838-2848, 2012.	Longitudinal changes of outcome measures in spinal and bulbar muscular atrophy.	Hashizume A	神経内科学・脳卒中医学
Nature Med, 18 (7): 1136-1141, 2012.	Viral delivery of miR-196a ameliorates the SBMA phenotype via the silencing of CELF2.	Miyazaki Y	神経内科学・脳卒中医学
J Neurol Sci, 319 (1-2): 139-146, 2012.	Differential, size-dependent sensory neuron involvement in the painful and ataxic forms of primary Sjögren's syndrome-associated neuropathy.	Kawagashira Y	神経内科学・脳卒中医学
J Neurol Sci, 319 (1-2): 105- 110, 2012.	MRI mean diffusivity detects widespread brain degeneration in multiple sclerosis.	Senda J	神経内科学・脳卒中医学
Muscle Nerve, 45 (2): 169-174, 2012.	Discrimination of spinal and bulbar muscular atrophy from amyotrophic lateral sclerosis using sensory nerve action potentials.	Hama T	神経内科学・脳卒中医学
Neurobiol Dis, 45 (3): 862-870, 2012.	Oxidative stress induced by glutathione depletion reproduces pathological modifications of TDP-43 linked to TDP-43 proteinopathies.	Iguchi Y	神経内科学・脳卒中医学
J Neurol, 259 (4):712- 719, 2012.	Difference in chronological changes of outcome measures between untreated and placebo-treated patients of spinal and bulbar muscular atrophy.	Hashizume A	神経内科学・脳卒中医学
Amyotroph Lateral Scler, 13 (4) : 363-366, 2012.	Reduction rate of body mass index predicts prognosis for survival in amyotrophic lateral sclerosis: A multicenter study in Japan.	Shimizu T	神経内科学・脳卒中医学
J Neurol 259: 2067- 2075, 2012.	The spectrum of clinicopathological features in pure autonomic neuropathy.	Koike H	神経内科学・脳卒中医学

(小計 9件)

World J Gastroenterol, 18 (33) : 4557-4562, 2012.	Characteristics of intestinal pseudo-obstruction in patients with mitochondrial diseases.	Sekino Y	神経内科学・脳卒中医学
Hum Genet, 131 (4) : 591-599, 2012.	detection of gene mutations responsible for non-syndromic aortic aneurysm and dissection using two different methods: resequencing microarray technology and next-generation sequencing.	Sakai H	神経内科学・脳卒中医学
Am J Hum Genet, 90 (1) : 86-90, 2012.	De Novo and Inherited Mutations in COL4A2, Encoding the Type IV Collagen α 2 Chain Cause Porencephaly.	Yoneda Y	神経内科学・脳卒中医学
Journal of Human Genetics, 57 (3) : 207-211, 2012.	Missense mutations in the DNA-binding/dimerization domain of NFIX cause Sotos-like features.	Yoneda Y	神経内科学・脳卒中医学
American Journal of Medical Genetics A, 158A (1): 199-205, 2012.	Early infantile epileptic encephalopathy associated with the disrupted gene encoding Slit-Robo Rho GTPase activating protein 2 (SRGAP2).	Saitsu H	神経内科学・脳卒中医学
Clin Genet , 81 (4) : 399-402, 2012.	Association of genomic deletions in the STXBPI gene with Ohtahara syndrome.	Saitsu H	神経内科学・脳卒中医学
Epilepsia, 53 (8) : 1441-1449, 2012.	CASK aberrations in male patients with Ohtahara syndrome and cerebellar hypoplasia.	Saitsu H	神経内科学・脳卒中医学
Ann Neurol, 72 (2) : 298-300, 2012.	Whole exome sequencing identifies KCNQ2 mutations in Ohtahara syndrome.	Saitsu H	神経内科学・脳卒中医学
J Hum Genet , 57 (3) :197-201, 2012.	A family of oculofaciocardiodental syndrome (OFCD) with a novel BCOR mutation and genomic rearrangements involving NHS.	Kondo Y	神経内科学・脳卒中医学

(小計 9件)

Intern Med, 51 (16) : 2221-2226, 2012.	A novel SACS mutation in an atypical case with autosomal recessive spastic ataxia of Charlevoix-Saguenay (ARSACS).	Miyatake S	神経内科学・脳卒中医学
J Hum Genet, 57 (12) : 804-806, 2012.	Sibling cases of moyamoya disease having homozygous and heterozygous c.14576G>A variant in RNF213 showed varying clinical course and severity.	Miyatake S	神経内科学・脳卒中医学
Nature Genet , 44 (4) : 376- 378, 2012.	Mutations affecting components of the SWI/SNF complex cause Coffin-Siris syndrome.	Tsurusaki Y	神経内科学・脳卒中医学
Clin Genet, 83 (2) : 135-144, 2012.	Exome sequencing in a family with an X-linked lethal malformation syndrome: clinical consequences of hemizygous truncating OFD1 mutations in male patients.	Tsurusaki Y	神経内科学・脳卒中医学
Neurogenetics, 13 (4) : 327-332, 2012.	A DYNC1H1 mutation causes a dominant spinal muscular atrophy with lower extremity predominance.	Tsurusaki Y	神経内科学・脳卒中医学
J Immunol, 189 (10): 5057-5065, 2012.	CCR2+CCR5+ T cells producing matrix metalloproteinase-9 and osteopontin in the pathogenesis of multiple sclerosis.	Sato W	神経内科学・脳卒中医学
臨床神経学, 52:681- 684, 2012.	左大脳半球に多発する嚢胞状病変をみとめ、観念運動性失行、不全型Gerstmann症候群を呈した68歳男性例。	宮地洋輔	神経内科学・脳卒中医学
神経治療学, 29(6):749- 751, 2012.	抗Parkinson病薬の急速な減量に伴い離脱症候群を呈し、抑肝散が奏効したParkinson病の1例。	宮地洋輔	神経内科学・脳卒中医学
神経内科, 76(1):104-106, 2012	眼で見る神経内科 MRI拡散強調画像が有用であった脊髄硬膜外膿瘍の診断、経過観察。	宮地洋輔	神経内科学・脳卒中医学 (小計 9件)

PLoS One28;8(6):e66966, 2013	RNP2 of RNA recognition motif 1 plays a central role in the aberrant modification of TDP-43.	Takagi S	神経内科学・脳卒中医学
PLoS One25;8(6):e66969, 2013	Ablation of Keratan Sulfate Accelerates Early Phase Pathogenesis of ALS.	Hirano K	神経内科学・脳卒中医学
Brain Nerve65(3):257- 65, 2013	ALSのパーソナルゲノム解析	田中 章景	神経内科学・脳卒中医学
Brain136(Pt 5):1371-82, 2013	Loss of TDP-43 causes age-dependent progressive motor neuron degeneration.	Iguchi Y	神経内科学・脳卒中医学
PLoS One8(2):e54511, 2013	dnc-1/dynactin 1 knockdown disrupts transport of autophagosomes and induces motor neuron degeneration.	Ikenaka K	神経内科学・脳卒中医学
Intern Med52(3):333-7, 2013	Demographic features of Japanese patients with sporadic inclusion body myositis: a single-center referral experience.	Demographic features of Japanese patients with sporadic inclusion body myositis: a single-center referral	神経内科学・脳卒中医学
Nat Commun4:1405, 2013	Heat shock factor-1 influences pathological lesion distribution of polyglutamine-induced neurodegeneration.	Kondo N	神経内科学・脳卒中医学
EMBO Mol Med5(2):221-34, 2013	EMBO Mol Med5(2):221-34, 2013	Tsujii H	神経内科学・脳卒中医学
BMC Psychiatry. 2012 Nov 14;12:199.	Dose-dependent effect of antipsychotic drugs on autonomic nervous system activity in schizophrenia.	Iwamoto Y	精神医学

(小計 9件)

Brain Stimul. 2012 Sep 3	Localized potentiation of sleep slow-wave activity induced by prefrontal repetitive transcranial magnetic stimulation in patients with a major depressive episode.	Saeki T	精神医学
Acta Neuropathol. 2012 Sep;124(3):383-94.	Localization of fused in sarcoma (FUS) protein to the post-synaptic density in the brain.	Aoki N	精神医学
Neuropathology. 2012 Jun;32(2):272-9.	Progressive nonfluent aphasia: a rare clinical subtype of FTLN-TDP in Japan.	Aoki N	精神医学
Neurosci Lett. 2013 Feb 8;534:217-22.	Anti-glutamate receptor $\epsilon 2$ antibodies in psychiatric patients with anti-thyroid autoantibodies--a prevalence study in Japan.	Chiba Y	精神医学
Dement Geriatr Cogn Disord. 2012;33(4):273-81	Retrospective survey of prodromal symptoms in dementia with Lewy bodies: comparison with Alzheimer's disease.	Chiba Y	精神医学
Int J Environ Res Public Health. 2012 Mar;9(7):712-21.	Effects of educating local government officers and healthcare and welfare professionals in suicide prevention.	Kaniwa I	精神医学
Psychiatry Clin Neurosci. 2012 Oct;66(6):529-32.	Trait impulsivity in suicide attempters: preliminary study.	Doihara C	精神医学
Psychogeriatrics 2012 12:131-132	Cautious notification and continual monitoring of patients with mild cognitive impairment.	Odawara T	精神医学
Psychiatry Clin Neurosci. 2012 Apr;66(1):187-94.	Relationships between exploratory eye movement dysfunction and clinical symptoms in schizophrenia.	Suzuki M	精神医学

(小計 9件)

Molecular Psychiatry ,1-8,2012.	Genome-wide association study identifies a potent locus associated with human opioid sensitivity .	Nishizawa D	精神医学
Schizophr Res. 2012; 141(35-9.	Reduced fractional anisotropy and axial diffusivity in white matter in 22q11.2 deletion syndrome: a pilot study.	Kikinis Z	精神医学
Schizophr Res. 2013;143(2--:231-8.	Extensive white matter abnormalities in patients with first-episode schizophrenia: A diffusion tensor imaging (DTI) study.	Lee SH	精神医学
Ann Neurol 72:41~52,2012	Donepezil for dementia with Lewy bodies: a randomized, placebo-controlled trial.	Mori E	精神医学
Psychogeriatrics 12(4):235~241,2012	Improvement in delusion and hallucinations in patients with dementia with Lewy bodies upon administration of yokukansan, a traditional Japanese medicine.	Iwasaki K	精神医学
精神科臨床サービス 12(1), 141-144, 2012	精神科臨床サービスでEBPプログラム・EBPツールキットを活用する 第4回IMRプログラムでEBPツールキットを活用する。	加藤大慈	精神医学
日本臨床増刊号70 2012, suppl6, 612-615	医薬品副作用学(第2版) III副作用各論-重大な副作用- 精神 悪性症候群.	岸田郁子	精神医学
精神神経学雑誌(0033-2658)2012特別 PageS-473(2012.05)	復職支援デイケア通所中の気分障害患者における自律神経活動動態調査.	岸田 郁子	精神医学
てんかん研究(0912-0890)30巻2号 Page458(2012.09)	Levetiracetam投与中に精神・行動面での変調をきたした3症例.	佐倉 義久	精神医学

(小計 9件)

精神神経学雑誌(0033-2658)2012特別 PageS-308(2012.05)	心拍変動パワースペクトル解析を用いた、抗精神病薬が統合失調症患者の自律神経活動に及ぼす影響の検討 オランザピンとリスペリドンの比較.	岩本 洋子	精神医学
精神神経学雑誌(0033-2658)2012特別 PageS-315(2012.05)	長期のエンドキサンパルス療法により、精神症状、認知機能障害の改善を認めた、neuropsychiatric lupus erythematosusの1例.	千葉 悠平	精神医学
脳21(1344-0128)15巻2号 Page183-189(2012.04)	リバスチグミン貼付剤を中心にしたアルツハイマー病薬物療法の実際 リバスチグミンの臨床効果.	千葉悠平	精神医学
精神科治療学(0912-1862)27巻増刊 Page239-243(2012.10)	【気分障害の治療ガイドライン新訂版】(第6章)身体疾患と抑うつ 甲状腺機能障害.	千葉悠平	精神医学
神奈川医学会雑誌(0285-0680)39巻2号 Page296(2012.07)	横浜市大センター病院における10歳以下発症の摂食障害患者の臨床的検討.	廣内 千晶	精神医学
神奈川医学会雑誌(0285-0680)39巻2号 Page295(2012.07)	左側頭葉に腫瘍様病変を認めたレビー小体型認知症の1例.	河上 緒	精神医学
Dementia Japan(1342-646X)26巻4号 Page472(2012.10)	老年期発症の幻覚妄想を認め、辺縁系に高度タウ病変を呈した3剖検例.	河上 緒	精神医学
老年精神医学雑誌(0915-6305)23巻9号 Page1121-1127(2012.09)	32歳で発症した舞踏病様不随意運動を伴う前頭側頭型認知症の一例.	河上 緒	精神医学
精神科(1347-4790)21巻2号 Page241-247(2012.08)	左優位の機能障害が目立ったFTLDの1症例.	西尾 友子	精神医学

(小計 9件)

神奈川医学会雑誌 (0285-0680)39巻2号 Page301-302(2012.07)	緊張病症状候群を呈したレビー小体型認知症の一例.	山本 恭平	精神医学
日本救急医学会雑誌 (0915-924X)23巻10号 Page599(2012.10)	当センターにおける、自殺関連症例、精神科医の介入を要した症例の最近の動向と今後の展望.	岡村 泰	精神医学
神奈川医学会雑誌 (0285-0680)39巻2号 Page306-307(2012.07)	水頭症術後にBPSDが改善した若年性レビー小体型認知症の1例.	岡村 泰	精神医学
Dementia Japan(1342-646X)26巻4号 Page468(2012.10)	措置入院となった認知症高齢者4例.	岡村 泰	精神医学
老年精神医学雑誌 (0915-6305)23巻増刊II Page222(2012.06)	水頭症術後にBPSDが改善した若年性レビー小体型認知症の1例.	岡村 泰	精神医学
神奈川医学会雑誌 (0285-0680)39巻2号 Page305(2012.07)	低マグネシウム血症から心肺停止状態となったアルコール依存症の一例.	金澤 さやか	精神医学
神奈川医学会雑誌 (0285-0680)39巻2号 Page305(2012.07)	炭酸リチウム過量内服後に血液透析を施行した1例.	石橋 由梨	精神医学
神奈川医学会雑誌 (0285-0680)39巻2号 Page302(2012.07)	抗精神病薬投与後に運動機能障害の出現・急速な悪化を認めたレビー小体型認知症の一例.	内村 放	精神医学
精神神経学雑誌(0033-2658)2012特別 PageS-453(2012.05)	急性期症状が明らかでない間歇型一酸化炭素中毒の1例.	伊倉 崇浩	精神医学

(小計 9件)

精神科治療学(0912-18627巻8号 Page1085-1091(2012.08))	急性期症状が明らかでなかった間歇型一酸化炭素中毒の1例.	伊倉 崇浩	精神医学
神奈川医学会雑誌(0285-0680)39巻2号 Page301(2012.07)	急性期症状が軽度であった間歇型一酸化炭素中毒の1例.	伊倉 崇浩	精神医学
看護管理22(5)、406-409、2012	院内自殺事故の事後対応.	河西千秋	精神医学
精神神経学雑誌(0033-2658)2012特別 PageS-430(2012.05)	初期研修医を対象としたうつ病診療教育からみた精神医学教育の課題.	河西千秋	精神医学
日本アルコール・薬物医学会誌,47;(6),317-330,2012.	Benzodiazepines使用障害の臨床的特徴とその発症の契機となった精神科治療の特徴に関する研究.	松本俊彦	精神医学
精神医学(0488-12855巻1号 Page21-28(2013.0	統合失調症における疾病管理とリカバリー(Illness Management and Recovery;IMR)の有効性.	藤田 英美	精神医学
神奈川医学会雑誌(0285-0680)39巻2号 Page308-309(2012.07)	学生参加型のメンタルヘルス支援のためのウェブサイト、「いろんなこころ」の開発.	田中 舞	精神医学
神奈川医学会雑誌(0285-0680)39巻2号 Page308(2012.07)	医学部学生における精神障害者に対する態度.	小林 紗季	精神医学
神奈川医学会雑誌(0285-0680)39巻2号 Page307-308(2012.07)	うつ病復職支援デイケアの利用者属性とプログラムの効果.	尾久 守侑	精神医学

(小計 9件)

神奈川医学会雑誌 (0285-0680)39巻2号 Page303-304(2012.07)	初期研修医を対象としたうつ病診療・自殺念慮対応 研修の概要と実施報告.	秋山 恵子	精神医学
神奈川医学会雑誌 (0285-0680)39巻2号 Page297-298(2012.07)	陰性症状とロールシャッハ変数との関連 包括システ ムからの検討.	松本 充彦	精神医学
神奈川医学会雑誌 (0285-0680)39巻2号 Page295(2012.07)	脳深部電気刺激療法後の経過中に嫉妬妄想が出現 したパーキンソン病の一例.	鈴木 俊彦	精神医学
精神神経学雑誌(0033- 2658)115巻1号 Page3- 9(2013.0)	精神医学のフロンティア-統合失調症における探索 眼球運動異常と症状の関係.	高橋 栄	精神医学
老年精神医学雑誌 (0915-6305)23巻4号 Page457-465(2012.04)	レビー小体型認知症の臨床症状出現に関連する心 理社会的要因の検討 アルツハイマー型認知症との 比較.	太田一実	精神医学
老年精神学雑誌 25(4):366~380.2012	専門医を対象とした認知症診療のあり方とその手法 に関する面接調査.	繁田雅弘	精神医学
Mod Rheumatol, 2012.	Guidance on the use of canakinumab in patients with cryopyrin-associated periodic syndrome in Japan.	Yokota S	小児科学
Clin Rheumatol, 2012.	"Efficacy, pharmacokinetics, and safety of adalimumab in pediatric patients with juvenile idiopathic arthritis in Japan.	Imagawa T	小児科学
Pediatr Int, 2012.	Anatomical condition mimicking superior mesenteric artery syndrome might cause duodenal involvement in Henoch-Schönlein purpura.	Harada T	小児科学

(小計 9件)

Meta-analysis. 12.	Influence of outdoor NO ₂ exposure on asthma in childhood: Meta-analysis.	Takenoue Y	小児科学
Mod Rheumatol, 2012.	Clinical analysis of 50 children with juvenile dermatomyositis.	Kishi T	小児科学
J Rheumatol, 39:864-7, 2012.	Efficacy and limitation of infliximab treatment for children with Kawasaki disease intractable to intravenous immunoglobulin therapy: report of an open-label case series.	Mori M	小児科学
Mod Rheumatol, 22:871-6, 2012.	"Safety and response to influenza vaccine in patients with systemic-onset juvenile idiopathic arthritis receiving tocilizumab."	Shinoki T	小児科学
Mod Rheumatol, 22:491-7, 2012.	Guidance on the use of adalimumab for juvenile idiopathic arthritis in Japan.	Yokota S	小児科学
Mod Rheumatol, 22:720-6, 2012.	Safety and efficacy of long-term etanercept in the treatment of methotrexate-refractory polyarticular-course juvenile idiopathic arthritis in Japan.	Mori M	小児科学
Mod Rheumatol. Aug, 22:558-64, 2012.	Definitive differences in laboratory and radiological characteristics between two subtypes of juvenile idiopathic arthritis: systemic arthritis and polyarthritis.	Ozawa R	小児科学
Mod Rheumatol. 22:109-115, 2012.	Safety and efficacy of tocilizumab, an anti-IL-6-receptor monoclonal antibody, in patients with polyarticular-course juvenile idiopathic arthritis.	Imagawa T	小児科学
J Infect Chemother. 18:59-65, 2012.	Analysis of cases of severe respiratory failure in children with influenza (H1N1) 2009 infection in Japan.	Uchimura T	小児科学

(小計 9件)

Pediatr Int. 54(1): 99-103, 2012.	Long-term efficacy of plasma exchange treatment for refractory Kawasaki disease.	Hokosaki T	小児科学
Circ J. 76(10):2456-64, 2012.	Inhibition of Phosphodiesterase Type 3 Dilates the Rat Ductus Arteriosus without Inducing Intimal Thickening.	Ichikawa Y	小児科学
Anticancer Drugs. 2012 Apr.	Methylated chrysin reduced cell proliferation, but antagonized cytotoxicity of other anticancer drugs in acute lymphoblastic leukemia.	Goto H	小児科学
Pediatr Int. 54(1): 64-67. 2012.	Immune response to Haemophilus influenzae type b conjugate vaccine in preterm infants.	Tsuda K	小児科学
日本医事新報4611号:56-57, 2012.	若年性特発性関節炎(JIA)の診断(Q&A).	横田 俊平	小児科学
小児科, 53(4):479-485, 2012.	本邦における不明熱をきたす小児熱性疾患の全国実態調査とアルゴリズム案作成の試み.	森 雅亮	小児科学
臨床リウマチ, 24(2):146-151, 2012.	TNF阻害薬が無効でIL-6阻害薬(トシズマブ)に変更し改善をみた難治性多関節型若年性特発性関節炎の2例.	木澤 敏毅	小児科学
臨床リウマチ, 24(2):139-145, 2012.	全身型若年性特発性関節炎の治療中に薬剤性肝障害を合併した1例.	木澤 敏毅	小児科学
日本臨床免疫学会誌, 35(1): 87-91, 2012.	全身型単純ヘルペスウイルスII型感染症に髄膜炎および血球食食症候群を併発した一新生児例.	新井 千恵	小児科学

(小計 9件)

日本未熟児新生児学会 雑誌. 24(2):25-28, 2012.	早産児の炎症性疾患への対応-CLDとHLHへの新 たな戦略を求めて-	高橋尚人	小児科学
Journal of Dermatology,39(11):951- 952, 2012.	Toxic epidermal necrolysis in a 4-year-old boy successfully treated with plasma exchange in combination with methylprednisolone and i.v.immunoglobulin.	Aihara Y	皮膚科学
J Dermatol,39(10):823- 8, 2012.	Phase I and pharmacokinetic study of the oral histone deacetylase inhibitor vorinostat in Japanese patients with relapsed or refractory cutaneous T-cell lymphoma.	Wada H	皮膚科学
J Dermatol,39(4):409- 12, 2012,4.	Involvement of poly (γ -glutamic acid) as an allergen in late-onset anaphylaxis due to fermented soybeans(natto).	Inomata N	皮膚科学
J Dermatol, 39(11):1079-1080, 2012.	Case of rice allergy induced by epicutaneous sensitization to rice bran due to handling rice bran pickles.	Inomata N	皮膚科学
Arch Dermatol, 148:734- 739, 2012.	Effect of a Single-Cycle Alternative Dosing Regimen for Rituximab for Recalcitrant Pemphigus.	Matsukura S	皮膚科学
Sci Transl Med. 30,4(136)136ra71, 2012.	A peptide derived from endostatin ameliorates organ fibrosis via a multi-pronged mechanism.	Yamaguchi Y	皮膚科学
Acta Derm Venereol, 92:521-528, 2012.	Decreased Expression of Semaphorin-3A, a Neurite- Collapsing Factor, is Associated With Itch in Psoriatic Skin.	Kou K	皮膚科学
Arch Dermatol Res,304(4):305-12, 2012.	Association of serum interleukin-18 and other biomarkers with disease severity in adults with atopic dermatitis.	Kou K	皮膚科学

(小計 9件)

日皮会誌, 122(9):2313-2320, 2012.	自己免疫性水疱症に対するミゾリピン内服併用療法の効果～当科12症例の使用経験.	池澤優子	皮膚科学
日皮会誌, 122:2321-2327, 2012.	インフリキシマブが有効であった乾癬性ぶどう膜炎の1例と乾癬性ぶどう膜炎の当科4症例および本邦報告例のまとめ.	渡邊裕子	皮膚科学
日皮会誌, 122:2495-2504, 2012.	過去6年間における蕁疹患者の統計的観察－横浜市立大学附属病院受診例について－.	渡邊裕子	皮膚科学
J Environ Dermatol Cutan Allergol, 6(2):85-59, 2012.	チアミンジスルフィドに対する過敏症の1例.	伊藤香世子	皮膚科学
J Environ Dermatol Cutan Allergol, 6:351-358, 2012.	アトピー性皮膚炎患者における血清TARC値, 血清総IgE値および末梢血好酸球数の変動の関係.	伊藤香世子	皮膚科学
皮膚病診療, 34(11):1111-1114, 2012.	リベド血管症.	石田修一	皮膚科学
皮膚臨床, 54:1817-1821, 2012.	ランダム皮膚生検で診断に至ったIntravascular Large B-Cell Lymphomaの1例.	岡村友紀	皮膚科学
皮膚臨床, 54:1835-1839, 2012.	鼻部に生じたメトトレキサート関連リンパ増殖性疾患の1例.	渡邊友也	皮膚科学
皮膚臨床, 54(9):1105-1109, 2012.	筋弛緩薬ロクロニウムによるアナフィラキシーショックの1例.	鈴木亜希	皮膚科学

(小計 9件)

臨皮, 66:871-874, 2012.	右大腿部に発生したatypical lipomatous tumorの1例.	鈴木亜希	皮膚科学
皮膚臨床, 54:1371-1375, 2012,.	薬剤性間質性肺炎を合併した薬剤性過敏症候群(DIHS)の1例.	鈴木亜希	皮膚科学
J Dermatol Sci, 69:173-176	Interleukin-37 is elevated in subjects with atopic dermatitis	Fujita H	皮膚科学
日皮会誌, 123:17-24	組織学的に形質細胞と好酸球浸潤を伴った皮疹を合併したIgG4関連疾患の2例	池澤優子	皮膚科学
臨皮, 67(3) :200-204	多種眼科用剤による接触皮膚炎症候群の1例	松浦みどり	皮膚科学
日小皮膚会誌, 32(2):143-147	クロモグリク酸ナトリウム内服で症状が増強されたエビアレルギーの1例	岡田里佳	皮膚科学
Cancer Sci. 2012 Sep;103(9):1701-7. doi: 10.1111/j.1349-7006.2012.02348.x. Epub 2012 Jul 4. PubMed PMID: 22632272	Macapinlac HA. Comparative study of the value of dual tracer. PET/CT in evaluating breast cancer.	Tateishi U	放射線医学
Radiology. 2012 Apr;263(1):53-63. doi: 10.1148/radiol.12111177. PubMed PMID: 22438441.	Neoadjuvant chemotherapy in breast cancer: prediction of pathologic response with PET/CT and dynamic contrast-enhanced MR imaging--prospective assessment.	Tateishi U	放射線医学
Int J Radiat Oncol Biol Phys, 82(2): 605-611, 2012.	Noninvasive and curative radiation therapy for sebaceous carcinoma of the eyelid.	Hata M	放射線医学

(小計 9件)

Oncology, 83(2): 67-74, 2012.	The role of radiation therapy for uterine cervical cancer with distant metastasis.	Hata M	放射線医学
Anticancer Res, 32(8): 3315-3320, 2012.	Definitive radiation therapy for extramammary Paget's disease.	Hata M	放射線医学
Strahlenther Onkol, 188(12): 1102-1107, 2012.	Radiation therapy for primary carcinoma of the eyelid: tumor control and visual function.	Hata M	放射線医学
Eur J Radiol. 2013 Jan;82(1):69-74. doi: 10.1016/j.ejrad.2012.05.037. Epub 2012 Oct 12. PubMed PMID: 23068562.	Role of respiratory-gated PET/CT for pancreatic tumors: A preliminary result.	Kasuya T	放射線医学
Ann Nucl Med. 2012 Aug 23. [Epub ahead of print] PubMed PMID: 22914967.	Role of (18)F-fluoride PET/CT in the assessment of multiple myeloma: initial experience.	Nishiyama Y	放射線医学
Jpn J Clin Oncol. 2012 Oct;42(10):912-8. Epub 2012 Jul 31. PubMed PMID: 22850222.	Prediction of treatment outcomes in patients with chest wall sarcoma: evaluation with PET/CT.	Nishiyama Y	放射線医学
AJNR Am J Neuroradiol. 2012 Jun 14. [Epub ahead of print] PubMed PMID: 22700754.	Application of ⁶² Cu-Diacetyl-Bis (N4-Methylthiosemicarbazone) PET Imaging to Predict Highly Malignant Tumor Grades and Hypoxia-Inducible Factor-1 α Expression in Patients with Glioma.	Tateishi K	放射線医学
2012;19(20):3301-9. Review. PubMed PMID: 22664242.	Radiolabeled RGD peptides as integrin α (v) β 3-targeted PET tracers. Curr Med Chem.	Tateishi U	放射線医学
Int J Radiat Oncol Biol Phys, 84(3): 632-638, 2012.	Treatment outcomes, growth height, and neuroendocrine functions in patients with intracranial germ cell tumors treated with chemoradiation therapy.	Odagiri K	放射線医学

(小計 9件)

J Thorac Imaging. 2012 Nov;27(6):387-92. doi: 10.1097/RTI.0b013e3182242b11. PubMed PMID: 21795993.	Automatic tracking of the respiratory motion of lung parenchyma on dynamic magnetic resonance imaging: comparison with pulmonary function tests in patients with chronic obstructive pulmonary disease.	Shibata H	放射線医学
J Thorac Imaging. 2012 Nov;27(6):387-92. doi: 10.1097/RTI.0b013e3182242b11.	Automatic tracking of the respiratory motion of lung parenchyma on dynamic magnetic resonance imaging: comparison with pulmonary function tests in patients with chronic obstructive pulmonary disease.	Shibata H	放射線医学
Pediatr Radiol. 2012 Oct;42(10):1212-7. doi: 10.1007/s00247-012-2431-1. Epub 2012 Aug 11. PMID: 22886376 [PubMed - indexed for MEDLINE]	Periventricular nodular heterotopia is related to severity of the hindbrain deformity in Chiari II malformation.	Hino-Shishikura A	放射線医学
Magn Reson Med Sci. 2012;11(1):17-26. PMID: 22450383 [PubMed - indexed for MEDLINE] Free Article	Effective performance of T(1)-weighted FLAIR Imaging with BLADE in pediatric brains.	Tachibana Y	放射線医学
Eur J Radiol. 2012 Mar 30. [Epub ahead of print]	"CT analysis of the effect of pirfenidone in patients with idiopathic pulmonary fibrosis."	Iwasawa T	放射線医学
J. Labelled Compd. Radiopharm., 55, 383-386, (2012).	Radiolabeling of aromatic compounds using K[*Cl]Cl and OXONE®.	Takada Y	放射線医学
Source:Rad Fan(1348-3498)10巻12号 Page51-54(2012.09)	【核医学実践ガイド2012】腫瘍PETの今後の展望.	立石宇貴秀	放射線医学
血液内科(2185-582X)65巻1号 Page96-101(2012.07)	【低悪性度B細胞リンパ腫の研究と診療-Update in 2012-】低悪性度B細胞リンパ腫の臨床試験と診療におけるFDG-PETの役割.	立石宇貴秀	放射線医学
内科(0022-1961)110巻2号 Page201-207(2012.08)	【リンパ腫診療の基本-最良の治療を選ぶための基礎知識】《リンパ腫診断のポイント》リンパ腫におけるPETの意義.	立石宇貴秀	放射線医学

(小計 9件)

臨床放射線(0009-9252)57巻4号 Page496-501(2012.04)	【画像誘導放射線治療の進歩】PET/CTシミュレータによる治療計画 呼吸制御の現状.	立石宇貴秀	放射線医学
血液内科(2185-582X)64巻3号 Page325-334(2012.03)	リンパ腫多施設共同試験の効果判定とFDG-PET.	立石宇貴秀	放射線医学
小児内科(0385-6305)44巻1号 Page44-48(2012.01)	【クローズアップ 小児リウマチ・膠原病】<小児リウマチ性疾患の診断へのアプローチ> PET/CTによる画像診断.	立石宇貴秀	放射線医学
像情報Medical(1346-1354)44巻1号 Page55-59(2012.01)	【画像診断のポイント～胸部領域を診る】肺がん診断におけるPET検査.	尾川松義	放射線医学
臨床放射線(0009-9252)56巻10号 Page1187-1194(2011.10)	【機能画像の放射線治療への応用】PET分子イメージングと放射線治療 新規製剤と技術への期待.	立石宇貴秀	放射線医学
日本病院総合診療医学会雑誌. 2012; 3(2):90-91	左背部痛と右中葉症候群が診断契機となった下行大動脈壁動脈硬化性潰瘍の穿通.	康 芸	放射線医学
臨床放射線 57:41-47,2012	間質性肺炎の3DCT画像定量評価システムの使用経験.	岩澤多恵	放射線医学
Hepato-Gastroenterology. 59(117): 1638-1342, 2012.	Usefulness of multidisciplinary therapy combining neoadjuvant chemotherapy with S-1 plus cisplatin and postoperative sequential chemotherapy in patients with scirrhous gastric cancer.	Oshima T	外科治療学
Dis Colon Rectum, 55(9):957-62, 2012.	Risk factors for postoperative intra-abdominal septic complications after bowel resection in patients with Crohn's disease.	Kanazawa A	外科治療学

(小計 9件)

Surg Today, 42(10):983-7, 2012.	Pathological complete response of locally advanced gastric cancer after four courses of neoadjuvant chemotherapy with paclitaxel plus cisplatin: report of a case.	Watanabe T	外科治療学
SP randomized PII trial (XParTS II). BMC Cancer, 12:307, 2012.	A randomized phase II trial to elucidate the efficacy of capecitabine plus cisplatin (XP) and S-1 plus cisplatin (SP) as a first-line treatment for advanced gastric cancer: XP ascertainment vs.	Tsuburaya A	外科治療学
Ann Surg Oncol, 19(3):S558-64, 2012.	Immunohistochemical analysis of human equilibrative nucleoside transporter-1 (hENT1) predicts survival in resected pancreatic cancer patients treated with adjuvant gemcitabine monotherapy.	Morinaga S	外科治療学
Jpn J Clin Oncol, 42(7):654-7, 2012.	Laparoscopic or Open Distal Gastrectomy After Neoadjuvant Chemotherapy for Operable Gastric Cancer, a Randomized Phase II Trial (LANDSCOPE Trial).	Yoshikawa T	外科治療学
Int J Clin Oncol, 17(3):294-8, 2012.	Small bud of probable gastrointestinal stromal tumor within a laparoscopically-resected gastric schwannoma.	Cho H	外科治療学
Asia Pac J Clin Oncol, 8(4):337-45, 2012.	Impact of body mass index and visceral adiposity on outcomes in colorectal cancer.	Yamamoto N	外科治療学
World J Surg Oncol, 10(1): 109, 2012.	The clinicopathological features of colorectal mucinous adenocarcinoma and a therapeutic strategy for the disease.	Numata M	外科治療学
World J Gastroenterol, 18(27): 3502-10, 2012.	Significance of regenerating islet-derived type IV gene expression in gastroenterological cancers.	Numata M	外科治療学
European J Radiology, 81: 2746-2753, 2012.	Use of fusion imaging combining contrast-enhanced ultrasonography with a perflubutane-based contrast agent and contrast-enhanced computed tomography for the evaluation of percutaneous radiofrequency ablation of hypervascular hepatocellular carcinoma.	Numata K	外科治療学

(小計 9件)

Ann Surg Oncol, 19(5):1568-74, 2012.	Risk factors for peritoneal recurrence in stage II/III gastric cancer patients who received S-1 adjuvant chemotherapy after D2 gastrectomy.	Aoyama T	外科治療学
Gastric Cancer, 15(1):76-82, 2012.	Safety and feasibility of S-1 adjuvant chemotherapy for gastric cancer in elderly patients.	Aoyama T	外科治療学
World J Surg, 36(5):2139-45, 2012.	Severity of complications after gastrectomy in elderly patients with gastric cancer.	Hayashi T	外科治療学
Anticancer research, 32(4):1457-61, 2012.	Comparison of the chemosensitivity of the primary lesion and a pancreatic metastasis of colon cancer.	Tamagawa H	外科治療学
Eur J Surg Oncol, 38(11):1051-7,2012.	The cellular level of histone H3 lysine 4 dimethylation correlates with response to adjuvant gemcitabine in Japanese pancreatic cancer patients treated with surgery.	Watanabe T	外科治療学
Hum Genet, 131(4) 591-9, 2012.	Rapid detection of gene mutations responsible for non-syndromic aortic aneurysm and dissection using two different methods. Resequencing microarray technology and next-generation sequencing.	Sakai H	外科治療学
Gen Thorac Cardiovasc Surg, 60 : 645-48, 2012.	Comparative study of brain protection in ascending aorta replacement for acute type A aortic dissection: retrograde cerebral perfusion versus selective antegrade cerebral perfusion.	Sugiura T	外科治療学
Ann Thoarc Surg, 94: 666-667, 2012.	An easy and uswful exposure techniqu using a malleable ring for distal anastomosis in total arch replacement.	Tokunaga S	外科治療学
Circulation Journal, 76(10):2456-64, 2012.	Inhibition of Phosphodiesterase Type 3 Dilates the Rat Ductus Arteriosus Without Inducing Intimal Thickening.	Ichikawa Y	外科治療学

(小計 9件)

Ann Thorac Surg, 93(5): 1706-1708, 2012.	Bicuspid pulmonary valve with atrial septal defect leading to pulmonary aneurysm.	Goda M	外科治療学
Exp Ther Med, 3(5): 797-802, 2012.	Clinical significance of immunohistochemical expression of insulin-like growth factor-1 receptor and matrix metalloproteinase-7 in resected non-small cell lung cancer.	Yamamoto T	外科治療学
Pathology International, 62(12): 785-791, 2012.	Prognostic value of the IASLC/ATS/ERS classification of lung adenocarcinoma in stage I disease of Japanese cases.	Woo T	外科治療学
Ann Thorac Cardiovasc Surg, 18(5): 429-433, 2012.	Intrapeural Analgesia Using Ropivacaine for Postoperative Pain Relief after Minimally Invasive Thoracoscopic Surgery.	Ishikawa Y	外科治療学
European Journal of Cardio-Thoracic Surgery, 42(1): 189, 2012.	Right upper lobectomy in patients with anomaly of the right main bronchus.	Inafuku K	外科治療学
Asian Journal of Endoscopic Surgery, 5:96-99, 2012.	Lung cancer associated with an azygos lobe successfully treated with video-assisted thoracoscopic surgery.	Arai H	外科治療学
Surgery Today, 38(7):639-643, 2012.	Lung cancer associated with Sweet's syndrome: Report of a case.	Arai H	外科治療学
Journal of Medical Case Report, 6: 281, 2012.	Pulmonary adenocarcinoma, Lambert-Eaton myasthenic syndrome, and voltage-gated calcium channels: a case report.	Arai H	外科治療学
Asian Cardiovascular & Thoracic Annals, 20(5): 610, 2012.	A case of pleomorphic carcinoma of the lung suspected from ingectious bulla.	Nishii T	外科治療学

(小計 9件)

Ann Thorac Surg, 93(1): 319-322, 2012.	Intralobar pulmonary sequestration supplied by an anomalous aneurysmal artery.	Ando K	外科治療学
Thyroid 22(8): 798-804, 2012.	Outcomes and prognostic factors of 251 patients with minimally invasive follicular thyroid carcinoma.	Sugino K	外科治療学
Endocr J 59(12): 1115-1120, 2012.	Changes in the thyroid function of Graves' disease patients treated by subtotal thyroidectomy.	Sugino K	外科治療学
Int J Endocrinol Metab, 10: 594-598, 2012.	Serum intact parathyroid hormone level after total thyroidectomy or total thyroidectomy plus lymph node dissection for thyroid nodules: Report from 296 surgical cases.	Yano Y	外科治療学
Thyroid, 22 (7): 683-689, 2012.	The association between RAS gene mutations and clinical characteristics in follicular thyroid tumors: new insights from a single center and a large patient cohort.	Fukahori M	外科治療学
日本外科系連合学会誌, 37(2): 197-204, 2012.	切除可能な進行胃癌に対する術前補助化学療法.	佐藤 勉	外科治療学
横浜医学, 63(2) : 89-93, 2012.	胃切除後早期経口摂取の安全性の評価.	稲福賢司	外科治療学
癌と化学療法, 39(9): 1379-1383, 2012.	高齢者進行再発大腸癌に対するBevacuzumab併用化学療法の安全性の検討.	土田知史	外科治療学
日本大腸肛門病学会誌, 65(5) : 253-258, 2012.	Colonic inertia (結腸無力症)における外科治療の適応および有用性の検討.	金澤 周	外科治療学

(小計 9件)

日本外科系連合学会誌 37(4): 673-679, 2012.	腹腔鏡補助下幽門側胃切除導入前後での根治性および安全性の検討.	山田貴允	外科治療学
臨床栄養, 120(7): 863-869, 2012.	がん悪液質の体重変化のしくみと対応策.	吉川貴己	外科治療学
手術, 66(8):1135-1139, 2012.	幽門保存胃切除術後のサーキュラーステープラーによる全器械再建術.	長 清彦	外科治療学
癌と化学療法, 39 (12): 1794-1796, 2012.	胃癌術後の体重減少の検討 一手術胆道群とS-1補助化学療法群の比較.	青山 徹	外科治療学
癌と化学療法, 39 (12): 2298-2300, 2012.	胃癌術後吻合部出血の検討.	青山 徹	外科治療学
臨床栄養, 120(7):870-875, 2012.	手術療法から化学療法への架け橋-体重減少を抑制するために.	青山 徹	外科治療学
横浜医学, 63:83-87, 2012.	当院における単孔式腹腔鏡下虫垂切除術の方法と有用性の評価について.	伊坂哲哉	外科治療学
栄養-評価と治療, 29(2): 137-140, 2012.	【周術期代謝栄養管理-ERASプロトコルを巡って】胃癌手術におけるERASプロトコル.	林 勉	外科治療学
日本外科系連合学会誌, 37(5): 990-996, 2012.	術後5年で肝転移をきたし腹腔鏡下切除を施行した高齢者直腸癌の1例.	湯川寛夫	外科治療学

(小計 9件)

日本大腸肛門病学会誌, 65:130-135, 2012.	5'-DFUR+放射線化学療法を含む修学的治療により7年間CR継続中の非切除T4直腸癌の1例.	佐藤 勉	外科治療学
癌と化学療法, 39(4): 675-677, 2012.	直腸癌術後再発に対するBevacizumab投与中に発症した下部消化管出血の1例.	土田知史	外科治療学
日本臨床外科学会雑誌, 73(10): 2606-2609, 2012.	粘膜下腫瘍様形態を呈した上行結腸粘液癌の1例.	山田貴允	外科治療学
日本外科系連合学会誌, 37(4):686-690, 2012.	胃癌補助化学療法の開発戦略.	吉川貴己	外科治療学
日本臨床外科学会雑誌, 73(10): 3584-2589, 2012.	無症状で経過したMeckel憩室結石の1例.	澤崎 翔	外科治療学
日本臨床外科学会雑誌, 73(11): 2926-2930, 2012.	上行結腸癌に合併した肝硬化性血管腫の1例.	澤崎 翔	外科治療学
日本外科系連合学会誌, 37(6):1221-1225, 2012.	腹腔鏡が診断に有用であったS状結腸間膜内ヘルニアの1例.	澤崎 翔	外科治療学
横浜医学, 63: 13-16, 2012.	原因不明の巨大肛門周囲膿瘍の1例.	白井順也	外科治療学
日本臨床外科学会雑誌, 73(12): 3086-3090, 2012.	弓部大動脈瘤が左肺動脈に穿破した1例.	白井順也	外科治療学

(小計 9件)

日本外科系連合学会誌, 37(4): 813-819, 2012.	CapeOX + bevacizumab療法で切除可能となった局所進行大腸癌の1例.	白井順也	外科治療学
日本臨床外科学会雑誌, 73(11): 2825-2829, 2012.	幽門側胃切除Roux-en-Y再建後、Y脚吻合部狭窄により輸入脚症候群をきたした1例.	白井順也	外科治療学
日本外科系連合学会誌, 37(6): 1215-1220, 2012.	胸腔鏡下メッシュによる修復が有効であった傍食道型食道裂孔ヘルニアの1例.	藤川寛人	外科治療学
日本外科系連合学会誌, 37(2): 280-283, 2012.	腸閉塞をきたした回腸子宮内膜症の1切除例.	神康之	外科治療学
日本外科系連合学会誌, 37(6): 1185-1190, 2012.	術前診断しえたガス産生のない肝膿瘍破裂による汎発性腹膜炎の1例.	神康之	外科治療学
外科, 74(8): 870-873, 2012.	腹腔鏡下に切除した十二指腸Brunner腺過形成の1例.	神康之	外科治療学
日本消化器外科学会雑誌, 45(7): 766-771, 2012.	超音波検査で術前診断しえた虫垂憩室炎の1例.	神康之	外科治療学
横浜医学, 63:7-11, 2012.	腹腔鏡下胆嚢摘出術におけるLuschka管損傷の1例.	樋口晃生	外科治療学
日本消化器外科学会雑誌, 45(9): 905-913, 2012.	切除しえた食道巨大gastrointestinal stromal tumorおよび胃gastrointestinal stromal tumorの重複症例.	加藤綾	外科治療学

(小計 9件)

癌と化学療法, 39 (12): 1889-1891, 2012.	胃切除および術後化学療法が奏功し長期生存が得られた肝転移を伴った胃小細胞癌の1例.	青山 徹	外科治療学
癌と化学療法, 39 (12): 1892-1894, 2012.	術後S-1/Paclitaxel + CDDP同時併用化学放射線療法/S-1の逐次療法が奏功し長期生存が得られた切除断端陽性stageIIB胃癌の1例.	青山 徹	外科治療学
日本外科系連合学会誌, 37(2): 275-279, 2012.	子宮広間膜裂孔ヘルニアによる絞扼性イレウスの1例.	山奥公一朗	外科治療学
横浜医学63(2):101-105, 2012.	腹腔鏡下に根治術を施行した尿管管遺残症の2例.	菅野伸洋	外科治療学
日本臨床外科学会雑誌, 73(4): 1013-1016, 2012.	16年を経て肺転移をきたした腸間膜腫瘍の1例.	神尾一樹	外科治療学
胸部外科 2012; 65:853-4	討論2:胸部外科の指針、僧帽弁後尖逸脱に対する弁形成術式の工夫.	徳永滋彦	外科治療学
日本臨床外科学会雑誌, 73 (2): 293-298, 2012.	胸腔鏡補助下前側方切開法による胸腺腫胸腺部分切除術.	荒井宏雅	外科治療学
日本呼吸器外科学会雑誌, 26(6):591-596, 2012.	口腔頭頸部癌肺転移切除症例の検討.	足立広幸	外科治療学
日本臨床外科学会雑誌, 73 (9): 2231-2234, 2012.	エクリン汗腺癌肺転移の1例.	橋本一輝	外科治療学

(小計 9件)

日本呼吸器外科学会雑誌, 26(2): 214-219, 2012.	胸腔内結石を摘出した4例.	鮫島諱司	外科治療学
日本呼吸器外科学会雑誌, 26(6): 654-657, 2012.	グビー中の胸部打撲による胸膜外血腫に対する胸腔鏡下手術の一例.	齋藤志子	外科治療学
日本呼吸器外科学会雑誌, 26(2): 203-207, 2012.	胸腺原発低分化神経内分泌癌の1切除例.	足立広幸	外科治療学
日本気胸・嚢胞性肺疾患学会, 12: 139-142, 2012.	Tru-close thoracic vent挿入後に再膨張性肺水腫にてショックをきたした一例.	伊坂哲哉	外科治療学
気管支学, 34(5): 437~441, 2012.	気管支原発の腺房細胞癌の1症例.	安藤耕平	外科治療学
日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌, 29: 128-130, 2012.	甲状腺乳頭癌の治療成績から考える至適術式について.	吉田 明	外科治療学
臨床外科, 67:36-41, 2012.	甲状腺癌の非切除・再発例.	松津賢一	外科治療学
横浜医学, 63:583-588, 2012.	Clinicopathological features of invasive lobular carcinoma compared with invasive ductal carcinoma: single institute analysis.	Nakayama H	外科治療学
癌と化学療法, 39(11), 1675-1679, 2012.	HER2陽性転移性乳癌に対するLapatinib、Capecitabine療法の有効性と安全性の検討.	千葉明彦	外科治療学

(小計 9件)

Japanese Journal of Clinical Oncology, 43(2):214-216, 2013.	A randomized phase II trial of omentum-preserving gastrectomy for advanced gastric cancer	Hasegawa S	外科治療学
Annals of Surgical Oncology, 20: 2016-2022, 2013.	A Prospective Validation Study to Diagnose Serosal Invasion and Nodal Metastases of Gastric Cancer by Multidetector-row CT	Hasegawa S	外科治療学
Annals of Surgical Oncology, 20: 2000-2006, 2013.	Body weight loss after surgery is an independent risk factor for continuation of S-1 adjuvant chemotherapy for gastric cancer	Aoyama T	外科治療学
International Journal of Oncology, 42(2):403-410, 2013.	The clinical significance of SWI/SNF complex in pancreatic cancer	Numata M	外科治療学
日本外科系連合学会誌, 38(1):62-66, 2013.	胃癌抗癌剤治療中の有害事象に対する十全大補湯投与の経験	利野 靖	外科治療学
日本外科系連合学会誌, 38(1):111-116, 2013.	上行結腸癌術後肝転移のRFA後再燃に対しパニツムマブが奏効し肝切除が可能となった1例	湯川寛夫	外科治療学
日本外科系連合学会誌, 38(1):104-110, 2013.	集学的治療後に膵頭十二指腸切除術にて切除しえた上行結腸癌膵頭部転移の1例	湯川寛夫	外科治療学
日本外科系連合学会誌, 38(1):164-168, 2013.	腎細胞癌大腸転移の1切除例	大中臣康子	外科治療学
日本呼吸器外科学会雑誌, 27(2):218-221, 2013.	短期間で急速に増大した中皮嚢胞の一例	鮫島譲司	外科治療学

(小計 9件)

癌と化学療法, 40(3):393-395, 2013.	長期生存を認めている小腸癌の1例	澤崎 翔	外科治療学
Surg Today, 42 (12) : 1143-1153, 2012.	The current diagnosis and treatment of benign biliary stricture.	Shimada H	消化器・腫瘍外科学
Oncology, 83 : 183-191, 2012.	Inflammation-based prognostic score predicts survival in patients advanced gastric cancer receiving biweekly docetaxel and S-1 combination chemotherapy.	Kunisaki C	消化器・腫瘍外科学
Dig Surg, 29 : 261-268, 2012.	Relevance of reduced-port laparoscopic distal gastrectomy for gastric cancer: a pilot study.	Kunisaki C	消化器・腫瘍外科学
Journal of Chemotherapy. 24 (6) : 364-368, 2012.	Low-dose docetaxel and cisplatin combination chemotherapy for stage II/III gastric cancer showing resistance to S-1 adjuvant chemotherapy: a phase I study.	Kunisaki C	消化器・腫瘍外科学
Surg Endosc, 26 : 1403- 1411, 2012.	Single-incision laparoscopic surgery using colon-lifting technique for colorectal cancer: a matched case-control comparison with standard multiport laparoscopic surgery in terms of short-term results and access instrument cost.	Fujii S	消化器・腫瘍外科学
Surg Endosc, 26: 3067- 3076, 2012.	Short-term outcomes of laparoscopic intersphincteric resection from a paroscopic surgery for stage 0/I rectal cancer. Japan Society of Laparoscopic Colorectal Surgery Lap RC.	Fujii S	消化器・腫瘍外科学
Surg Today, 43 (4) ; 372-380, 2012.	The effectiveness and appropriate management of abdominal drains in patients undergoing elective liver resection: a retrospective analysis and prospective case series.	Tanaka K	消化器・腫瘍外科学
World J Surg, 36 (8) : 1832-1841, 2012.	Timing of Two-stage Liver Resection During Chemotherapy for Otherwise Unresectable Colorectal Metastases.	Tanaka K	消化器・腫瘍外科学

(小計 9件)

Surgery, 153 (2) : 179-188, 2012.	Two-stage hepatectomy with effective perioperative chemotherapy does not induce tumor growth or growth factor expression in liver metastases from colorectal cancer.	Tanaka K	消化器・腫瘍外科学
Surg Today. 42 (5) : 453-439, 2012.	Emergency versus elective living-donor liver transplantation: a comparison of a single center analysis.	Takeda K	消化器・腫瘍外科学
Hepatogastroenterology, 59 (119) : 2276-2279, 2012.	Predictive Factors for Prolonged Intubation Following Liver Transplantation.	Takeda K	消化器・腫瘍外科学
Surg Today, Doi 10.1007/s00595-012-0387-2, 2012.	Intrahepatic cholangiocarcinoma arising 28 years after excision of a type IV-A congenital choledochal cyst: report of a case.	Kumamoto T	消化器・腫瘍外科学
Journal of surgical Research, 178 (1) : 280-287, 2012.	Major liver resection stimulates stromal recruitment and metastasis compared with repeated minor resection.	Momiyama M	消化器・腫瘍外科学
Ann Surg Oncol, DOI 10.1245/s10434-012-2491-3, 2012.	Collapsin Response Mediator Protein 4 Expression is Associated with Liver Metastasis and Poor Survival in Pancreatic Cancer.	Hiroshima Y	消化器・腫瘍外科学
Gland Surgery, 1 (3) : 161-163, 2012.	Should we examine sentinel lymph nodes during the operation?	Yamada A	消化器・腫瘍外科学
Clin J Gastroenterol, 5 : 216-219, 2012.	Chylous ascites occurring after low anterior resection of the rectum successfully treated with an oral fat-free elemental diet (Elental).	Nakayama G	消化器・腫瘍外科学
J Hepatobiliary Pancreat Sci, 19 : 230-241, 2012.	Standard versus extended lymphadenectomy in radical pancreaticoduodenectomy for ductal adenocarcinoma of the head of the pancreas.	Nimura Y	消化器・腫瘍外科学

(小計 9件)

Future Oncol, 8 (4) : 403-414, 2012.	Bevacizumab and breast cancer: what does the future hold?	Stevenson CE	消化器・腫瘍外科学
Gland Surgery, 1 (2) : 80-83, 2012.	Twofer anti-vascular therapy targeting sphingosine-1-phosphate for breast cancer.	Takabe K	消化器・腫瘍外科学
Lymphat Res Biol. 2012; 10 (3) : 97-106.	The role of sphingosine-1-phosphate in breast cancer tumor-induced lymphangiogenesis .	Aoyagi T	消化器・腫瘍外科学
World J Gastroenterol, 18 (42) : 6155-6159, 2012.	Inverted Meckel's diverticulum as a cause of occult lower gastrointestinal hemorrhage.	Rashid OM	消化器・腫瘍外科学
Lancet Oncol, 13 (6) : 616-621, 2012.	Lancet Oncol. Postoperative morbidity and mortality after mesorectal excision with and without lateral lymph node dissection for clinical stage II or stage III lower rectal cancer (JCOG0212): results from a multicentre, randomised controlled, non-inferiority trial.	Fujita S	消化器・腫瘍外科学
がんサポート, 115 (10) : 50-54, 2012.	胆道がん術前化学療法 手術ができないと診断された患者さんにも根治治療の可能性 術前化学療法により胆道がんの治療成績が向上?!	遠藤 格	消化器・腫瘍外科学
日本胆道学会雑誌, 26 (4) : 26-32, 2012.	中下部胆管癌に対する臍頭十二指腸切断術.	遠藤 格	消化器・腫瘍外科学
臨牀消化器内科, 27 (9) : 1237-1241, 2012.	スキルス胃癌の治療 (2)化学療法 a.術前・術後補助化学療法.	國崎主税	消化器・腫瘍外科学
日本臨牀, 70 (7) : 101-109, 2012.	乳癌(第2版) - 基礎と臨床の最新研究動向-Ⅲ.乳癌の分子生物学と発癌機序 発癌に関連する遺伝子多型.	石川 孝	消化器・腫瘍外科学

(小計 9件)

消化器外科, 35 : 1517-1522, 2012.	末梢静脈路確保	福島忠男	消化器・腫瘍外科学
消化器外科学レビュー 2012, 85-93, 2012.	転移性肝癌	田中邦哉	消化器・腫瘍外科学
消化器外科, 35 (9) : 1381-1392, 2012.	大腸癌高度肝転移に対する計画的二期的切除と血行再建を伴う拡大肝切除の意義.	田中邦哉	消化器・腫瘍外科学
日本臨牀, 70 (7): 124-130, 2012.	乳癌肝転移の臨床的特徴.	千島隆司	消化器・腫瘍外科学
日本大腸肛門病学会雑誌, 65 (5) : 294-296.	皮下外肛門括約筋リフト: Intersphincteric resectionにおける術後排便機能改善を目的として付加手術.	大田貢由	消化器・腫瘍外科学
横浜医学, 63 : 1-6, 2012.	本学における生体肝移植の現況.	武田和永	消化器・腫瘍外科学
肝胆膵, 64 (4) : 537-544, 2012.	術中診断されたIncidental Gallbladder cancerの治療方針.	松山隆生	消化器・腫瘍外科学
消化器外科NURSING, 7 (5) : 55-71, 2012.	解剖生理&疾患&術式&ケア 胆嚢3stepでマスター！.	松山隆生	消化器・腫瘍外科学
横浜医学, 63 : 65-74, 2012.	教室における胆道癌の外科切除成績.	松山隆生	消化器・腫瘍外科学

(小計 9件)

手術, 66 (13) : 1831-1840, 2012.	肝門部胆管癌に対する拡大手術.	松山隆生	消化器・腫瘍外科学
癌の臨床, 58 (5) : 261-265, 2012.	NCCNガイドラインにおけるBorderline resectable膵癌に対する術前化学(放射線)療法の治療成績.	谷口浩一	消化器・腫瘍外科学
消化器外科 術前・術後管理必携, 35 (5) : 565-569, 2012.	創部とドレーン管理.	熊本宜文	消化器・腫瘍外科学
日本消化器外科学会雑誌, 45 (11) : 1098-1104, 2012.	下部胆管癌周術期に発症した後天性血友病の1例.	熊本宜文	消化器・腫瘍外科学
胆道, 25 (5) : 739-744, 2012.	単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術の術後疼痛軽減効果に関する検討.	森 隆太郎	消化器・腫瘍外科学
横浜医学, 63 : 75-81, 2012.	当科における非悪性膵疾患に対する尾側膵切除術 腹腔鏡手術と開腹手術の比較検討.	森 隆太郎	消化器・腫瘍外科学
日本外科系連合学会誌, 37 (4) : 853-858, 2012.	膵リンパ上皮性嚢胞の1切除例.	森 隆太郎	消化器・腫瘍外科学
消化器外科2012-10術後晩期合併症の診療方針, 35 (11) : 1625-1630, 2012.	膵消化管吻合術後の膵炎.	森 隆太郎	消化器・腫瘍外科学
横浜医学, 63: 95-99, 2012.	当院における腹腔鏡下大腸切除症例の検討.	石部教士	消化器・腫瘍外科学

(小計 9件)

横浜医学, 63: 107-112, 2012.	特発性血小板減少性紫斑病併存S状結腸癌に対して腹腔鏡下大腸切除を施行した1例.	石部敦士	消化器・腫瘍外科学
日本腹部救急医学会雑誌, 32 (6) : 1027-1031, 2012.	急性虫垂炎手術症例におけるSSIの検討.	澤田 雄	消化器・腫瘍外科学
日本大腸肛門病学会雑誌, 65 (5) : 283-287, 2012.	術前に診断し得たPress Through Package誤飲による回腸穿通を来したCrohn病の1例.	鈴木紳祐	消化器・腫瘍外科学
臓腑, 27 (3) : 398, 2012.	MDCTと腫瘍マーカーを使用した新しい膵癌の動脈浸潤スコアの提案.	渡邊誠太郎	消化器・腫瘍外科学
Anticancer Res, 33(2): 697-704, 2013.	Biweekly Docetaxel and S-1 Combination Chemotherapy as First-line Treatment for Elderly Patients with Advanced Gastric Cancer.	Kunisaki C	消化器・腫瘍外科学
Surgery, 153(2) : 179-88, 2013.	Two-stage hepatectomy with effective perioperative chemotherapy does not induce tumor growth or grow.	Tanaka K	消化器・腫瘍外科学
Clin Cancer Res, 18(13): 3686-3696, 2012.	Phase I trial of a glypican-3-derived peptide vaccine for advanced hepatocellular carcinoma: immunologic evidence and potential for improving overall survival.	Sawada Y	消化器・腫瘍外科学
Human Vaccines & Immunotherapeutics, 2013.	Remarkable tumor lysis in a hepatocellular carcinoma patient immediately following glypican-3-derived peptide vaccination: An autopsy case.	Sawada Y	消化器・腫瘍外科学
Breast Cancer Res Treat, 137(3): 773-782, 2013.	High expression of ATP-binding cassette transporter ABC11 in breast tumors is associated with aggressive subtypes and low disease-free survival.	Yamada A	消化器・腫瘍外科学

(小計 9件)

World Journal of Gastroenterology, 19 (1) : 129-132, 2013.	Small hepatocellular carcinoma with ring calcification : A case report and literature review.	Murakami T	消化器・腫瘍外科学
日本消化器外科学会雑誌, 46 (3) : 183-188, 2013.	右胃大網動脈グラフトによる冠動脈バイパス術後の肝切除術の経験.	浅野史雄	消化器・腫瘍外科学
Arthritis Care Res.;64:1036-45. 2012	Medial versus lateral condyle bone mineral density ratios in a cross-sectional study: a potential marker for medial knee osteoarthritis severity.	Akamatsu Y	運動器病態学
Acta Orthop.:249-55. 2012	Low bone mineral density is associated with the onset of spontaneous osteonecrosis of the knee.	Akamatsu Y	運動器病態学
Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc, 20(3): 586-93, 2012.	Navigated opening wedge high tibial osteotomy improves intraoperative correction angle compared with conventional method.	Akamatsu, Y	運動器病態学
The Journal Foot & Ankle Surgery, 51:237-240, 2012.	Case of juxta-articular osteoid osteoma of calcaneus mimicking arthritis.	Aratake M	運動器病態学
PLoS One, 2012;7(4):e34412.2012	Protein tyrosine phosphatase 1B deficiency potentiates PERK/eIF2 α signaling in brown adipocytes.	Bettaieb A	運動器病態学
J. Joint Dis 31: 469-474, 2012	Short-duration Antimicrobial Prophylaxis is Recommended for Orthopedic Surgery in Patients with Rheumatoid Arthritis Jpn.	Harigane K	運動器病態学
Mod Rheumatol (2012)22: 223-227, 2012.	Clinical and radiological results of GSB III total elbow arthroplasty in patients with rheumatoid arthritis.	Ishii K	運動器病態学

(小計 9件)

Acta Orthopaedica 2012; 83(4): 374-378.	Good long-term outcome of synovectomy in advanced stages of the rheumatoid elbow. 64 elbows followed for 10-23 years.	Ishii K	運動器病態学
Arthritis. 648537.2012	Expression of Angiotensin II Receptor-1 in Human Articular Chondrocytes.	Kawakami Y	運動器病態学
Sports Med Arthrosc Rehabil Ther Technol, 4(1): 38, 2012.	T Mid- term results of stryker(R) scorio plus mobile bearing total knee arthroplasty.	Kobayashi H	運動器病態学
Osteoarthritis Cartilage, 20(11): 1258-67, 2012.	The extent of degeneration of cruciate ligament if associated with chondrogenic differentiation in patients with osteoarthritis of the knee.	Kumagai K	運動器病態学
J Orthop Res.30(9): 1516-21, 2012.	Low-intensity pulsed ultrasound accelerates fracture healing by stimulation of recruitment of both local and circulating osteogenic progenitors.	Kumagai K	運動器病態学
Endocrinology. 2012 Jul;153(7):3158-69.2012	Hepatic Src homology phosphatase 2 regulates energy balance in mice.	Matsuo K	運動器病態学
J Spinal Disord Tech. 2012	Intraoperative Neural Mobility and Postoperative Neurological Recovery in Anterior Cervical Decompression Surgery.	Mihara H	運動器病態学
Diagn Microbiol Infect Dis. 74(2): 125-30, 2012.	Quantitative evaluation of periprosthetic infection by real-time polymerase chain reaction: a comparison with conventional methods.	Miyamae Y	運動器病態学
Mod Rheumatol, 2012.	Clinical and radiographic evaluation of total hip arthroplasties using porous tantalum modular acetabular components: 5-year follow-up of clinical trial.	Nakashima Y	運動器病態学

(小計 9件)

Mod Rheumatol; 22(4): 558-564. 2012	Definitive differences in laboratory and radiological characteristics between two subtypes of juvenile idiopathic arthritis: systemic arthritis and polyarthritis.	Ozawa R	運動器病態学
Arthroscopy 28(1): 85-94, 2012.	Fractures around the lateral cortical hinge after a medial opening-wedge high tibial osteotomy: a new classification of lateral hinge fracture.	Takeuchi R	運動器病態学
BMC Musculoskelet Disord, 23;14:40, 2013.	Decreased Semaphorin3A expression correlates with disease activity and histological features of rheumatoid arthritis.	Takagawa S	運動器病態学
Clin Exp Rheumatol, 2012.	Simultaneous evaluation of long-lasting knee synovitis in patients undergoing arthroplasty by power Doppler ultrasonography and contrast-enhanced MRI in comparison with histopathology.	Takase, K	運動器病態学
J Arthroplasty, 27(6): 940-4, 2012.	Change in pelvic tilt angle 2 to 4 years after total hip arthroplasty.	Taki N	運動器病態学
J Thromb Thrombolysis 34(4): 526-32, 2012.	Plasma accumulation of fondaparinux 2.5 mg in patients after total hip arthroplasty.	Yukizawa Y	運動器病態学
Acta Orthop. 83(1): 14-21, 2012	Association between venous thromboembolism and plasma levels of both soluble fibrin and plasminogen-activator inhibitor 1 in 170 patients undergoing total hip arthroplasty.	Yukizawa Y	運動器病態学
第2報一. 日本人工関節学会誌 42:33-34, 2012.	METAL ON METAL THAにおけるcomponentのデザインによる金属イオン動態の検討. 多施設共同・前向き研究-中間報告	安藤 涉	運動器病態学
平成23年度総括・分担研究報告書:192-193, 2012.	大腿骨頭壊死症の有限要素解析を用いた圧潰予測の試み-有限要素解析モデルの作成-. 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業. 特発性大腿骨頭壊死症の診断・治療・予防法の開発を目的とした全国学際的研究.	池 裕之	運動器病態学

(小計 9件)

J. Spine Res. 3:1383-1387, 2012.	頸椎多椎間椎体鉋全摘術における移植骨脱転に関する因子について.	石田 航	運動器病態学
日本人工関節学会誌, 42: 309- 310, 2012.	人工股関節全置換術後の冠状面脊椎バランス.	石田 崇	運動器病態学
日本臨床整形外科学会雑誌 37:97-99.2012.	月状骨単独脱臼と思われる1例 .	石田哲也	運動器病態学
日関病誌 31、4、503-506, 2012.	リネゾリドで感染を沈静化させることができた人工膝関節全置換術後MRSA感染による敗血症の1例.	伊藤 淳	運動器病態学
日関病誌 31,463-467, 2012.	膝深屈曲が可能な変形性膝関節症に対するOxford UKA High Flexの使用経験.	伊藤 淳	運動器病態学
MB Orthop. 25(12) :1-8, 2012.	運動器疾患に対するNSAIDsの上手な使い方. NSAIDs服用中の出血性潰瘍例とその対応.	稲葉 裕	運動器病態学
MB Med Reha 149:55-62, 2012.	臨床現場に必要な運動器画像診断. 深部静脈血栓の画像診断.	稲葉 裕	運動器病態学
Hip Joint 38:11-16, 2012.	股関節のバイオメカニクスー有限要素法解析を用いたアプローチ.	稲葉 裕	運動器病態学
関節外科 31(9) :1013-1018, 2012.	特集 metal on metal人工股関節(MOM-THA)の功罪と今後の展望. III. 臨床成績と今後の展望. 表面置換型THAへのナビゲーションの応用.	稲葉 裕	運動器病態学

(小計 9件)

MB Orthop. 25(9):53-61, 2012.	知っておきたい整形外科小児外来診療ABC. 下肢の変形.	稲葉 裕	運動器病態学
整形外科 63(9):1009-1013, 2012.	最新原著レビュー. 低侵襲人工股関節全置換術におけるWatson-Jones変法アプローチと小皮切側方アプローチの臨床成績に及ぼす影響の違い.	稲葉 裕	運動器病態学
小児内科 44(1):38-43, 2012.	特集/クローズアップ 小児リウマチ・膠原病. <小児リウマチ性疾患の診断へのアプローチ> 骨・関節・筋肉の画像診断.	稲葉 裕	運動器病態学
Bone Joint Nerve 2(3):423-430, 2012.	特集 骨・関節領域における感染症. 1. 感染症の基礎知識と診断. PCRによる感染症の診断.	稲葉 裕	運動器病態学
日整会誌 86:407-419, 2012.	教育研修講座. 感染人工関節の新しい診断法と治療戦略.	稲葉 裕	運動器病態学
Hip Joint 38, 266-269, 2012.	術後5年以上経過したBicontact型人工股関節全置換術の成績.	井出野太一	運動器病態学
骨折, 34:595-598.2012.	大腿骨転子部骨折不安定型に対するlong femoral nailの治療成績.	江口英人	運動器病態学
神奈川整形災害外科研究会雑誌, 25:39-43.2012.	肺血栓塞栓症を起こした大腿骨転子部骨折、橈骨遠位端骨折に急性硬膜下血腫を伴った1例.	江口英人	運動器病態学
関東整災誌43(6): 463-466, 2012.	距骨に発生した軟骨芽細胞腫の1例.	大池直樹	運動器病態学

(小計 9件)

日本手外科学会雑誌. Vol.29 .No.1, .S368, 2012.	外傷後の高度PIP関節屈曲拘縮に対してdigo- lateral flapを併用した観血的授動術の術後成績.	勝村哲	運動器病態学
日本整形外科学会雑誌. Vol.86, No.3, S553, 2012.	弾発指に対するトリアムシロン腱鞘内注入量5mgと 2.5mgの治療成績の比較検討.	勝村哲	運動器病態学
骨折. Vol.34, S194, 2012.	VERSANAIL Proximal Humeral髓内釘使用した上腕 骨近位部骨折の治療成績.	勝村哲	運動器病態学
日本マイクロサージャリー 学会学術集会プログラム. Vol.39, 277, 2012.	下腿遠位1/3のGustiloIII開放骨折における軟部組織 欠損に対して,受傷側遊離腓腹筋筋弁を用いた組織 再建.	勝村哲	運動器病態学
整形外科63(7): 643- 646, 2012.	右膝窩動脈捕捉症候群に対して腓腹筋内側頭移行 術を施行した1例.	大澤克成	運動器病態学
Hip Joint 38: 98-101, 2012.	Direct anterior approachによる人工関節全置換術 におけるフォンダパリヌクス投与の深部静脈血栓症に 対する有用性.	太田裕彦	運動器病態学
神奈川整形災害外科研 究会雑誌 Vol.24 No.5 173~175 2012年3月	同一ラグビーチーム内で発生した市中型MRSA感 染症 の2例.	小野真稔	運動器病態学
整形外科65(3)643- 646.2012.	右膝窩動脈捕捉症候群に対して腓腹筋内側頭移行 術を施行した1例.	大澤克成	運動器病態学
脊椎脊髄ジャーナ ル,25(6):639-642, 2012.	転倒後に下肢筋力低下をきたした腰椎腹腔シャント チューブ留置患者の1例.	加藤慎也	運動器病態学

(小計 9件)

関東整災誌43(3):169-172, 2012.	関節リウマチ患者の椎体形成術後に再手術を施行した1例.	金子貫一郎	運動器病態学
肩関節36(3): 1067-1070, 2012.	上腕骨近位骨肉腫に対してpedicle freezing methodを使用した1例.	上石貴之	運動器病態学
神奈川整形災害外科学会雑誌, 25, No2 : 35-37, 2012.	大腿骨頸部骨折に伴い偶発的に発見された大腿骨骨幹部梗塞の1例.	川端佑介	運動器病態学
Journal of Spine Research. 3(6):921-926, 2012.	CTガイド下カテーテル留置によりドレナージが奏功した腸腰筋膿瘍の2例.	河井 卓也	運動器病態学
東日本整形災害外科学会雑誌. 24(2) :162-165, 2012.	Cyst-arachnoid shunt術を施行した有痛性仙骨嚢腫の1例.	河井 卓也	運動器病態学
Journal of Spine Research. 3(9):1236-1240, 2012.	脊椎転移が原因で歩行不能となる因子の検討.	河井 卓也	運動器病態学
Journal of Spine Research 3(6): 1247-1251, 2012.	腰椎変性すべり症に対する後方経路腰椎椎体間固定術後の長期手術成績.	河野心範	運動器病態学
神奈川整形災害外科学会雑誌, 24(5) :193-195, 2012.	橈骨遠位端骨折後に生じた複合性局所疼痛症候群に対しステロイド経口投与が有効であった1例.	久保田 聡	運動器病態学
日本臨床整形外科学会誌, 37:238-243, 2012.	運動器不安定症に対する運動機能の向上～1年後の評価と課題～.	久保田亘	運動器病態学

(小計 9件)

臨床解剖研究会記録, 13:22-23, 2012.	腸骨稜近傍における上殿皮神経絞扼の解剖学的検討.	國谷 洋	運動器病態学
日本人工関節学会誌, 42: 429-430, 2012.	変形性膝関節症の病期の違いによる大腿骨上顆軸撮影の有用性について.	小林秀郎	運動器病態学
別冊整形外科 62:202- 206, 2012.	18F-fluoride PETを用いた変形性股関節症の早期診断と病期進行予測.	小林直実	運動器病態学
横浜医学 63:47-52, 2012.	術中リアルタイムPCRを用いたインプラント感染の診断とその定量評価の有用性.	小林直実	運動器病態学
日関節誌31(2): 83-84, 2012.	関節病学の現状と未来.	齋藤知行	運動器病態学
関節外科31(9), 2012.	metal on metal人工関節(MOM-THA)の功罪と今後の展望introduction.	齋藤知行	運動器病態学
関節外科31: 266- 270, 2012.	変形性膝関節症—突発性膝骨壊死を含む—.	齋藤知行	運動器病態学
運動療法と物理療法 23:105-109, 2012.	化膿性関節炎による人工股関節抜去術後に理学療法を実施した1症例.	齋藤幸広	運動器病態学
J MIOS. 65. 2-9. 2012.	足スポーツ障害に対する最小侵襲手術. アキレス腱断裂に対する経皮縫合術.	坂野裕昭	運動器病態学

(小計 9件)

整形外科看護. 17 .375-377 . 2012.	新人ナースこれだけ知ってたらなんとかなる!整形外科疾患 早わかり図鑑 上肢・脊椎編 手関節・手指 舟状骨骨折.	坂野裕昭	運動器病態学
整形外科看護. 17 . 372-374 . 2012.	新人ナースこれだけ知ってたらなんとかなる!整形外科疾患 早わかり図鑑 上肢・脊椎編 手関節・手指 橈骨遠位端骨.	坂野裕昭	運動器病態学
整形外科看護. 17 . 368-371 . 2012.	新人ナースこれだけ知ってたらなんとかなる!整形外科疾患 早わかり図鑑 上肢・脊椎編 手関節・手指 手の腱損傷.	坂野裕昭	運動器病態学
整形外科看護. 17 . 365-367 . 2012.	新人ナースこれだけ知ってたらなんとかなる!整形外科疾患 早わかり図鑑 上肢・脊椎編 手関節・手指 手根管症候.	坂野裕昭	運動器病態学
日本整形外科学会雑誌. 86 .S637 . 2012.	橈骨遠位端骨折に対する掌側ロックングプレート固定術合併症の危険因子と対策.	坂野裕昭	運動器病態学
人工股関節全置換術 (THA) 術後5年間の立位臥位骨盤傾斜角の変化.	人工股関節全置換術 (THA) 術後5年間の立位臥位骨盤傾斜角の変化.	瀧直也	運動器病態学
日手会誌, 29: 293-295, 2012.	Mayo clinic congruent elbow plate systemを用いた上腕骨遠位端骨折の治療成績.	瀧上秀威	運動器病態学
日関病誌, 31(2): 121-127, 2012.	人工股関節置換術を行う際の体位が周術期に及ぼす影響—術後胸部エックス線の比較による評価.	田中堅一郎	運動器病態学
日本人工関節学会誌, 42: 125-126, 2012.	表面置換型人工股関節置換術患者における血清および尿中コバルトおよびクロム濃度の測定.	崔賢民	運動器病態学

(小計 9件)

整形外科 63巻2号:116 ~119, 2012.	院内転倒・転落により発生した大腿骨近位部骨折.	中澤明尋	運動器病態学
日小整会誌 21(2):358- 363,2012.	ペルテス病後骨頭変形に対するRoundness indexを 用いた連続尺度評価の試み.	中村直行	運動器病態学
日本人工関節学会誌, 42: 745-746, 2012.	GSBⅢ型人工肘関節置換術後に上腕骨コンポーネ ントのゆるみにより再置換術を要した一例.	針金健吾	運動器病態学
骨折34(3): 694-697, 2012.	不安定型骨盤(仙骨)骨折に対する脊椎instrumentを 使用した後方固定術.	馬場紀行	運動器病態学
Hip Joint, 38:491- 494,2012.	側臥位で行う人工股関節術中の冠状面での骨盤傾 斜.	兵頭晃	運動器病態学
Hip Joint 38: 359-363, 2012.	人工股関節全置換術後の機能的な脚長差が臨床成 績に与える影響.	藤巻 洋	運動器病態学
日本人工関節学会誌, 42:171-172, 2012.	Image free navigation systemを用いた人工膝関節の 臨床成績と設置精度評価.	藤原 豊	運動器病態学
日臨整誌, 37(1):112- 116, 2012	脛骨顆間隆起骨折に対する治療成績.	藤原 豊	運動器病態学
日本足の外科学会雑 誌.,33(1):188-191,2012	脛骨遠位骨端線損傷後の足関節内反変形に対して 下位脛骨骨切り術を行った1例.	古谷一水	運動器病態学

(小計 9件)

<p>神奈川県整形災害外科医 会雑誌,24(5):177- 180,2011</p>	<p>膝関節の骨軟骨腫切除 術後に長期経過観察した片肢性骨端異形成症の1 例.</p>	<p>古谷一水</p>	<p>運動器病態学</p>
<p>日本人工関節学会誌, 41: 614-615, 2011.</p>	<p>Kerboull十字プレートを用いた初回人工股関節全置 換術の短期成績.</p>	<p>牧田浩行.</p>	<p>運動器病態学</p>
<p>肩関節, 36(3): 1079- 1081, 2012.</p>	<p>肩甲骨周囲に発生した巨大なデスマイドの2例.</p>	<p>松本里沙</p>	<p>運動器病態学</p>
<p>日足外会誌, 33(1):97 -100, 2012.</p>	<p>ストレスX線像による先天性垂直距骨の診断と重症度 分類.</p>	<p>町田治郎</p>	<p>運動器病態学</p>
<p>日小整会誌, 21(2):263 -266, 2012.</p>	<p>3歳以上で発見された先天性股関節脱臼に対する観 血整復とSalter骨盤骨切り合併手術の治療成績.</p>	<p>町田治郎</p>	<p>運動器病態学</p>
<p>関東整災誌43(4): 236- 239, 2012.</p>	<p>頸椎黄色靭帯に発生したガングリオンの1例.</p>	<p>水摩晃一</p>	<p>運動器病態学</p>
<p>日整会誌86:383-388, 2012.</p>	<p>関節リウマチの早期診断と問題点注意点について一 覧解を目指して一.</p>	<p>持田勇一</p>	<p>運動器病態学</p>
<p>整形・災害外科, 55(10): 1183-1190, 2012.</p>	<p>関節リウマチの画像診断—関節エコー,MRIを中心 に—.</p>	<p>持田勇一</p>	<p>運動器病態学</p>
<p>日本人工関節学会誌, 42: 735-736, 2012.</p>	<p>コーティングの有無による人工股関節置換術後早期 のカップ周囲X線変化の検討.</p>	<p>山田祐嗣</p>	<p>運動器病態学</p>

(小計 9件)

臨床スポーツ医学 29:209-215, 2012.	スポーツ整形外科術後リハビリテーション・プログラム 第17回[上肢のスポーツ損傷]反復性肩関節脱臼— 直視下法—.	山崎哲也	運動器病態学
臨床スポーツ医学 29: 277-283, 2012.	野球肘の診療をめぐって—競技復帰のための実戦 —。トップレベルアスリートの野球肘 内側障害に対 する手術的治療。	山崎哲也	運動器病態学
日本臨床スポーツ医学会 誌20(2): 230-232, 2012.	野球選手の肘後方インピンジメント障害に対する鏡 視下手術。	山崎哲也	運動器病態学
臨床整形外科, 47: 447- 52, 2012.	L5/S1椎間孔狭窄によるL5神経根症状の病態: L4/5脊柱管狭窄によるL5神経根症状と比較して。	山田勝崇	運動器病態学
J Cerebral Blood Flow Metab, 32:1317-1331, 2012.	Stem cell therapy for cerebral ischemia: from basic science to clinical applications.	Abe K	脳神経外科学
J Neurosurg Pediatrics, 10:126-129, 2012.	Primary cerebellar histiocytic sarcoma in a 17- month-old girl.	Gomi K	脳神経外科学
Neurology, 78:803- 810, 2012.	Homozygous c.1457G>A variant of RNF213 predicts early-onset and severe form of moyamoya disease.	Miyatake S	脳神経外科学
J Clin Neurosci, 19:769- 771, 2012.	Primary medulla oblongata germinoma in a male patient.	Shuto T	脳神経外科学
Clinical article. J Neurosurg, 117 Suppl: 135-143, 2012.	Proposed Mechanism for Cyst Formation and Enlargement Following Gamma Knife Surgery for Arteriovenous Malformation.	Shuto T	脳神経外科学

(合計9件)

Dev Neurobiol 72(12): 1528-40, 2012.	Localized Role of CRMP1 and CRMP2 in Neurite Outgrowth and Growth Cone Teering.	Higurashi M	脳神経外科学
J Neurooncol, 109:7-14, 2012.	Trans-membrane peptide therapy for malignant glioma by use of a peptide derived from the MDM2 binding site of p53.	Yamada S	脳神経外科学
Brain Nerve, 64(5):557-564, 2012.	家族性脳腫瘍の基礎と臨床.	菅野 洋	脳神経外科学
神内医ニュース連載シリーズ在宅医療, 69p9, 2012.	多死社会にどう取り組むか.	久保田毅	脳神経外科学
神奈川県医師会報, 755, p92-93, 2012.	救急医療崩壊と日本人の死生観.	久保田毅	脳神経外科学
神奈川県医師会報, 745, p4-6, 2012.	脳卒中地域連携パスに導入における平塚市医師会の取り組み.	久保田毅	脳神経外科学
神奈川県医師会報, 746, p42-44, 2012.	診療所における脳卒中地域連携パスの運用について.	久保田毅	脳神経外科学
定位的放射線治療, 16: 5-10, 2012.	脳動静脈奇形に対するガンマナイフ後に生じる嚢胞の増大機序について.	周藤 高	脳神経外科学
脳神経外科速報, 22: 664-669, 2012.	3D手術顕微鏡を用いた脳神経外科手術教育.	立石健祐	脳神経外科学

(小計 9件)

Geriatric Neurosurgery, 24:27-33, 2012.	高齢者中枢神経系原発悪性リンパ腫の治療成績と課題.	立石健祐	脳神経外科学
Brain Nursing, 12:20-22, 2012.	3次元脳神経外科手術の展望.	立石健祐	脳神経外科学
神経外傷, 34:70-79, 2012.	柔道による脳損傷の現状～最近27年間で110名以上の柔道死亡事故～.	野地雅人	脳神経外科学
体育活動中の事故防止に関する調査研究協力者会議(文部科学省:スポーツ・青少年局), 3, 2012.	柔道の授業の安全な実施に向けての手引き.	野地雅人	脳神経外科学
体育活動中の事故防止に関する調査研究協力者会議(文部科学省:スポーツ・青少年局), 3, 2012.	学校における体育活動中の事故防止について.	野地雅人	脳神経外科学
漢方と最新治療, 21:87-93, 2012.	乳癌治療合併症に対する漢方治療.	林 明宗	脳神経外科学
痛みと漢方, 22:48-51, 2012.	化学放射線治療に合併する重症放射線性皮膚炎の疼痛に対する紫雲膏の治療効果—副腎皮質ホルモン不応例に対して—.	林 明宗	脳神経外科学
脳神経外科と漢方, 20:98-100, 2012.	原因不明の背部痛に漢方治療が奏功した1例.	林 明宗	脳神経外科学
脳神経外科ジャーナル, 21(9):724-730, 2012.	Medial sphenoid wing meningiomaの手術-compartment formationに基づいた分類と手術の注意点について—.	宮原宏輔	脳神経外科学

(小計 9件)

医療, 66(10):542-545, 2012.	周囲動脈が癒着した石灰化脳腫瘍に対する ultrasonic micro-bone curette(超音波骨メス)を用いた摘出法について.	宮原宏輔	脳神経外科学
The Mt.Fuji Workshop On CVD, 30:81-83:, 2012.	Paraclinoid aneurysmのneck部位診断におけるCTAの有用性.	宮原宏輔	脳神経外科学
日本脊髄障害医学会誌, 25(1) 126-127, 2012.	筋層温存腰椎椎弓形成術.	村田英俊	脳神経外科学
J Craniofac Surg 23:e619-e621, 2012.	Radiation-induced fibrosarcoma after radiotherapy for osteosarcoma in the mandibular condyle.	Adachi M	口腔外科学
Oral Oncol, 48(12):1220-6. 2012.	Targeting STAT3 inhibits growth and enhances radiosensitivity in head and neck squamous cell carcinoma.	Adachi M	口腔外科学
Nature 487:114-118, 2012.	SIRT7 links H3K18 deacetylation to maintenance of oncogenic transformation.	Barber MF	口腔外科学
Int Immunopharmacol 14:658-664, 2012.	Prime role of bone IL-1 in mice may lie in emergency Ca (2+)-supply to soft tissues, not in bone-remodeling.	Deng X	口腔外科学
J. Physiol. Sci. 62:251-257, 2012.	Effect of ascorbic acid on reactive oxygen species production in chemotherapy and hyperthermia in prostate cancer cells.	Fukumura H	口腔外科学
Dentistry 2:e109. 2012	New strategies for perioperative nutrition control for patients with locally advanced oral cancer.	Hiraoka S	口腔外科学

(小計 9件)

Int J Oral Maxillofac Surg 41:1304-1309, 2012.	Hydroxyapatite coating for titanium fibre mesh scaffold enhances osteoblast activity and bone tissue formation.	Hirota M	口腔外科学
Br J Oral Maxillofac Surg 50:373-375, 2012.	Incidence of the occipital artery arising from the internal carotid artery identified by three-dimensional computed tomographic angiography.	Iwai T	口腔外科学
Br J Oral Maxillofac Surg 50:e41-42, 2012.	Use of in-house, full-colour printed three-dimensional model for training in endoscopic periradicular surgery for molar radicular cyst.	Iwai T	口腔外科学
Surg Radiol Anat 34:85-88, 2012.	Thyrolingual trunk arising from the common carotid artery identified by three-dimensional computed tomography angiography.	Iwai T	口腔外科学
J Oral Maxillofac Surg 70:1030-1034, 2012.	Endoscopic removal of bilateral supernumerary intranasal teeth.	Iwai T	口腔外科学
J Craniofac Surg 23:e295-e296, 2012.	Endoscopic removal of a maxillary third molar displaced into the maxillary sinus via the socket.	Iwai T	口腔外科学
J Craniofac Surg 23:1223-1224, 2012.	Role of 3-dimensional CT angiography for vascular assessment.	Iwai T	口腔外科学
Iran J Radiol 9:103-105, 2012.	Occipital artery arising from the anterior aspect of the internal carotid artery identified by three-dimensional computed tomography angiography.	Iwai T	口腔外科学
J Craniofac Surg 23:e507-e509, 2012.	¹⁸ F-Fluorodeoxyglucose-positive Warthin tumor in a contralateral cervical lymph node mimicking metastasis in tongue cancer staging with PET/CT.	Iwai T	口腔外科学

(小計 9件)

J Craniofac Surg 23:e374-376, 2012.	Warthin tumor arising from the minor salivary gland.	Iwai T	口腔外科学
J Craniofac Surg 23:1547-1549, 2012.	Endoscopic removal of throat-packing gauze swallowed during general anesthesia.	Iwai T	口腔外科学
J Craniofac Surg 23:1854-1855, 2012.	Le Fort I osteotomy under navigational guidance for posterior repositioning of the maxilla.	Iwai T	口腔外科学
Otolaryngology 2:e104. 2012 .	Secondary thyroid cancer after exposure to radioactive iodine from the Fukushima Daiichi nuclear power plant accident.	Katoh H	口腔外科学
J Cancer Sci Ther Special Issue 18, 2012.	Comprehensive Study of Oral Squamous Cell Carcinoma Patients Using Blood Samples and Gene Expression Profiles.	Kondoh N	口腔外科学
Aesthet Surg J 32:441-446, 2012.	Blepharoplasty in senile blepharoptosis: Preoperative measurements and design for skin excision.	Maegawa J	口腔外科学
Eur J Vasc Endovasc Surg 43:602-608, 2012.	Net effect of lymphaticovenous anastomosis on volume reduction of peripheral lymphoedema after complex decongestive physiotherapy.	Maegawa J	口腔外科学
Jnt J Radiat Oncol Biol Phys 83:e639-e645, 2012.	Thermochemoradiation therapy using superselective intra-arterial infusion via superficial temporal and occipital arteries for oral cancer with N3 cervical lymph node metastases.	Mitsudo K	口腔外科学
Thermal Med 28(2):23-28, 2012.	Thermochemoradiotherapy for Oral Cancer with N2,3 Cervical Lymph Node Metastases using Retrograde Superselective Intra-arterial Infusion.	Mitsudo K	口腔外科学

(小計 9件)

J Hard Tissue Biology 21:9-14, 2012.	Thin hydroxyapatite coating on porous beta-tricalcium phosphate (β -TCP) enhances osteoblast function activity.	Morden Y	口腔外科学
Head Neck 34:1634-1639, 2012.	Phase I study of weekly docetaxel and cisplatin infusion for recurrent head and neck cancer.	Nakamura T	口腔外科学
Cancer Immunol Immunother. 61:1081-92. 2012.	Potent Antitumor Effects of Combination Therapy With IFNs and Monocytes in Mouse Models of Established Human Ovarian and Melanoma Tumors.	Nakashima H	口腔外科学
Biomed Eng Online 11:65, 2012.	Analysis of carotid artery deformation in different head and neck positions for maxillofacial catheter navigation in advanced oral cancer treatment.	Ohya T	口腔外科学
Int J Oral Maxillofac Surg 41:949-951, 2012.	An accurate superior repositioning technique without intraoperative measurement in bimaxillary orthognathic surgery.	Omura S	口腔外科学
J Plast Reconstr Aesthet Surg 65:875-882, 2012.	Transzygomatic Kirchner wire fixation for the treatment of blowout fracture.	Yasumura K	口腔外科学
BMC Gastroenterol 12:16, 2012.	Involvement of a periodontal pathogen, Porphyromonas gingivalis on the pathogenesis of non-alcoholic fatty liver disease.	Yoneda M	口腔外科学
日本有病者歯科医療学会雑誌, 20, 2012.	長野赤十字病院口腔外科を受診したビスフォスフォネート製剤投与患者に関する臨床的検討.	飯田昌樹	口腔外科学
日口診誌21:19-21, 2012.	顎顔面骨折患者における気管チューブの臼後部固定法の経験.	岩井俊憲	口腔外科学

(小計 9件)

日口外誌58:110-122, 2012.	抜歯後疼痛に対するJNS013(トラマドール塩酸塩/アセトアミノフェン配合錠)の臨床評価-各配合成分の単独投与との二重盲検比較試験-	新谷 悟	口腔外科学
日本口腔診断学会雑誌 25(2):148-152, 2012.	歯肉出血をきたした先天性凝固第X因子欠乏症患者の1例.	竹尾朋子	口腔外科学
日口外誌58:371-375, 2012.	ビスフォスフォネートによる上顎骨壊死とメトトレキサート関連リンパ増殖性疾患の併発を疑った1例.	山下陽介	口腔外科学
Am J Transplant, 12(8): 2017-2028. 2012.	Antibody-mediated rejection of single class I MHC-disparate cardiac allografts.	Hattori Y	泌尿器科学
PLoS One. 7(10):e48186. Epub 2012 Nov 3, 2012.	Risk Factors for Metastatic Castration-Resistant Prostate Cancer (CRPC) Predict Long-Term Treatment with Docetaxel.	Kawahara T	泌尿器科学
Urol Res. 40(6):763-767, 2012.	Changing to a loop-type ureteral stent decreases patients' stent-related symptoms.	Kawahara T	泌尿器科学
Int J Urol. Sep;19(9):881-885, 2012.	Preoperative stenting for ureteroscopic lithotripsy for a large renal stone.	Kawahara T	泌尿器科学
Oncotarget, 3(11):1455-71, 2012.	Identification of miR-30d as a novel prognostic maker of prostate cancer.	Kobayashi N	泌尿器科学
Int J Urol, 19:829-835, 2012.	Development of a patient-specific simulator for laparoscopic renal surgery.	Makiyama K	泌尿器科学

(小計 9件)

Urology, 80:1375-1378, 2012.	Laparoscopic Nephroureterectomy in Renal Pelvic Urothelial Carcinoma With Situs Inversus Totalis: Preoperative Training Using a Patient-specific Simulator.	Makiyama K	泌尿器科学
Japanese Journal of Clinical Oncology, 42(9):813-819, 2012.	A 2-week Maintenance Regimen of Intravesical Instillation of Bacillus Calmette-Guerin is safe, Adherent and Effective in Patients with Non-Muscle-invasive Bladder Cancer: A Prospective, Multicenter Phase II Clinical Trial.	Matsumoto K	泌尿器科学
Int J Urol., 2012 Nov 27. doi: 10.1111/iju.12012. [Epub ahead of print]	Presurgical downstaging of vena caval tumor thrombus in advanced clear cell renal cell carcinoma using temsirolimus.	Sano F	泌尿器科学
Proc Natl Acad Sci U S A, 109(42):16934-8, 2012.	Testis tissue explantation cures spermatogenic failure in c-Kit ligand mutant mice.	Sato T	泌尿器科学
Prostate, 72(14):1559-72, 2012.	Therapeutic targeting of angiotensin II receptor type 1 to regulate androgen receptor in prostate cancer.	Takahashi S	泌尿器科学
Int J Urology, 19:379-381, 2012.	Answer by Dr. Uemura to case 2 discussion: Castration-resistant prostate cancer.	Uemura H	泌尿器科学
日本臨床, 70(9):1530-1534, 2012.	癌とレニン-アンジオテンシン系.	上村博司	泌尿器科学
情報処理学会論文誌, 53:421-431, 2012.	患者固有の形状データに基づく手術手技訓練用シミュレータ.	緒方正人	泌尿器科学
血圧, 19:647-651, 2012.	維持透析患者に対して術中血液濾過透析を施行した腹腔鏡下褐色細胞腫摘出術の1例.	大竹慎二	泌尿器科学

(小計 9件)

日本臨床, 70 (9):1604-1612, 2012.	前立腺がん-前立腺がんのRASとARBの効果-	窪田吉信	泌尿器科学
泌尿器外科, 25(9):1831-1835, 2012.	泌尿器外科治療におけるDダイマー測定と下肢静脈超音波検査による深部静脈血栓 (DVT) の術前スクリーニング.	佐野 太	泌尿器科学
泌尿器外科, 25(10):2043-2046, 2012.	特発性副腎血腫の1例.	坂田綾子	泌尿器科学
泌尿紀要, 58(3):149-153, 2012.	後腹膜血腫を契機に発見された副腎皮質癌の1例.	坂田綾子	泌尿器科学
日泌雑誌, 103(1):8-13, 2012.	腹腔鏡下腎部分切除術における局所止血材の検討 Microporous Polysaccharide Hemispheres(MPH)と フィブリン糊の臨床的比較.	坂田綾子	泌尿器科学
Jpn J Endourol, 25:84-88, 2012.	患者特異的腹腔鏡手術シミュレータ.	槇山和秀	泌尿器科学
泌尿器外科, 25:923-925, 2012.	腹腔鏡手術:明日を開く匠たちの創意工夫.腹腔鏡 下膀胱全摘除術.	槇山和秀	泌尿器科学
腹腔鏡下腎部分切除術, 泌尿器外科, 25:1031-1033, 2012.	早期腎癌に対する最新の診断と治療.	槇山和秀	泌尿器科学
Eur J Ophthalmol 22(3):495-498, 2012.	Cyclooxygenase inhibitor improved an exudative lesion of choroidal neovascularization in age-related macular degeneration.	Suzuki M	眼科学

(小計 9件)

Cornea 31(5): 514-519, 2012.	Thermocautery for Inferior Conjunctivochalasis.	Nakasato S	眼科学
Rheumatology 51(6): 983-986, 2012.	Replication of a microsatellite genome-wide association study of Behcet disease in a Korean population.	Horie Y	眼科学
Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2012 Jan 22. [Epub ahead of print]	Factors associated with enlargement of chorioretinal atrophy after intravitreal bevacizumab for myopic choroidal neovascularization.	Uemoto R	眼科学
Arch Ophthalmol 130(5); 592-598, 2012.	Multicenter study 1 of infliximab for refractory uveoretinitis in Behcet's disease.	Annabelle A	眼科学
Arch Ophthalmol 130(5): 592-598, 2012.	Multicenter study of infliximab for refractory uveoretinitis in Behcet disease.	Okada AA	眼科学
Br J Ophthalmol. 96(8): 1058-1062, 2012.	Immediate removal of posteriorly dislocated lens fragments through sclerocorneal incision during cataract surgery.	Nakasato H	眼科学
Jpn J Ophthalmol. 56(4): 383-389, 2012.	Japanese Intraocular Lymphoma Study Group. Clinical features and diagnostic significance of the intraocular fluid of 217 patients with intraocular lymphoma.	Kimura K	眼科学
Rheumatology 51(6):983-986, 2012.	Replication of a microsatellite genome-wide association study of Behc, et's disease in a Korean population.	Horie Y	眼科学
PLoS Genet 2012, in press.	Genetic variants on chromosome 1q41 influence ocular axial length and high myopia.	Fan Q	眼科学

(小計 9件)

PLoS ONE 2012, in press.	Common variants in the COL4A4 gene confer susceptibility to lattice degeneration of the retina.	Meguro A.	眼科学
Ocul Immunol Inflamm. 20(3): 193-197, 2012.	Infliximab monotherapy versus infliximab and colchicine combination therapy in patients with Behçet's disease.	Takeuchi M	眼科学
Br J Ophthalmol. 2012 [Epub ahead of print]	Immediate removal of posteriorly dislocated lens fragments through sclerocorneal incision during cataract surgery.	Nakasato H	眼科学
Invest Ophthalmol Vis Sci 53(11): 109-115, 2012.	Genetic characterization and susceptibility for sarcoidosis in Japanese patients: Risk factors of BTNL2 gene polymorphisms and HLA class II alleles.	Suzuki H	眼科学
Jpn J Ophthalmol 2012, in press.	Acute retinal necrosis: factors associated with anatomic and visual outcomes.	Iwahashi-Shima C	眼科学
Nature Genet 2012, in press.	Genome-wide imputation identifies new susceptibility loci in Behçet's disease, epistasis between HLA-B*51 and ERAP1, and shared pathogenic pathways with seronegative spondyloarthritides.	Kirino Y	眼科学
Ann Rheum Dis 2012, Oct 6. [Epub ahead of print]	Genome-wide association study identifies GIMAP as a novel susceptibility locus for Behçet's disease.	Lee YJ	眼科学
Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2012 Dec 22.	Modification of Swan-Jacobs lens for iridocorneal angle surgery.	Nakasato-Sonn H	眼科学
Br J Ophthalmol. 2013 Feb;97(2):234-5.	Authors' response: immediate removal of posteriorly dislocated lens fragments through sclerocorneal incision during cataract surgery.	Nakasato H	眼科学

(合計9件)

Br J Ophthalmol. 2012 Nov 30.	Staining internal limiting membrane with a mixture of BBG and sodium hyaluronate.	Uemoto R	眼科学
2012 Nov;31(11):1339-41.	Treatment of pterygium by ligation and bevacizumab injection. Cornea.	Nakasato H	眼科学
Br J Ophthalmol. 2012 Aug;96(8):1058-62.	Immediate removal of posteriorly dislocated lens fragments through sclerocorneal incision during cataract surgery.	Nakasato H	眼科学
Cornea. 2012 May;31(5):514-9.	Thermocautery for inferior conjunctivochalasis.	Nakasato S	眼科学
Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2012 Jul;250(7):989-97.	Factors associated with enlargement of chorioretinal atrophy after intravitreal bevacizumab for myopic choroidal neovascularization.	Uemoto R	眼科学
Submitted.	Analysis of microsatellite polymorphisms around the myocilin gene in the Japanese patients with normal-tension glaucoma.	Hasumi Y	眼科学
あたらしい眼科29(2): 235-238, 2012.	眼科受診を契機に診断に至った間質性腎炎ぶどう膜炎症候群の1例。	竹内正樹	眼科学
眼科印刷中.	第64回日本臨床眼科学会印象記、「シンポジウム4、炎症性眼疾患検査・診断法の新たな展開」	水木信久	眼科学
眼科 54(4): 541-543, 2012.	第65回日本臨床眼科学会印象記「ぶどう膜炎の診断1」.	水木信久	眼科学

(小計 9件)

巻頭言. 日眼会誌 166(6): 2012	HLAと薬剤副作用の個人差.	水木信久	眼科学
日眼会誌 116(7): 2012.	第116回日本眼科学会総会、学会トピックス、「眼炎症疾患メカニズムの最前線」.	水木信久	眼科学
臨床眼科 66(5): 713-718, 2012.	横浜市立大学附属病院における近年のぶどう膜炎の疫学的検討(2009~2011年).	渋谷悦子	眼科学
日眼会誌 116(7): 666-667, 2012.	第116回日本眼科学会総会、学会トピックス、レチノイドによる眼炎症疾患の制御.	水木信久	眼科学
日コレ会誌 54: 76-77, 2012.	CLAO印象記.	濱野孝	眼科学
日コレ会誌 54: 84-89, 2012.	分子インプリンティング法を用いた薬物徐放性シリコーンハイドロゲルの開発.	平谷治之	眼科学
シンポジウム「眼サルコイドーシス国際診断基準」 日サ会誌.32:65-67,2012.	眼サルコイドーシス国際診断基準—眼科医による眼所見からのサルコイドーシスの診断.	石原麻美	眼科学
臨眼65 :713-718,2012.	横浜市立大学付属病院における近年のぶどう膜炎の疫学的検討(2009~2011年).	渋谷悦子	眼科学
臨眼66(5) :713-718, 2012.	横浜市立大学付属病院における近年のぶどう膜炎の疫学的検討(2009-2011).	渋谷悦子	眼科学

(小計 9件)

漢方と最新治療, 21(4), 329-333, 2012, 11月.	小柴胡湯の眼循環動態に及ぼす効果の検討.	山田利津子	眼科学
Jpn J Ophthalmol 57(1): 98-103, 2013	Acute retinal necrosis: factors associated with anatomic and visual outcomes.	Mizuki N	眼科学
Nature Genet 45(2): 202-207, 2013	Genome-wide imputation identifies new susceptibility loci in Behçet's disease, epistasis between HLA-B*51 and ERAP1, and shared pathogenic pathways with seronegative spondyloarthritides.	Mizuki N	眼科学
Br J Ophthalmol. 2012 Nov 30. [Epub ahead of print]	Staining internal limiting membrane with a mixture of BBG and sodium hyaluronate.	Uemoto R	眼科学
Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2012 Dec 22. [Epub ahead of print]	Modification of Swan-Jacobs lens for iridocorneal angle surgery.	Nakasato-Sonn H	眼科学
Ocul Immunol Inflamm. 2012 Dec 19. [Epub ahead of print]	A Case of Corneal Endotheliitis with Mumps Virus RNA in Aqueous Humor Detected by RT-PCR.	Mizuki N	眼科学
Ann Rheum Dis 2012, Oct 6. [Epub ahead of print]	Genome-wide association study identifies GIMAP as a novel susceptibility locus for Behçet's disease.	Mizuki N	眼科学
Eur Arch torhinolaryngol.269:1671 -6,2012.	Evaluation of nodal response after intra-arterial chemoradiation for node-positive head and neck cancer.	Sakashita T	耳鼻咽喉科学
Int J Clin Oncol.17:441- 6, 2012 .	Combined modality therapy for laryngeal cancer with superselective intra-arterial cisplatin infusion and concomitant radiotherapy.	Taki S	耳鼻咽喉科学

(小計 9件)

Int J Otolaryngol. 2012:908154, 2012.	Endoscopic laryngeal findings in Japanese patients with laryngopharyngeal reflux symptoms.	Oridate N	耳鼻咽喉科学
Otolaryngol Head Neck Surg 146: 119-121, 2012.	Otolaryngologic Manifestations of Antineutrophil Cytoplasmic Antibody-Associated Vasculitis.	Nakamaru Y	耳鼻咽喉科学
Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol. 303: G42-53, 2012	Impaired ghrelin signaling is associated with gastrointestinal dysmotility in rats with gastroesophageal reflux disease.	Nahata M	耳鼻咽喉科学
Acta Otolaryngol. 132:1121-5, 2012	Platinum concentration in sentinel lymph nodes after preoperative intra-arterial cisplatin chemotherapy targeting primary tongue cancer.	Sakashita T	耳鼻咽喉科学
Ann Otol Rhinol Laryngol. 121:419-25, 2012.	Alpha-defensin overexpression in patients with Bell's palsy and Ramsay Hunt syndrome.	Furuta Y	耳鼻咽喉科学
Auris Nasus Larynx. [Epub ahead of print], 2012	Regional control after concomitant chemoradiotherapy without planned neck dissection in node-positive head and neck squamous cell carcinomas.	Sakashita T	耳鼻咽喉科学
Int J Clin Oncol. [Epub ahead of print], 2012	Improved survival of Japanese patients with human papillomavirus-positive oropharyngeal squamous cell carcinoma.	Mizumachi T	耳鼻咽喉科学
Roelofs, Intech, Mar.	Video-Telemedicine with Reliable Color Based on Multispectral Technology, Advances in Telemedicine: Technologies, Enabling Factors and Scenarios, Edited by: Georgi Grasczew and Theo A.	Masahiro Yamaguchi	耳鼻咽喉科学
Auton Neurosci. 169(1):49-55, 2012.	Increased total volume and dopamine -hydroxylase immunoreactivity of carotid body in spontaneously hypertensive rats.	Kato K	耳鼻咽喉科学

(小計 9件)

Anticancer Res 2012;32(2):595-600.	Treatment evaluation of metastatic lymph nodes after concurrent chemoradiotherapy in patients with head and neck squamous cell carcinoma.	Nishimura G	耳鼻咽喉科学
Anticancer Res. 2012 Feb;32(2):681-6.	Comparison of concurrent chemoradiotherapy versus induction chemotherapy followed by radiation in patients with nasopharyngeal carcinoma.	Komatsu M	耳鼻咽喉科学
Eur Arch Otorhinolaryngol, 269: 1503-1507, 2012.	Diagnostic sensitivity of (18)fluorodeoxyglucose positron emission tomography for detecting synchronous multiple primary cancers in head and neck cancer patients.	Kondo N	耳鼻咽喉科学
Int J Oncol, 40:1805-12, 2012.	Combined molecular targeted drug therapy for EGFR and HER-2 in head and neck squamous cell carcinoma cell lines.	Kondo N	耳鼻咽喉科学
Anticancer Res, 32:1697-1704, 2012.	15 years of experience.	Kondo N	耳鼻咽喉科学
Head Neck. 2012 Feb 24. [Epub ahead of print]	Early postoperative epidermal growth factor receptor inhibition: Safety and effectiveness in inhibiting microscopic residual of oral squamous cell carcinoma in vivo.	Sano D	耳鼻咽喉科学
ACS Nano. 2012 Mar 27;6(3):2497-505	Non-Covalent Assembly of Targeted Carbon Nanovectors Enables Synergistic Drug and Radiation Cancer Therapy In Vivo.	Sano D	耳鼻咽喉科学
Eur Arch Otorhinolaryngol. Epub 2012 Jun 22.	Limitations of PET and PET/CT in detecting upper gastrointestinal synchronous cancer in patients with head and neck carcinoma.	Yabuki K	耳鼻咽喉科学
日本気管食道科学会 報63: 211-215, 2012.	PPIテストの再考 PPIテストはLPRDの診断に役立つのか? 咽喉頭酸逆流症の診断におけるPPIテストの感度と特異度.	中村 一博	耳鼻咽喉科学

(小計 9件)

医療薬学38: 51-55, 2012.	オピオイドによる難治性の嘔気とめまいに対してヒスタミンH1受容体拮抗薬とペロスピロンの併用が有効であった2症例.	長田 貴之	耳鼻咽喉科学
日本気管食道科学会 報63: 331-336, 2012.	照射後の異時重複下咽頭癌に対するESD後に反復感染をきたし喉頭全摘に至った1症例.	加納 里志	耳鼻咽喉科学
嚥下医学1: 359-363, 2012.	頭頸部癌化学放射線療法における経管栄養の役割に関する検討.	倉本 倫之介	耳鼻咽喉科学
耳鼻と臨床58: S52- S56, 2012.	切除可能T3、T4上顎洞扁平上皮癌における手術の位置付け 当院における治療戦略.	本間 明宏	耳鼻咽喉科学
小児耳鼻咽喉科, 33(1): 1-5, 2012.	外耳道前壁に出現した先天性中耳真珠腫の一例.	小河原 昇	耳鼻咽喉科学
医学教育, 43(1): 27- 31, 2012	e-Learningを用いた院内緩和ケア教育.	川崎彩子	耳鼻咽喉科学
日鼻誌, 51(1):41-44, 2012.	好酸球性副鼻腔炎における診断基準の論点.	石戸谷淳一	耳鼻咽喉科学
日鼻誌, 51(1):40, 2012.	全国12施設(3014例)の副鼻腔手術から解析した好酸球性副鼻腔炎の術前診断.	坂下 雅文	耳鼻咽喉科学
痛みと漢方, 22: 48-51, 2012.	抗がん剤・放射線同時併用療法に合併する重症放射線皮膚炎の疼痛に対する紫雲膏の治療効果—副腎皮質ホルモン不応例に対して.	林 明宗	耳鼻咽喉科学

(小計 9件)

頭頸部外科, 22(2): 233-240, 2012.	化学放射線療法後の頸部郭清に関する検討ーfeasibility studyー.	花井信宏	耳鼻咽喉科学
国士舘大学体育研究所報 30:57-59, 2012.	低酸素暴露動物および高血圧動物における気道粘膜の動態.	磯中理沙	耳鼻咽喉科学
耳鼻臨床, 105(6):513-520, 2012.	難治性突発性難聴に対する鼓室内ステロイド併用療法の治療効果について.	河野敏朗	耳鼻咽喉科学
喉頭, 24(2): 59-64, 2012.	喉頭扁平上皮癌に対する化学放射線療法(全身化学療法).	田口享秀	耳鼻咽喉科学
小児耳, 33(3):281-287, 2012.	当科におけるPFAPA症候群の検討.	井上真規	耳鼻咽喉科学
耳鼻臨床, 105:841-846, 2012.	顔面神経麻痺を契機に発見された小児急性骨髄性白血病例.	生駒 亮	耳鼻咽喉科学
新薬と臨床, 61:1465-1468, 2012.	扁桃周囲炎に対するdoripenemの臨床的検討.	生駒 亮	耳鼻咽喉科学
耳鼻と臨床, 58(3)101-107, 2012.	頭頸部癌再発症例に対する化学療法について.	小松 正規	耳鼻咽喉科学
耳鼻咽喉科展望, 55(3): 161-171, 2012.	アンギオテンシン変換酵素阻害薬により誘発された喉頭血管性浮腫の1例.	藤田芳史	耳鼻咽喉科学

(計9件)

耳鼻咽喉科臨床, 105(10):957-961, 2012.	上顎洞癌に対する多剤併用選択的動注療法+放射線療法の検討.	藤田芳史	耳鼻咽喉科学
耳鼻と臨床, 58(6):278-274, 2012	原発性副甲状腺機能亢進症を呈した甲状腺内副甲状腺腫の1例.	藤田芳史	耳鼻咽喉科学
耳鼻臨床, 106(5):409-416, 2013	市中病院における小児急性中耳炎鼓膜切開症例の検討 .	玉木 望	耳鼻咽喉科学
Journal of Microwave Surgery, 30:253-257, 2012.	Therapeutic outcomes and postoperative courses in microwave endometrial ablation for menorrhagia.	Ishikawa M	産婦人科学
Placenta, 33(9), A111, 2012.	Influence of laminaria tent insertion for premature rupture of membranes at term on chorioamnionitis.	Kurasawa K	産婦人科学
Int Canc Conf J , 1(2): 83-87, 2012.	Serum KL-6 for diagnosis of ovarian carcinoma associated with dermatomyositis: two case reports and characteristic clinicopathological factors.	Mogami T	産婦人科学
Cancer Biol Ther, 13(8): 671-680, 2012.	Impaired CXCL4 expression in tumor-associated macrophages (TAMs) of ovarian cancers arising in endometriosis.	Furuya M	産婦人科学
Oncology, 83(2): 67-74, 2012.	The role of radiation therapy for uterine cervical cancer with distant metastasis.	Hata M	産婦人科学
Anticancer Res, 32(8): 3315-3320, 2012.	Definitive radiation therapy for extramammary Paget's disease.	Hata M	産婦人科学

(小計 9件)

Nucleic Acids Res, 40(12):5389-5401, 2012.	HIF2 α -Sp1 interaction mediates a deacetylation-dependent FVII-gene activation under hypoxic conditions in ovarian cancer cells.	Koizume S	産婦人科学
Congenit Anom, 52(2): 78-81, 2012.	Spastic quadriplegia in Down syndrome with congenital duodenal stenosis/atresia.	Kurosawa K	産婦人科学
PLoS One, 2012;7(7):e41007. doi: 10.1371/journal.pone.0041007. Epub 2012 Jul 18.	Development of an all-in-one inducible lentiviral vector for gene specific analysis of reprogramming.	Yamaguchi T	産婦人科学
Acta Cytologica, 56: 233-241, 2012.	New terminology for Intrauterine Endometrial Samples: A Group Study by the Japanese Society of Clinical Cytology.	Yanoh K	産婦人科学
日医雑誌, 141:345-347, 2012.	母体保護法をめぐる法的問題について.	白須和裕	産婦人科学
神奈川県産科婦人科学会誌, 15:14-15, 2012.	当院におけるセミオープンおよび緊急時カルテシステムについて.	茂田博行	産婦人科学
日本産科婦人科学会神奈川県地方部会誌, 49(1):22, 2012.	PWG(神奈川県総合周産期センター連絡会)開催報告.	石川浩史	産婦人科学
産婦人科の実際, 61(11):1761-1769, 2012.	HPVワクチン.	宮城悦子	産婦人科学
日本産科婦人科学会神奈川県地方部会誌, 49(1):10-13, 2012.	平成22年度神奈川県産科婦人科医会婦人科悪性腫瘍登録集計報告.	杉浦 賢	産婦人科学

(小計 9件)

Osteoporosis Japan, 20(2):171-172, 2012.	骨代謝マーカーの最小有意変化(MSC)について.	茶木 修	産婦人科学
産婦人科の実際, 61(10):1533-1538, 2012.	周産期三次施設における分娩時産科危機的出血の 検討.	奥田美加	産婦人科学
日本遺伝カウンセリング 学会誌, 33(3):151-154, 2012.	第36回日本遺伝カウンセリング学会学術集会シンポ ジウム1 全国遺伝子医療部門連絡会議報告・出生 前診断.	奥田美加	産婦人科学
産婦人科の実際, 61(13):2145-2148, 2012.	当院における予防的頸管縫縮術58例の検討.	青木 茂	産婦人科学
日本周産期・新生児医学 会雑誌, 48:708-711, 2012.	妊娠初期に絨毛膜瘤を呈し19週で流産となった一 例.	斎藤圭介	産婦人科学
小田原医師会報「やまび こ」, 107:9-12, 2012.	《特集:小田原の震災対策について》災害医療と産婦 人科支援(東日本大震災を通して).	佐治晴哉	産婦人科学
社団法人全国国民健康 保険診療施設協議会報 “東日本大震災・長野地 震と国保直診・国診協”, 3:89-93, 2012.	《全国の国保直診の人的支援活動報告》産婦人科医 療と災害—東日本大震災に学ぶ—.	佐治晴哉	産婦人科学
SERM: Selective Estrogen Receptor Modulator, 10:58-59, 2012.	SERM使用時の骨密度、骨代謝マーカーの変動(治 験群と実臨床との相違から).	野村可之	産婦人科学
日本臨床細胞学会神奈 川県支部会誌, 17:29- 34, 2012.	若年の腫瘍発明細胞腺癌の2例.	丸山康世	産婦人科学

(小計 9件)

関東連合産科婦人科学会誌, 49(4):579-587, 2012.	腹腔鏡下逆行性子宮全摘手術6例の経験.	片山佳代	産婦人科学
神奈川産科婦人科学会誌49(2): 115-117, 2012.	初回手術後4年で肺転移を来たした卵巣粘液性境界悪性腫瘍の1例.	元木葉子	産婦人科学
Osteoporosis Japan, 20(3):118-123, 2012.	閉経前後および未治療骨粗鬆症患者の骨代謝状態の検討.	吉崎敦雄	産婦人科学
関東連合産科婦人科学会誌, 49(4):601-608, 2012.	妊娠中に発症し化学療法を行った急性白血病合併妊娠の二例.	北川雅一	産婦人科学
日本婦人科腫瘍学会雑誌, 30, 527-533, 2012.	子宮脂肪平滑筋腫3症例の検討.	川野藍子	産婦人科学
関東連合産科婦人科学会誌, 49(4):609-613, 2012.	子宮頸部大細胞神経内分泌癌の1例.	川野藍子	産婦人科学
関東連合産科婦人科学会誌, 49(4):549-554, 2012.	CTGにて“sinusoidal pattern”を認めた新生児消化管出血の1例～MCA-PSVのピットフォール～.	高見美緒	産婦人科学
日本周産期・新生児医学会雑誌, 48(1):65-70, 2012.	炎症性腸疾患合併妊娠の臨床的検討.	小畑聡一郎	産婦人科学
関東連合産科婦人科学会誌, 49(4):555-559, 2012.	帝王切開時に発見され悪性腫瘍との鑑別が困難であった卵巣脱落膜変化の一例.	佐藤玲南	産婦人科学

(小計 9件)

関東連合産科婦人科学会誌, 49(4):567-572, 2012.	腸管子宮内膜症3症例の臨床的検討.	佐藤玲南	産婦人科学
Osteoporosis Jpn, 20(3):125-128, 2012.	妊娠後骨粗鬆症に対して産後にエルデカルシトールを使用した症例.	鈴木幸雄	産婦人科学
関東連合産科婦人科学会誌, 49(4):573-577, 2012.	妊娠中に他剤耐性緑膿菌(MDRP)による腎盂腎炎を発症した一例.	平田 豪	産婦人科学
関東連合産科婦人科学会誌, 49(4):615-620, 2012.	先天梅毒の一例.	上西園幸子	産婦人科学
日本産科婦人科学会神奈川地方部会誌, 49(1):14-17, 2012.	汎発性腹膜炎から多臓器不全に至った子宮内膜症合併卵管留膿症の1例.	尾崎優美	産婦人科学
Osteoporosis Japan, 20(3):514-516, 2012.	妊娠初期の骨密度とライフスタイル, 栄養摂取状態についての検討-SKY Study (Saitama, Kobe, Yokohama Pregnant Cohort Study) 第1報-.	善方裕美	産婦人科学
日本内分泌学会雑誌, 88(1):366, 2012.	妊娠期の骨密度と栄養摂取状態についての検討~SKY study (Saitama, Kobe, Yokohama pregnant cohort study) より~.	善方裕美	産婦人科学
日本産科婦人科学会神奈川地方部会誌, 49(1):2-3, 2012.	骨盤内肉腫瘍を形成し, 婦人科疾患との鑑別に苦慮した悪性リンパ腫の1症例.	蘇原慧美	産婦人科学
関東連合産科婦人科学会誌, 50(1)	特集 総論:周産期救急.	倉澤健太郎	産婦人科学

(小計 9件)

関東連合産科婦人科学 会誌,50(1)	Compression suture 施行後,腹腔鏡下で子宮圧迫縫 合糸を抜糸し子宮を温存し得た1症例.	橋田 修	産婦人科学
関東連合産科婦人科学 会誌,50(1)	一絨毛膜二羊膜双胎におけるearly second trimester の超音波検査所見と周産期予後に関する検討.	齊藤 真	産婦人科学
関東連合産科婦人科学 会誌,50(1)	初産婦における母体年齢と妊娠予後の検討—高年 初産の定義は見直すべきか—.	永井康一	産婦人科学
関東連合産科婦人科学 会誌,50(1)	治療的子宮頸管縫縮術の適応と患者自覚症状とが, 縫縮術後妊娠 outcomeに及ぼす影響.	大沼えみ	産婦人科学
関東連合産科婦人科学 会誌,50(1)	卵巣腫瘍との鑑別が困難であった腸間膜囊腫の一 例.	石井茉衣	産婦人科学
日本婦人科腫瘍学会雑 誌, 31(1)	悪性転化を伴った未熟奇形腫の一例.	松永竜也	産婦人科学
日本婦人腫瘍学会誌, 31(1): 62-67, 2012.	悪性転化を伴った未熟奇形腫の1例.	松永竜也	産婦人科学
Anesth Analg, 115:805 —813, 2012.	Day or night administration of ketamine and pentobarbital differentially affect circadian rhythms of pineal melatonin secretion and locomotor activity in rats.	Mihara T	麻酔科学
Brain Res, 1435:1—7, 2012.	Developmental AMPA receptor subunit specificity during experience-driven synaptic plasticity in the rat barrel cortex.	Miyazaki T	麻酔科学

(小計 9件)

J Anesth, 26:160-167, 2012.	Changes of motor evoked potentials during descending thoracic and thoracoabdominal aortic surgery with deep hypothermic circulatory arrest.	Shinzawa M	麻醉科学
J Cardiothorac Vasc Anesth, 26:e18-e19, 2012.	The occurrence of injury and black denaturalization of the lips, tongue, and pharynx because of phtharal use for disinfection of transesophageal echocardiographic equipment and establishment of a safe disinfection method.	Irie T	麻醉科学
J Craniofac Surg, 23: 1547-1549, 2012.	Endoscopic removal of throat-packing gauze swallowed during general anesthesia.	Iwai T	麻醉科学
ペインクリニック, 33:581-584, 2012.	硬膜外膿瘍の治療中に肺炎と薬疹を続発し治療に難渋した1症例.	石井香越里	麻醉科学
ペインクリニック, 33: 1273-1276, 2012.	脊椎病変を有したため仙骨骨折の診断に難渋した2症例.	岡田律子	麻醉科学
麻醉, 61:189-192, 2012.	腹臥位・頸部前屈位で施行した頸髄腫瘍摘出後に進行性に悪化し遷延した咽喉頭浮腫の1症例.	伊藤純子	麻醉科学
麻醉, 61:326-328, 2012.	くも膜下出血を機に大動脈縮窄症が発見された若年者の開頭クリッピング術の麻醉経験.	米川 裕子	麻醉科学
麻醉, 61:1112-1116, 2012.	肺高血圧を合併した先天性心疾患根治術の人工心肺離脱困難時にバソプレシン投与が著効を示した2症例.	長嶺祐介	麻醉科学
臨床麻醉, 36:791-792, 2012.	進行性核上性麻痺を合併した胃癌患者の麻醉経験.	高橋紗緒梨	麻醉科学

(小計 9件)

Anesth Analg, 116:609-12, 2013.	The Taper Guard endotracheal tube intracuff pressure increase is less than that of the Hi-Lo tube during nitrous oxide exposure: a model trachea study.	Tsuboi S	麻酔科学
Emerg Med J. 2012 Nov 26. [Epub ahead of print] PMID:23184925.	Emergency/disaster medical support in the restoration project for the Fukushima nuclear power plant accident.	Morimura N	救急医学
Acad Emerg Med. 2012;19:782-92.	a population-based prospective observational study.	Nakahara S	救急医学
Anesthesia and analgesia, 114: s201, 2012.	A simulation study of unintentional catecholamine flush due to inappropriate release of an intravenous line occlusion using syringe pump in intensive care unit.	Kariya T	救急医学
日本集団災害医学学会誌 2012;17:372-376.	わが国におけるイベント開催時の医療救護派遣の実態について.	林 靖之	救急医学
日本救急医学会雑誌 2012;23:295-303.	PDCA cycleの手法を用いたSTART法訓練の検証.	中島 康	救急医学
日本医事新報, 4596: 25-29, 2012.	クリニックでの心肺蘇生法CLS(Clinic Life Support)の取り組み.	三谷和彦	救急医学
Emerg Med J. 2012 Nov 26. [Epub ahead of print] PMID:23184925.	Emergency/disaster medical support in the restoration project for the Fukushima nuclear power plant accident.	Morimura N	救急医学・救急部
Acad Emerg Med. 2012;19:782-92.	a population-based prospective observational study.	Nakahara S	救急医学・救急部

(小計 9件)

Anesthesia and analgesia, 114: s201, 2012.	A simulation study of unintentional catecholamine flush due to inappropriate release of an intravenous line occlusion using syringe pump in intensive care unit.	Kariya T	救急医学・救急部
日本集団災害医学会誌 2012;17:372-376.	わが国におけるイベント開催時の医療救護派遣の実態について.	林 靖之	救急医学・救急部
日本救急医学会雑誌 2012;23:295-303.	PDCA cycleの手法を用いたSTART法訓練の検証.	中島 康	救急医学・救急部
日本医事新報, 4596: 25-29, 2012.	クリニックでの心肺蘇生法CLS(Clinic Life Support)の取り組み.	三谷和彦	救急医学・救急部
日本救急医学会関東地方会雑誌 2012 Vol.33 178-180	病歴聴取と救急部内情報共有が決定的な診断の決め手となった間欠型一酸化炭素中毒(CO)中毒の2症例.	松森響子	救急医学・救急部
J Vasc Surg,55(3):753-60, 2012.	Outcomes of lymphaticovenous side-to-end anastomosis in peripheral lymphedema.	Maegawa J	形成外科学
Aesthet Surg J, 32(4):441-6, 2012.	Blepharoplasty in senile blepharoptosis: preoperative measurements and design for skin excision.	Maegawa J	形成外科学
Eur J Vasc Endovasc Surg, 43:602-608,2012.	Net Effect of Lymphaticovenous Anastomosis on Volume Reduction of Peripheral Lymphoedema after Complex Decongestive Physiotherapy.	Maegawa J	形成外科学
The Cleft Palate-Craniofacial J. Vol. 49, No. 6, pp. e69-e74, 2012.	Functional reconstruction of epignathus with cleft palate using part of a mature teratoma.	Kobayashi S	形成外科学

(小計 9件)

6(10): e26393. doi:10.1371, 2012.	Presence of cartilage stem/progenitor cells in adult mice auricular perichondrium PLoS ONE.	Kobayashi S	形成外科学
J of Craniofacial Surgery 23(2):422-425, 2012.	A novel craniofacial osteogenesis distraction system enabling control of distraction distance and vector for the treatment of syndromic craniosynostosis.	Kobayashi S	形成外科学
BMC Ophthalmology, 12 (June), 2012.	Subacute phase treatment of subperiosteal hematoma of the orbit with epidural hematoma in the frontal cranial fossa.	Mikami T	形成外科学
J Plast Reconstr Aesthet Surg, 65(7):875-82, 2012.	Transzygomatic Kirschner wire fixation for the treatment of blowout fracture.	Yasumura K	形成外科学
Proceedings of the 3rd Asia-Oseanian Conference of Physical Rehabilitation and Medicine, 3:85-90, 2012.	The relationship with age and Japanese independent daily life scale, modified Rankin Scale, NIHSS, ADL in stroke survivors: Analysis from JARM Data Base.	Kikuchi N	リハビリテーション科学
Proceedings of the 3rd Asia-Oseanian Conference of Physical Rehabilitation and Medicine, 3:91-96, 2012.	The rehabilitative approaches for the respirator-dependent seriously disabled children: preparation for the first discharge to home from neonatal or paediatric intensive care unit.	Kikuchi N	リハビリテーション科学
American Journal of Physical Medicine and Rehabilitation, 2012 Jan 17 [Epub ahead of print].	Complete Paraplegia Resulting from Surfer's Myelopathy.	Takakura T	リハビリテーション科学
JMAJ55(3):246- 252, 2012.	Rehabilitation medicine in the acute care setting in Japan.	Mizuochi K	リハビリテーション科学
リハビリテーション研 究, 150:31-34, 2012.	一貫したリハビリテーションサービスを総合的に提供するために一総合リハビリテーションセンターの果たすべき役割と機能。	伊藤利之	リハビリテーション科学

(小計 9件)

総合リハ,40:795-799,2012.	リハビリテーション関連法規.	伊藤利之	リハビリテーション科学
臨床リハ, 21(2):135-143,2012.	リハビリテーション部門における感染対策の基本.	水落和也	リハビリテーション科学
臨床リハ, 21(8):796-801,2012.	物理療法のエビデンスと実践 温熱療法・寒冷療法.	水落和也	リハビリテーション科学
総合リハ, 40(5):720-725,2012.	血管原性切断者のリハビリテーション.	水落和也	リハビリテーション科学
厚生労働省科学研究費補助金(第3次対がん総合戦略研究事業)がんのリハビリテーションガイドライン作成のためのシステム構築に関する研究/平成22年度総括・分担研究	進行がん・末期がんのリハビリテーションガイドライン作成に関する研究.	水落和也	リハビリテーション科学
厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)スモンに関する調査研究班 平成23年度総括・分担研究報告書:37-40,2012.	関東甲越地区におけるスモン患者の検診第24報.	亀井 聡	リハビリテーション科学
理学療法ジャーナル,46(12):1073-1079,2012.	高齢下腿切断の理学療法の現状と課題.	島津尚子	リハビリテーション科学
臨床リハ,21(6):607-609,2012.	リハ医のモヤモヤ解決!こんなときどうする?社会(支援)制度に精通したい.	高岡 徹	リハビリテーション科学
総合リハ,40(7):1033-1037,2012.	リハビリテーション関連書類の書き方:特別障害者手当診断書(肢体不自由用).	高岡 徹	リハビリテーション科学

(小計 9件)

日本脊髄障害医学会誌,25(1):54-55,2012.	非外傷性脊髄の特徴とFunctional outcome 非外傷性脊髄障害の特徴と合併症.	横山 修	リハビリテーション科学
Clinical neuroscience,30(10):1188-90,2012.	リハビリテーション.脊椎・脊髄-up to date.	横山 修	リハビリテーション科学
総合リハ増大特集号/リハビリテーションQ&A,40(5):551-556,2012.	脊髄損傷の合併症.	横山 修	リハビリテーション科学
運動療法と物理療法,23(1):100-104,2012.	痙性対麻痺患者に対する髄注パクロフェン治療を併用した運動療法の経験.	菊地尚久	リハビリテーション科学
日本脊髄障害医学会誌,25(1):42-43,2012.	救命救急センターに搬送される頸髄損傷患者の近年の特徴,急性期リハ,転院先に関して.	菊地尚久	リハビリテーション科学
日本脊髄障害医学会誌,25(1):58-59,2012.	急速進行性のHTLV-1関連脊髄症(HAM)に対してITB療法・理学療法の併用が奏功した1例.	高倉朋和	リハビリテーション科学
臨床医薬,28(11):1059-1099,2012.	ギャバロン髄注(パクロフェン)シンクロメッドポンプシステム特定使用成績調査 中間報告.	根本明宜	リハビリテーション科学
横浜看護学雑誌,5(1):71-76,2012.	ブラジル日系人コロニアにおける地域看護診断.	臺 有桂	リハビリテーション科学
横浜看護学雑誌,5(1):55-62,2012.	ブラジル日系永住者の地域における健康づくりの担い手が有する資質と役割の記述的研究.	佐藤美樹	リハビリテーション科学

(小計 9件)

日本脊髄障害医学会雑誌,25(1):104-105,2012.	サーファーズ・ミエロパチーの国内発症状況に関するアンケート調査.	高倉朋和	リハビリテーション科学
日本脊髄障害医学会雑誌,25(1):58-59,2012.	急速進行性のHTLV-1関連脊髄症(HAM)に対してITB療法・理学療法の併用が奏功した1例.	高倉朋和	リハビリテーション科学
泌尿器科紀要,58(1):31-34,2012.	継続的治療を受けなかった二分脊椎症の3例.	横西哲広	リハビリテーション科学
日本義肢装具学会学会誌,28(特):172,2012.	症例報告/母指切断者のためのクラシックギター演奏用義指の作製.	高倉朋和	リハビリテーション科学
静脈経腸栄養,27(2):747-751, 2012.	神奈川県下におけるNST加算制度の現状.	上島順子	リハビリテーション科学
横浜看護学雑誌6(1):23-28,2013	ブラジル日系永住高齢者の食の意味を踏まえた生活習慣病予防に関する保健指導の検討	杉山佳菜子	リハビリテーション科
厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等克服研究事業スモンに関する調査研究平成24年度総括・分担研究報告書	スモンの転倒要因の検討—起立負荷自立神経機能評価	水落和也	リハビリテーション科
The Japanese Journal of Antibiotics, 65 (3):181-206,2012.	2010年に全国72施設の臨床材料から分離された12,866株の各種抗菌薬に対する感受性サーベイランス.	山口恵三	臨床検査部
World J Gastroenterol, 2012; 18 (16): 1933-1939.	Is hepatic arterial infusion chemotherapy (HAIC) effective treatment for advanced hepatocellular carcinoma (HCC) resistant to transarterial chemoembolization (TACE)?	Kirikoshi H	臨床検査部

(小計 9件)

日本検査血液学会誌, 13(2):189-195, 2012.	新鮮血液を用いる自動血球分析項目の外部精度評価の現状分析.	近藤 弘	臨床検査部
医療と検査機器・試薬, 35(5):765-769, 2012.	POCT対応血糖測定器「グルテストミント」の基礎的検討.	安藤敏子	臨床検査部
日本臨床微生物学雑誌	微量液体希釈法によるStaphylococcus属菌のClindamycin誘導耐性検出の比較検討	佐野加代子	臨床検査部
神奈川県臨床衛生検査技師会雑誌	Clostridium sporogenesを分離した一症例	佐野加代子	臨床検査部
JAPANESE JOURNAL OF APPLIED PHYSICS: 090129, 2012.	Human Umbilical Vein Endothelial Cell Interaction with Fluorine-Incorporated Amorphous Carbon Films.	Yoshimoto Y	輸血・細胞治療部
Cancer Biol Ther 13(8):671-680, 2012.	Impaired CXCL4 expression in tumor-associated macrophages (TAMs) of ovarian cancers arising in endometriosis.	Furuya M	病理診断科・病理部
Oncotarget 3(11):1455-1471, 2012.	Identification of miR-30d as a novel prognostic maker of prostate cancer.	Kobayashi N	病理診断科・病理部
J Med Case Rep. 6(1):266, 2012.	Synchronous lung and gastric cancers successfully treated with carboplatin and pemetrexed: a case report.	Sato T	病理診断科・病理部
Pancreatology. 26;12(2):141-5, 2012	Endoscopic ultrasonographic findings predict the risk of carcinoma in branch duct intraductal papillary mucinous neoplasms of the pancreas.	Kobayashi N	病理診断科・病理部

(小計 9件)

BMC Cancer. 26;12(1):118, 2012	Metformin efficacy and safety for colorectal polyps: a double-blind randomized controlled trial.	Higurashi T	病理診断科・病理部
Oncotarget, 3:1455-71, 2012.	Identification of miR-30d as a novel prognostic marker of prostate cancer.	Kobayashi N	病理診断科・病理部
Amyloid 19: 37-40, 2012.	Tocilizumab improves cardiac disease in a hemodialysis patient with AA amyloidosis secondary to rheumatoid arthritis.	Hattori Y	病理診断科・病理部
J Clin Endocrinol Metab. 97:3410-1, 2012	Hidden culprit of primary hyperparathyroidism.	Murakami N	病理診断科・病理部
Intern Med. 51:1555-60, 2012	Churg-Strauss syndrome presenting with acute renal insufficiency accompanied by eosinophilic tubulointerstitial nephritis.	Hirohama D	病理診断科・病理部
Intern Med. 51:1233-8, 2012	Churg-Strauss syndrome with a clinical condition similar to IgG4-related kidney disease: a case report.	Ayuzawa N	病理診断科・病理部
Clin Nephrol. 77:454-60, 2012	ANCA-associated crescentic glomerulonephritis with immune complex deposits.	Sumida K	病理診断科・病理部
Virchows Arch 461 : 367-77, 2012.	ARID1A expression loss in gastric cancer: pathway-dependent roles with and without Epstein-Barr virus infection and microsatellite instability.	Abe H	病理診断科・病理部
日臨細胞神奈川会誌. 17:44-47, 2012.	診断に苦慮した髄膜癌腫症の1例.	岡田千尋	病理診断科・病理部

(小計 9件)

血圧. 19: 647 -651, 2012	維持透析患者に対して術中血液濾過透析を施行した腹腔鏡下褐色細胞腫摘出術の1例.	大竹慎二	病理診断科・病理部
消化器内視鏡 24: 1823-1827, 2012.	十二指腸下行部に発生した表面型粘膜内癌の1例.	成子 浩	病理診断科・病理部
Therapeutic Research 33: 176-179, 2012.	低脂血症、脳出血、腎硬化症を合併しTocilizumabにて脂質異常の改善を認めたCastleman病の1例.	今福 礼	病理診断科・病理部
日本消化器外科学会雑誌 45: 578-582, 2012.	4回の再発・再手術後長期無再発生存中の後腹膜Myxofibrosarcomaの1例.	下村 昭彦	病理診断科・病理部
Jpn J Infect Dis. 2012;65(1):84-87.	In vitro combination effects of aztreonam and aminoglycoside against multidrug-resistant Pseudomonas aeruginosa in Japan.	Araoka H	感染制御部
Hypertension. 61(6):1203-10.2013.	Enhanced angiotensin receptor-associated protein in renal tubule suppresses angiotensin-dependent hypertension.	Wakui H	血液浄化センター
7(12):e52149. doi: 10.1371/journal.pone.0052149. Epub 2012 Dec 14, 2012.	Effectiveness of Ureterscopy-Assisted Retrograde Nephrostomy (UARN) for Percutaneous Nephrolithotomy (PCNL). PLoS One.	Kawahara T	結石破砕室
PLoS One. 7(10):e48186. Epub 2012 Nov 3, 2012.	Risk Factors for Metastatic Castration-Resistant Prostate Cancer (CRPC) Predict Long-Term Treatment with Docetaxel.	Kawahara T	結石破砕室
PLoS One. 7(1):e29292. Epub 2012 Jan 3, 2012.	Ureteral stent retrieval using the crochet hook technique in females.	Kawahara T	結石破砕室

(小計 9件)

Urol Int. 88(3):322-5. Epub 2012 Mar 20, 2012.	Ureteral stent exchange under fluoroscopic guidance using the crochet hook technique in women.	Kawahara T	結石破碎室
Urology. 80(5):1154-5, 2012.	Amplatz sheath for cystolithotripsy using Ho: YAG laser in female patients.	Kawahara T	結石破碎室
Case Rep Med. 2012:164963. doi: 10.1155/2012/164963. Epub 2012 Aug 9, 2012.	Ureteroscopy-Assisted Retrograde Nephrostomy (UARN) after Anatomic Nephrolithotomy.	Kawahara T	結石破碎室
Urol Res. 40(6):763-7, 2012.	Changing to a loop-type ureteral stent decreases patients' stent-related symptoms.	Kawahara T	結石破碎室
Urol Res. 40(6):781-2, 2012.	Ureteroscopy-assisted retrograde nephrostomy (UARN) for an incomplete double ureter.	Kawahara T	結石破碎室
Int J Urol. Sep;19(9):881-5, 2012.	Preoperative stenting for ureteroscopic lithotripsy for a large renal stone.	Kawahara T	結石破碎室
Case Rep Med. 2012:862539. doi: 10.1155/2012/862539. Epub 2012 Apr 3, 2012.	Encrusted Ureteral Stent Retrieval Using Flexible Ureteroscopy with a Ho: YAG Laser.	Kawahara T	結石破碎室
Scand J Urol Nephrol. 46(4):298-303, 2012.	Stone area and volume are correlated with operative time for cystolithotripsy for bladder calculi using a holmium: yttrium garnet laser.	Kawahara T	結石破碎室
Int J Urol. 19(7):634-8, 2012.	Which is the best method to estimate the actual ureteral length in patients undergoing ureteral stent placement?	Kawahara T	結石破碎室

(小計 9件)

BJU Int. 110(4):588-90, 2012.	Ureteroscopy assisted retrograde nephrostomy: a new technique for percutaneous nephrolithotomy (PCNL).	Kawahara T	結石破砕室
Oncotarget, 3(11):1455-71, 2012.	Identification of miR-30d as a novel prognostic maker of prostate cancer.	Kobayashi N	結石破砕室
Prostate, 72(14):1559-72, 2012.	Thearpeutic targeting of angiotensin II receptor type 1 to regulate androgen receptor in prostate cancer.	Takahashi S	結石破砕室
World J Urol. 2012, in press.	Usefulness of Perflubutane Microbubble-Enhanced Ultrasound in Imaging and Detection of Prostate Cancer: Phase 2 Multicenter Clinical Trial.	Uemura H	結石破砕室
Int J Urology, 19:379-381, 2012.	Answer by Dr. Uemura to case 2 discussion: Castration-resistant prostate cancer.	Uemura H	結石破砕室
2012, Int J Clin Oncol, in press.	Possible Anti-tumor Activity of Initial Treatment with Zoledronic Acid with Hormonal Therapy for Bone-Metastatic Prostate Cancer in Multicenter Clinical Trial.	Uemura H	結石破砕室
日本臨床, 70(9):1530-1534, 2012.	癌とレニン-アンジオテンシン系.	上村博司	結石破砕室
日本臨床, 70 (9):1604-1612, 2012.	前立腺がん-前立腺がんのRASとARBの効果-.	窪田吉信	結石破砕室
Int J Oncol, 40 (4): 1011-1019, 2012.	Role of endothelin receptor signaling in squamous cell carcinoma.	Ishimoto S	内視鏡センター

(小計 9件)

World J Gastroenterol, 18 (26): 3415-3419, 2012.	Effect of sumatriptan on gastric emptying: a crossover study using BreathID system.	Sakamoto Y	内視鏡センター
Hepatogastroenterol, 59 (119): 2335-2338, 2012.	Assessment of gastric emptying function after gastrectomy using a real-time ¹³ C breath test.	Homma Y	内視鏡センター
Oncol Rep, 27 (5): 1475-1480, 2012.	Natural history of human aberrant crypt foci and correlation with risk factors for colorectal cancer.	Ohkubo H	内視鏡センター
World J Gastroenterol, 18 (16): 1933-1939, 2012.	Is hepatic arterial infusion chemotherapy effective treatment for advanced hepatocellular carcinoma resistant to transarterial chemoembolization?	Kirikoshi H	内視鏡センター
Int J Oncol, 41 (1): 67-75, 2012.	Differential expression of aquaporin 5 and aquaporin 3 in squamous cell carcinoma and adenoid cystic carcinoma.	Ishimoto S	内視鏡センター
World J Gastroenterol, 18 (26): 3477-3478, 2012.	Endoscopic diagnosis of Barrett's esophagus.	Akiyama T	内視鏡センター
Colorectal Disease, 14 (10): e740-746, 2012.	Clinical associations and risk factors for bleeding from colonic angiectasia: a case-controlled study.	Sekino Y	内視鏡センター
Cell Metab, 16 (1): 44-54, 2012.	Hyperresponsivity to low-dose endotoxin during progression to nonalcoholic steatohepatitis is regulated by leptin-mediated signaling.	Imajo K	内視鏡センター
J Neurogastroenterol Motil, 24 (12): 1083-e564, 2012.	Influence of sumatriptan on gastric accommodation and on antral contraction in healthy subjects assessed by ultrasonography.	Sekino Y	内視鏡センター

(小計 9件)

Pathol Int, 62 (8): 554-558, 2012.	An adult case of midgut volvulus in familial visceralmyopathy.	Nakajima T	内視鏡センター
World J Gastroenterol, 18 (26): 3415-3419, 2012.	Effect of sumatriptan on gastric emptying: A crossover study using the BreathID system.	Sakamoto Y	内視鏡センター
Hepato Res, 42 (8): 757-766, 2012.	Plasma free choline is a novel non-invasive biomarker for early-stage non-alcoholic steatohepatitis: A multi-center validation study.	Imajo K	内視鏡センター
Dig Endosc, 24 (5): 380, 2012.	Primary leiomyoma of the pancreas diagnosed by endoscopic ultrasound-guided fine-needle aspiration.	Sato T	内視鏡センター
Dig Endosc, 24 (5):353-357, 2012.	Number of aberrant crypt foci in the rectum is a useful surrogate marker of colorectal adenoma recurrence.	Uchiyama T	内視鏡センター
Diabetologia, 55 (12): 3382-3391, 2012.	Protection from non-alcoholic steatohepatitis and liver tumorigenesis in high fat-fed insulin receptor substrate-1-knockout mice despite insulin resistance.	Nakamura A	内視鏡センター
World J Gastroenterol, 18 (33): 4557-4562, 2012.	Characteristics of intestinal pseudo-obstruction in patients with mitochondrial diseases.	Sekino Y	内視鏡センター
BMC Cancer, 12 (1): 413, 2012.	Eicosapentaenoic acid (EPA) efficacy for colorectal aberrant crypt foci (ACF): a double-blind randomized controlled trial.	Higurashi T	内視鏡センター
Dig Liver Dis, 44 (10): 833-838, 2012.	Differences in the severity of small bowel mucosal injury based on the type of aspirin as evaluated by capsule endoscopy.	Endo H	内視鏡センター

(小計 9件)

Biochem Biophys Res Commun, 429 (3-4): 197-203, 2012.	Role of leukotriene B4 receptor signaling in human preadipocyte differentiation.	Hirata K	内視鏡センター
World J Gastroenterol, 18 (38): 5360-5368, 2012.	Increased tumor necrosis factor receptor 1 expression in human colorectal adenomas.	Hosono K	内視鏡センター
J Cancer Ther, 3 (6): 874-879, 2012.	IL-6 plays crucial roles in sporadic colorectal cancer through the cytokine networks including CXCL7 PP.	Uchiyama T	内視鏡センター
World J Gastrointest Endosc, 4 (12): 561-564, 2012.	Relationship of human rectal aberrant crypt foci and formation of colorectal polyp: One-year following up after polypectomy.	Takahashi H	内視鏡センター
BMC Gastroenterol, 12: 83, 2012.	Capsule endoscopy with flexible spectral imaging color enhancement reduces the bile pigment effect and improves the detectability of small bowel lesions.	Sakai E	内視鏡センター
Intern Med, 51 (11): 1301-1307, 2012.	Imaging findings of pancreatic cystic lesions in von Hippel-Lindau disease.	Kobayashi N	内視鏡センター
PPAR Res, 940384, 2012.	Peroxisome proliferator-activated receptor gamma exacerbates concanavalin A-induced liver injury via suppressing the translocation of NF- κ B into the nucleus.	Ogawa Y	内視鏡センター
Hepatogastroenterol, 59 (117): 1522-1525, 2012.	Non-alcoholic fatty liver disease adversely affects the glycemic control afforded by sitagliptin.	Iwasaki T	内視鏡センター
J Hepatobiliary Pancreat Sci	Tumor diameter and Ki-67 expression in biopsy could be diagnostic markers discriminating from adenoma and early stage cancer in patients with ampullary tumors.	Nubota K, Fujita Y, Sato T, Watanabe S, Hosono K, Yoneda M, Kirikoshi H, Hisatomi K, Matsubashi N	内視鏡センター

(小計 9件)

J Gastroenterol	Oral choline tolerance test as a novel noninvasive method for predicting nonalcoholic steatohepatitis.	Uraji K, Toriida M, Fujita K, Kessoku T, Tomeno W, Ogawa Y, Shinohara Y, Sekino Y, Mawatari H, Nozaki Y, Unkubo T,	内視鏡センター
Am J Gastroenterol	Assessment of Small Bowel Motility in Patients With Chronic Intestinal Pseudo-Obstruction Using Cine-MRI.	Kessoku T, Fuyuki A, Iida H, Inamori M, Fujii T, Kawamura H, Hata Y, Manabe N, Chiba T, Kuroki T, Sato T,	内視鏡センター
Dig Endosc	Covered self-expandable metal stent deployment promises safe neoadjuvant chemoradiation therapy in patients with borderline resectable pancreatic head cancer.	Watanabe S, Hosono K, Kobayashi N, Mori R, Taniguchi K, Matsuyama R, Endo J, Nakajima	内視鏡センター
臨床医薬, 28(11):1059-1099, 2012.	ギャバロン髄注(バクロフェン)シンクロメッドポンプシステム特定使用成績調査 中間報告.	根本 明宜	医療情報学・医療情報部
横浜看護学雑誌,6(1): 23-28,2013.	ブラジル日系永住高齢者の食の意味を踏まえた生活習慣病予防に関する保健指導の検討	杉山佳菜子	医療情報学・医療情報部
Dig Endosc. 2012. [Epub ahead of print].	Factors predicting the presence of small bowel lesions in patients with obscure gastrointestinal bleeding.	Sakai E	臨床研修センター
World J Gastroenterol. 18: 5360-8, 2012.	Increased tumor necrosis factor receptor 1 expression in human colorectal adenomas.	Hosono K	臨床研修センター
Dig Endosc. 24: 407-11, 2012.	Clinical symptoms of FSSG in gastroesophageal reflux disease are critical for PPI treatment: Japanese multi-centers with 185 patients.	Komatsu-Tanaka M	臨床研修センター
World J Gastroenterol. 18: 4557-62, 2012.	Characteristics of intestinal pseudo-obstruction in patients with mitochondrial diseases.	Sekino Y	臨床研修センター

(小計 9件)

Dig Endosc. 24: 353-7, 2012.	Number of aberrant crypt foci in the rectum is a useful surrogate marker of colorectal adenoma recurrence.	Uchiyama T	臨床研修センター
Neurogastroenterol Motil. 24: 1083-e564, 2012.	Influence of sumatriptan on gastric accommodation and on antral contraction in healthy subjects assessed by ultrasonography.	Sekino Y	臨床研修センター
World J Gastroenterol. 18: 3477-8, 2012.	Endoscopic diagnosis of Barrett's esophagus.	Akiyama T	臨床研修センター
World J Gastroenterol. 18: 3415-9, 2012.	Effect of sumatriptan on gastric emptying: a crossover study using the BreathID system.	Sakamoto Y	臨床研修センター
Dig Liver Dis. 44: 833-8, 2012.	Differences in the severity of small bowel mucosal injury based on the type of aspirin as evaluated by capsule endoscopy.	Endo H	臨床研修センター
Digestion. 86: 12-9, 2012.	An epidemiologic survey of chronic intestinal pseudo-obstruction and evaluation of the newly proposed diagnostic criteria.	Ohkubo H	臨床研修センター
Colorectal Dis. 14: e740-6, 2012.	Clinical associations and risk factors for bleeding from colonic angiectasia: a case-controlled study.	Sekino Y	臨床研修センター
Intern Med. 51: 1301-7, 2012.	Imaging findings of pancreatic cystic lesions in von Hippel-Lindau disease.	Kobayashi N	臨床研修センター
Endoscopy. 44: 556-64, 2012.	Endoscopic mucosal resection and endoscopic submucosal dissection for en bloc resection of superficial pharyngeal carcinomas.	Okada K	臨床研修センター

(小計 9件)

Digestion. 85: 261-5, 2012.	Risk factors for colonic diverticular hemorrhage: Japanese multicenter study.	Suzuki K	臨床研修センター
BMC Gastroenterol. 12: 25, 2012.	Early effect of oral administration of omeprazole with mosapride as compared with those of omeprazole alone on the intragastric pH.	Iida H	臨床研修センター
Gastrointest Endosc. 75: 671-2, 2012.	Successful endoscopic removal of a press-through package in the terminal ileum causing obstructive ileus.	Akiyama T	臨床研修センター
Hepatogastroenterology. 59: 2335-8, 2012.	Assessment of gastric emptying function after gastrectomy using a real-time ¹³ C breath test.	Homma Y	臨床研修センター
Hepatogastroenterology. 59: 1522-5, 2012.	Non-alcoholic fatty liver disease adversely affects the glycemic control afforded by sitagliptin.	Iwasaki T	臨床研修センター
Hepatogastroenterology. 59: 413-4, 2012.	A new non-invasive modality for recording sequential images and the pH of the small bowel.	Iida H	臨床研修センター
Eur Arch Otorhinolaryngol, 270, 727-33, 2013	Limitations of PET and PET/CT in detecting upper gastrointestinal synchronous cancer in patients with head and neck carcinoma.	Yabuki K	臨床研修センター
Liver Int, 33, 118-26, 2013	Involvement of the apelin receptor APJ in Fas-induced liver injury	Yasuzaki H	臨床研修センター
Intern Med, 52, 153, 2013	Hepatic portal venous gas development following percutaneous endoscopic gastrostomy	Kadomatsu Y	臨床研修センター
J Neurogastroenterol Motil, 19, 54-60, 2013	Comparative Study of 2 Different Questionnaires in Japanese Patients: The Quality of Life and Utility Evaluation Survey Technology Questionnaire (QUEST) Versus the Frequency Scale for the Symptoms of Gastroesophageal Reflux Disease Questionnaire (FSSG)	Nonaka T	臨床研修センター

(小計 10件)

論文発表等の実績 合計 955件

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 平原 史樹
管理担当者氏名	総務課長 渡邊 昇 医事課長 内山 昌彦

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		総務課（サーバー室・事務室） 医事課（病歴室） 薬剤部（処方せん）	◆手術記録・看護記録・検査所見・紹介状・入院要約・入院診療計画書：紙媒体（病歴室管理）→1患者/1カルテファイル/外来/1入院歴、電子媒体（サーバー室管理）→1患者/1カルテレコード ◆エックス線写真：フィルム媒体（病歴室管理）→1患者/1フィルム袋/1外来/1入院、電子媒体（サーバー室管理）→1患者/1検査日時/モダリティ
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	職員課	
	高度の医療の提供の実績	医事課(病歴室)	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	各診療科	
	高度の医療の研修の実績	各診療科	
	閲覧実績	各関係部署	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課(病歴室)	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	総務課 薬剤部	
第規一則号第一に掲げる十の十一の第一項各号及び第九の二十	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理室	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理室	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理室	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理室	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理室	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理室	

	三 第 一 項	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課（患者相談窓口）
--	------------------	------------------------------------	-------------

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部
	第一	院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部
	条	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
	十一	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
	第一	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
	項	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
	各	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
	号	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
	及	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	集中治療室
	第九	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	総務課
条	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	総務課	
の	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	総務課	
二十三			
第一			
項			
第一			
号			
に掲			
げる			
体制			
の			
確保			
の			
状況			

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 平原 史樹
閲覧担当者氏名	総務課長 渡邊 昇 医事課長 内山 昌彦
閲覧の求めに応じる場所	不定

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	4,683件
閲覧者別	医師	延 4,683件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	82.6 %	算定期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	13,716人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	10,351人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,397人	
	D: 初診の患者の数	20,494人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	☑・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 当院の医療安全の基本方針・安全管理の考え方と体制 2. 有害事象発生時の初期対応マニュアル 3. 患者確認の基本、緊急時の対応要請 4. タイムアウト 5. 薬剤、輸血、ME機器に関する事項 6. 転倒・転落発生後のフローチャート 7. 同意書に関する事項 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 23 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (内訳) 安全管理対策委員会 12回、リスクマネージャー会議 11回 (内容) 安全管理対策委員会：院内医療安全の方針を協議決定 リスクマネージャー会議：安全管理対策委員会の方針周知 リスクマネージャーによる事例検討 安全課題検討 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年163 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 医療安全に関する講演会、新採用・転入者職員医療安全研修、 人工呼吸器研修、看護に関する医療安全研修、他 	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (☑・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> ① 医療安全管理指針(マニュアル類)の改訂 ② 医薬品の安全使用のための業務手順書の改訂 ③ 手術室への輸血用血液製剤の搬送法の見直し ④ 医療用ガスボンベの誤使用対策(接続の変更) ⑤ 術時に発生した病理検体の提出方法の見直し ⑥ 院時内服管理方法アセスメントスコアシートの導入 	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	☑ (3名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	☑ (4名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	☑・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任 (4) 名 兼任 (3) 名 ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 事例対応 2. インシデント報告の把握 3. 協議：安全管理対策委員会の運営 4. 周知：リスクマネージャー会議の運営、広報、院内巡視 5. 教育：医療安全講演会、研修会の企画運営 	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	☑・無

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	☑・無
<p>・ 指針の主な内容：①院内感染対策に関する基本的な考え方 ②委員会等の組織に関する基本的事項 ③職員研修に関する基本方針 ④感染症の発生状況の報告に関する基本方針 ⑤院内感染発生時の対応に関する基本方針 ⑥病院感染対策マニュアルに関する基本方針 ⑦患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 15 回 臨時3回施行
<p>・ 活動の主な内容：①医療関連感染防止等についての検討 ②感染症発生状況の把握 ③発生時及び防止のための迅速な対応を行うための審議・検討 ④感染対策マニュアル等の検討 ⑤ICT、感染推進部会、感染リンクナース会の活動把握</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年34回
<p>・ 研修の主な内容： ① 結核の院内発生と感染拡大防止 レジオネラ対応について 冬の感染対策 院内発生の感染症下痢症と感染対策（全職員） ② 標準予防策 感染実習（新人看護師・研修医） ③ レジオネラ UTI 結核の事例勉強会（感染推進部会 感染リンクナース会） ④ ルコール手指衛生剤の方法について（清掃業者） ⑤ 医療環境における建築・改修工事と感染予防（工事会社 委託業者）</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (☑・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容：</p>	
<p>病棟別菌発生頻度、材料別発生頻度、主要分離菌の検出と推移など臨床検査部から感染症レポートを報告している。院内で感染症が発生した場合、感染制御部に一報を入れる。感染制御部・ICTは、ラウンド等で状況把握に努め、助言・指導し、必要に応じてICT会議や臨時感染対策委員会を開催し対応を検討する</p>	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 4 回
・ 研修の主な内容： 1. 新採用、転入者医療安全研修「処方オーダーについて」：4/3 104名 2. 「薬剤部の役割（業務紹介、処方・投薬時の注意）」：4/8 108名 3. 「麻薬の取り扱いについて」：6/7 34名 4. 「抗がん剤処方について 薬を処方する時の注意点」：7/5 17名	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (有・無) ・ 業務の主な内容： 1. 手順書の一部改正 ・ 医薬品伝票について（白伝票）について ・ 麻薬の定数配置について ・ 薬剤部の定期巡視について ・ 持参薬について ・ 放射性医薬品管理者について 2. 手順書に基づく業務チェックリスト作成と実施	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 1. 人体に使用すると危険な薬剤などの表示について 2. ガベキサートメシル酸塩使用時の血管炎（第2報） 3. 医薬品に関する安全性速報（ブルーレター） ケアラム錠/コルベット錠（イグラチモド）とワーファリンの相互作用が疑われる重篤な出血 4. 持参薬を院内の処方に切り替える際の処方量間違いについて 5. 注射剤溶解後の安定性-2013年7月版- 6. 注射剤のフィルター通過性・使用ルート-2013年7月版- 7. 医薬品伝票（白伝票）での請求について	

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	☑・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年50回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容： 新規導入医療機器および生命維持管理装置の安全使用に関する研修。	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">計画の策定 (☑・無)保守点検の主な内容： 生命維持管理装置の、メーカーによる年間保守点検およびMEセンターによる日常点検。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医療機器に係る情報の収集の整備 (☑・無)その他の改善のための方策の主な内容： 厚労省ホームページおよびPMDA、メーカーからの通知による情報収集ののち、関連部署への通知。	